

未来共創型コンパクトシティ推進計画
(宇部市都市計画マスタープラン・立地適正化計画)

資料編

令和 8 年 (2026 年 3 月)
宇部市

目次

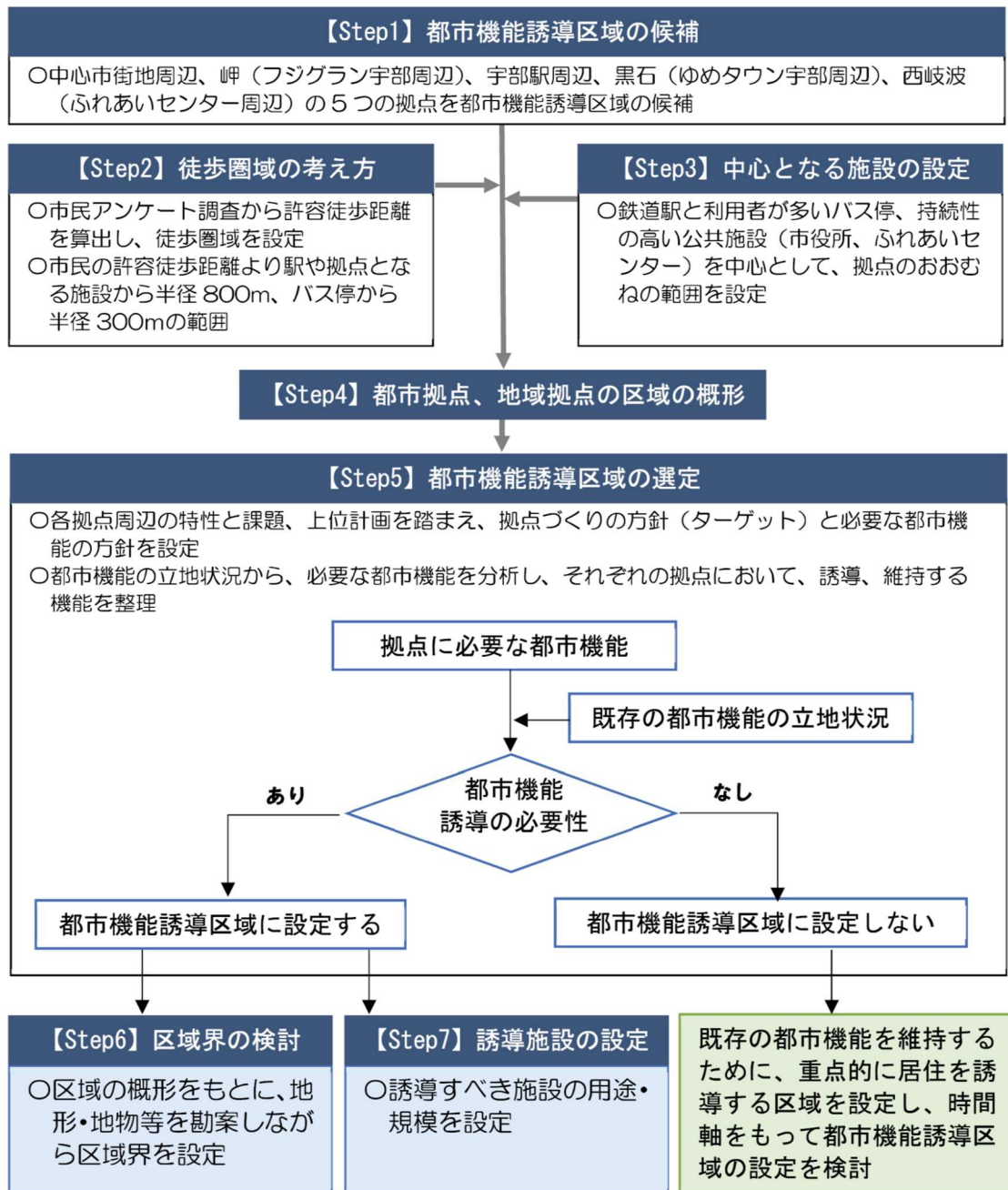
1. 都市機能誘導区域.....	1
(1) 区域設定の方法	1
2. 居住誘導区域.....	2
(1) 区域設定の方法.....	2
3. 災害リスク分析.....	3
(1) 防災指針の検討フローと分析の方法.....	3
(2) 災害リスク分析の地域区分と対象とするハザード情報.....	5
(3) 洪水のリスク（想定最大規模（L2））	6
(4) 洪水のリスク（計画規模（L1））	18
(5) 津波のリスク	28
(6) 高潮のリスク	38
(7) 土砂災害のリスク	48
(8) 大規模盛土造成地のリスク	50

1. 都市機能誘導区域

(1) 区域設定の方法

都市機能誘導区域は、都市機能誘導の基本目標に基づき、都市計画マスタープラン（第3章 本市が目指す都市づくり 3.1 将来都市構造、P.26）で位置づけられた都市拠点・各地域拠点を候補とし、以下の流れで選定します。

《都市機能誘導区域の設定フロー》



2. 居住誘導区域

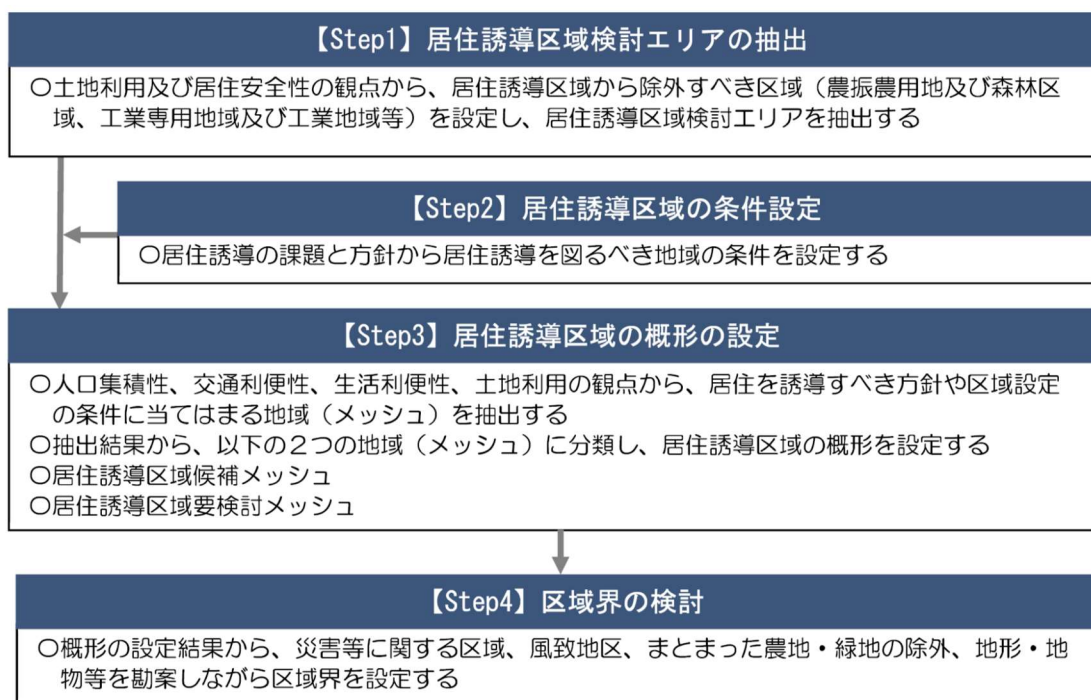
(1) 区域設定の方法

居住誘導区域は、居住誘導の基本目標に基づき、以下の流れで設定します。

《居住誘導区域設定の方法》

- ◎ 居住誘導区域検討エリアは、工業専用地域と工業地域を除く用途地域内とする
- ◎ 人口集積性、交通利便性、生活利便性の評価から区域の概形を設定する
- ◎ 都市機能誘導区域、地域拠点の周辺、公共交通の主要幹線周辺は重点的に居住誘導を図る

《居住誘導区域の設定フロー》



《居住誘導区域から除外する区域》

- ◎ 現に山林や田畑が集積している地域、区域境界で自然的土地利用がなされている地域
- ◎ 風致地区（琴崎八幡、亀浦、岩鼻、維新山、常盤、鍋倉山、黄幡）
- ◎ 臨港地区
- ◎ 土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域
- ◎ 急傾斜地崩壊危険区域
- ◎ 地すべり防止区域
- ◎ 洪水浸水想定区域のうち床上浸水以上の被害が想定される地域
（洪水浸水深 0.5m 以上の区域：平成 30 年（2018 年）10 月時点の洪水ハザードマップによる。）
- ◎ 飛び地となっている地域

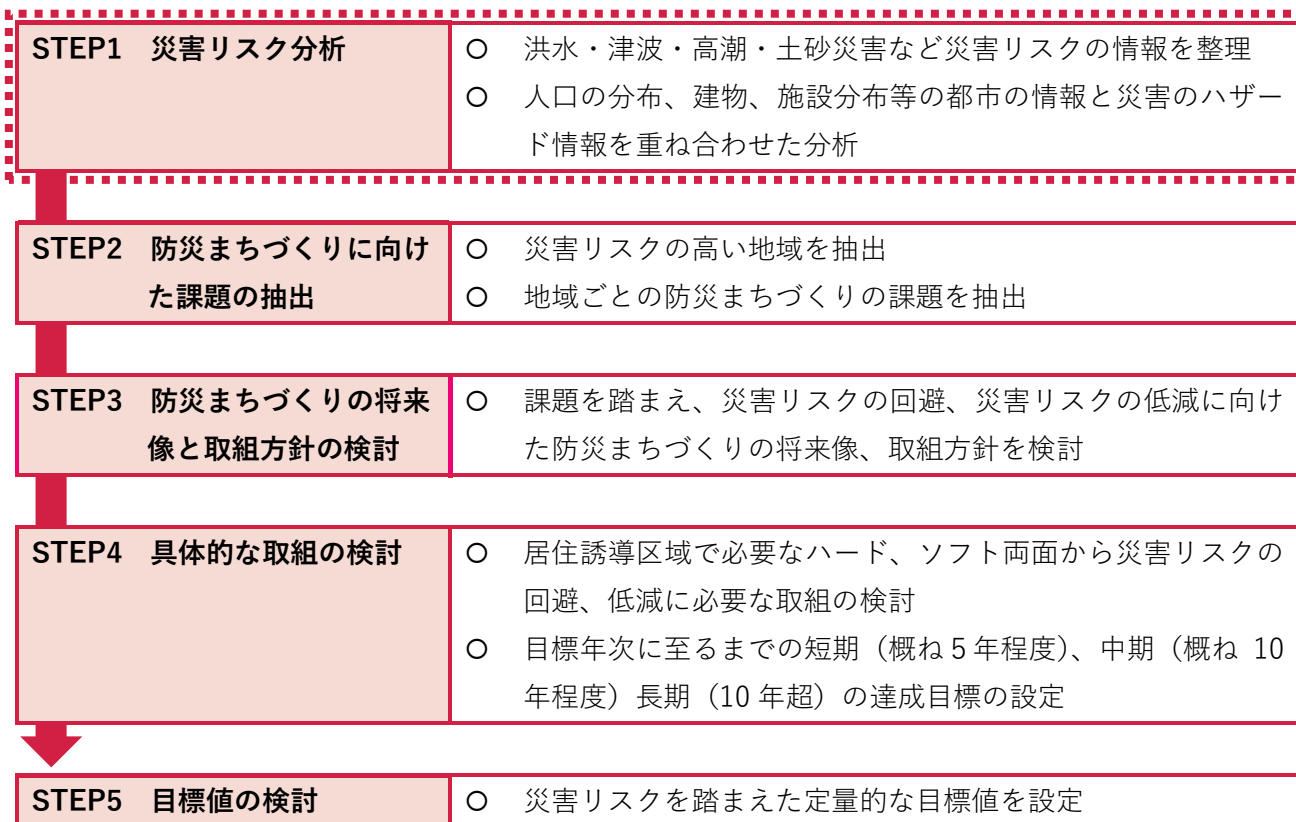
※災害のうち発生頻度が極めて低い高潮や津波については、宇部市地域防災計画に基づき、避難を軸としたソフト対策を総合的に実施することから「居住誘導区域から除外する区域」には設定していません。

なお、従前計画策定後に、水防法の改正があり想定最大規模降雨（L2）の設定や計画規模降雨（L1）の洪水浸水想定区域が更新されましたが、居住誘導区域内の災害リスクについては、防災指針により防災・減災対策に取り組むこととし、居住誘導区域は従前計画を継承します。

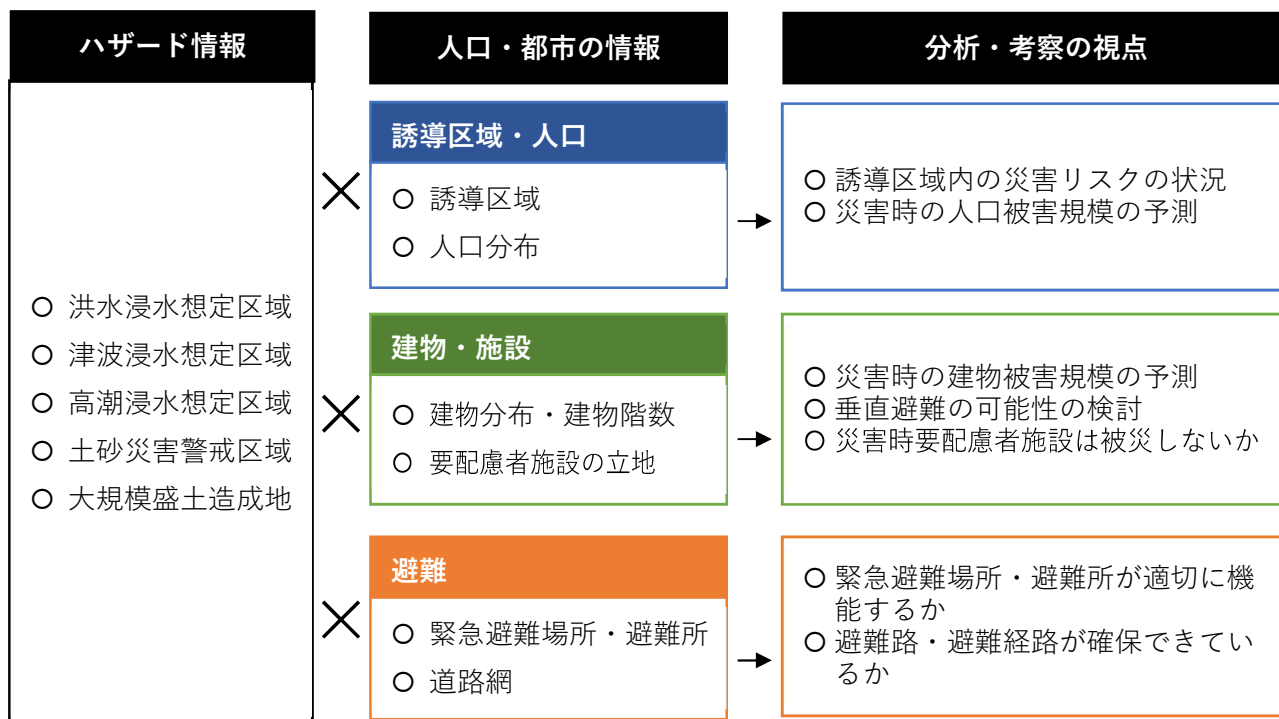
3. 災害リスク分析

(1) 防災指針の検討フローと分析の方法

《防災指針の検討フロー、P.103》



《ハザード情報と人口・都市の情報の重ね合わせによる災害リスク分析、P.110》



※内水浸水実績区域は、概ねの範囲を示すものであること、また、急傾斜地崩壊危険区域及び地すべり防止区域は、明確な境界情報が得られず、区域線は図示できないことから、重ね合わせによる災害リスク分析の対象外とします。

(2) 災害リスク分析の地域区分と対象とするハザード情報

災害リスク分析の詳細で示す居住誘導区域内の地域区分とその地域に該当する災害は以下のよう
に区分します。

《災害リスク分析の地域区分》

西部地域 : 厚南、黒石、西宇部
中央部地域① : 上宇部、神原、琴芝、新川、鶉の島、藤山
中央部地域② : 恩田、岬、見初、常盤
東部地域 : 東岐波、西岐波、川上

[対象とするハザード情報]

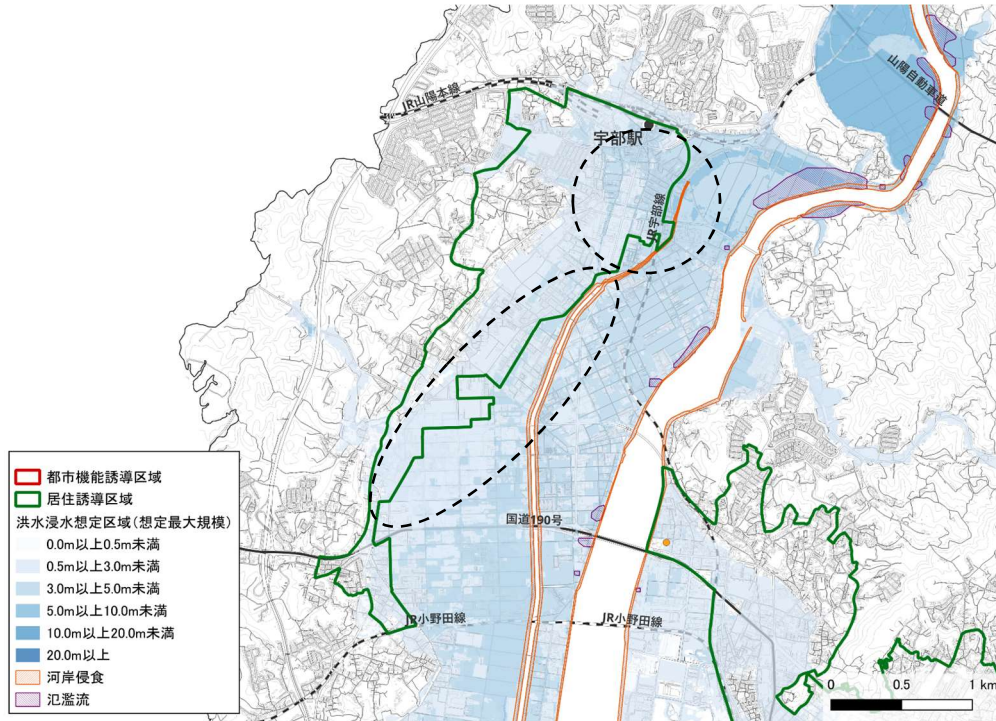
ハザード情報	西部地域	中央地域①	中央地域②	東部地域
洪水浸水想定区域 (想定最大規模 (L2))	○	○		○
洪水浸水想定区域 (計画規模 (L1))	○	○		
津波浸水想定区域	○	○		
高潮浸水想定区域	○	○	○	○
土砂災害警戒区域	○	○		○
大規模盛土造成地		○		○

(3) 洪水のリスク（想定最大規模（L2））

① 洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））と居住誘導区域の重ね合わせ

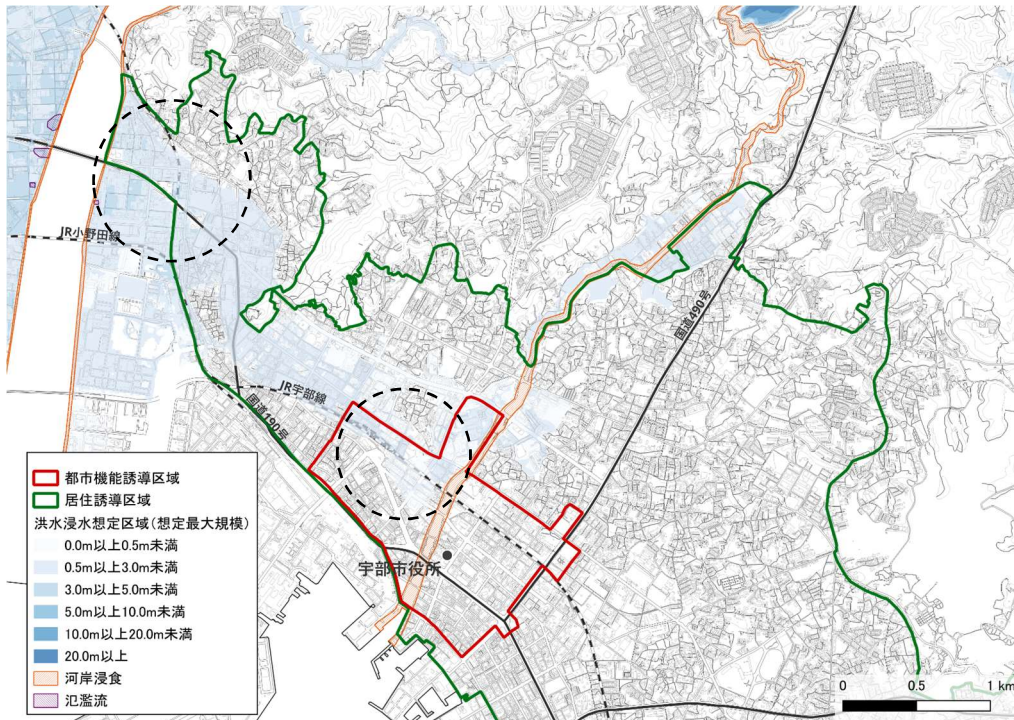
西部地域

居住誘導区域内の広範囲が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に重複し、垂直避難が困難となる浸水深3.0m以上となる範囲も含まれています。



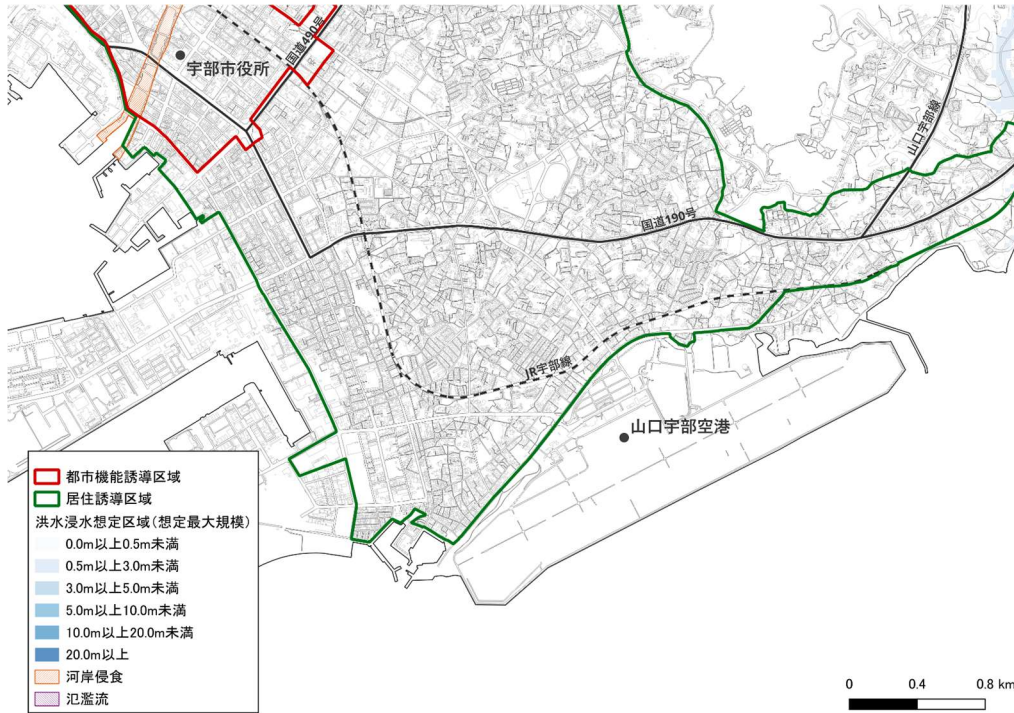
中央部地域①

居住誘導区域内の一部が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に重複します。また、都市機能誘導区域の一部が浸水想定区域に含まれています。



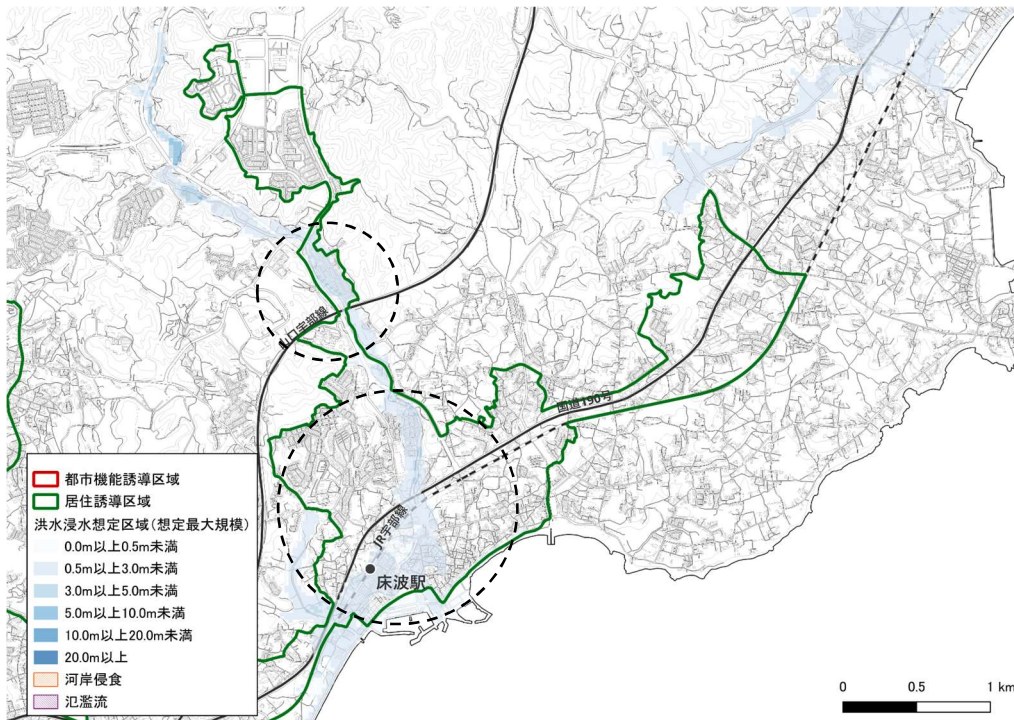
中央部地域②

居住誘導区域内には想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

西岐波地区や川上地区の居住誘導区域内の一部が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に含まれています。

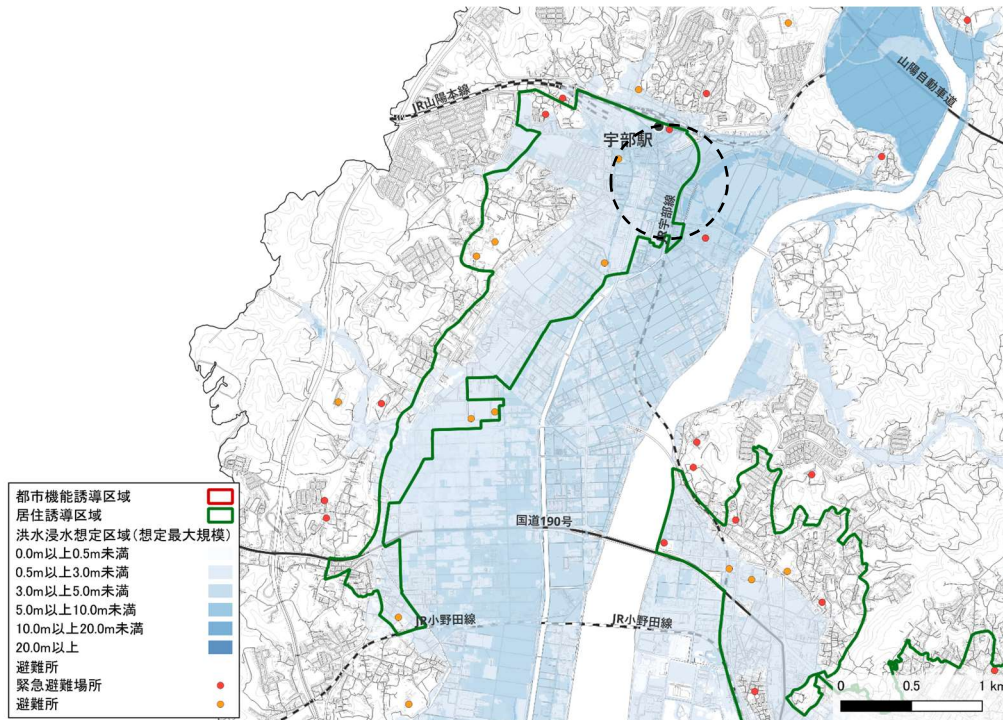


居住誘導区域内の広範囲が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に重複します。特に、浸水深 3.0m 以上となる範囲も想定されており、洪水による被害が懸念されます。

② 洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））と避難所の重ね合わせ

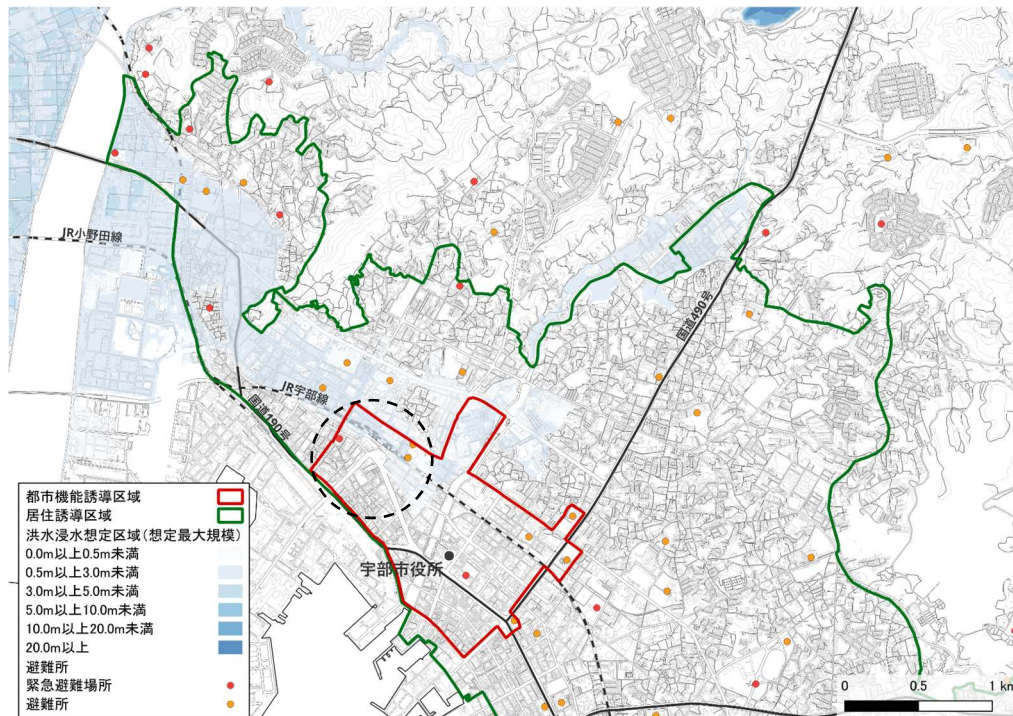
西部地域

居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所が6施設あり、浸水深3.0m以上の浸水想定区域内に立地する緊急避難場所・避難所もあります。



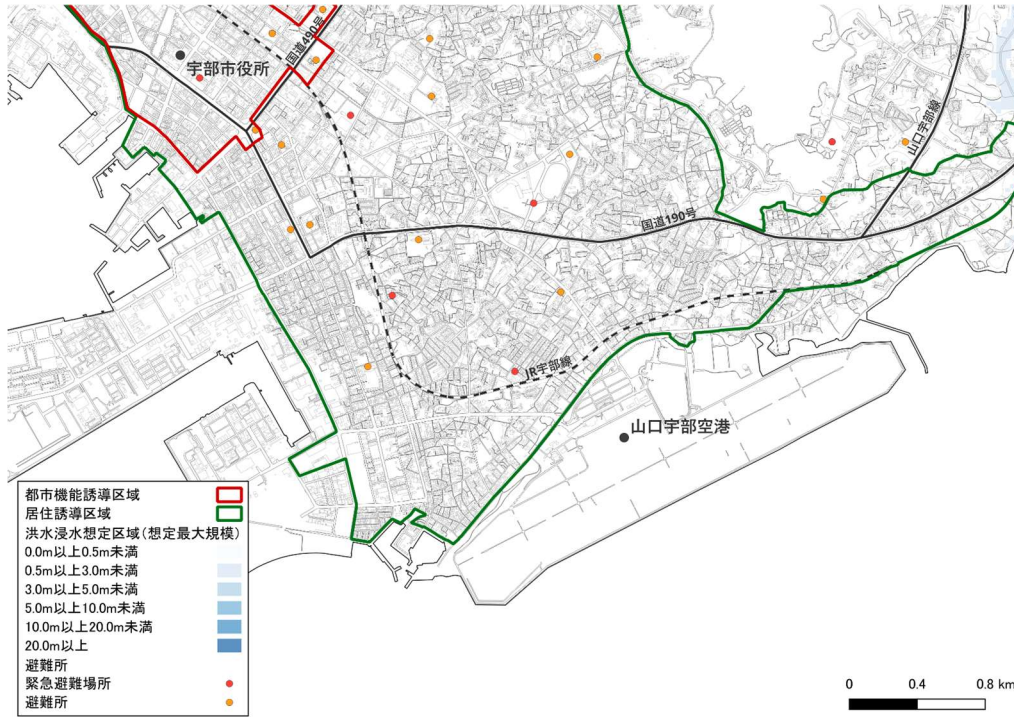
中央部地域①

居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所が7施設あり、都市機能誘導区域内にも、浸水想定区域内に避難所が立地しています。



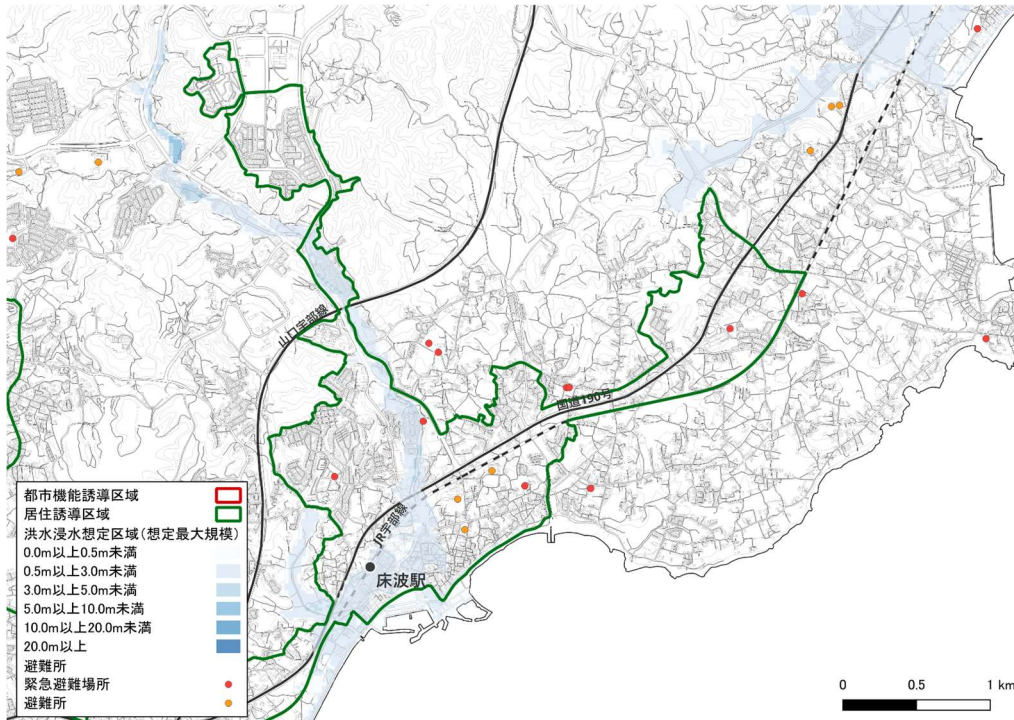
中央部地域②

居住誘導区域内には想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

西岐波地区や川上地区の居住誘導区域内の一部に想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域が重複しますが、浸水想定区域内に緊急避難場所・避難所は立地していません。

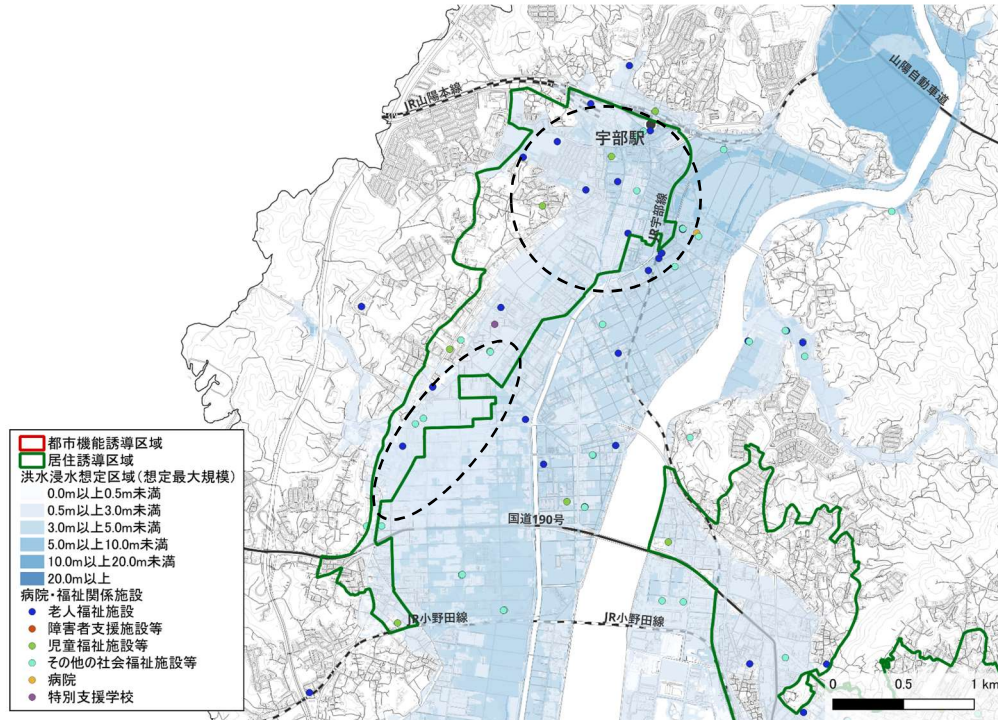


居住誘導区域内の想定最大規模(L2)洪水浸水想定区域に多くの緊急避難所・避難所が位置しており、浸水深が3.0m以上となる範囲にも立地しているため、洪水が想定される場合は、垂直避難の可能性の判断や早期避難が必要となります。

③ 洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））と病院・福祉系施設の重ね合わせ

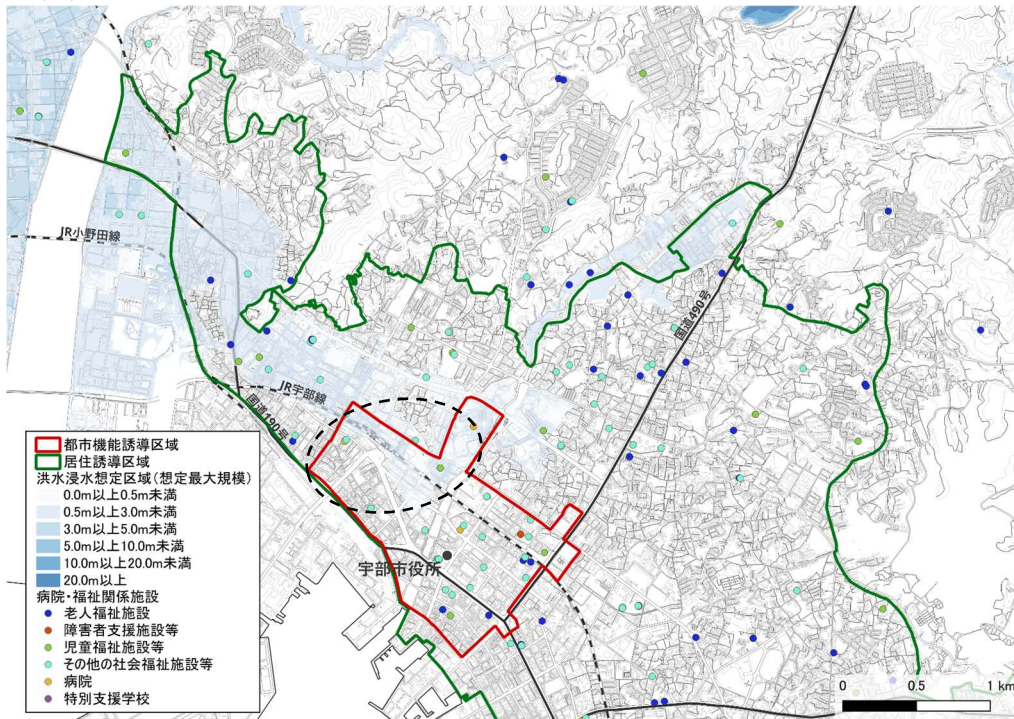
西部地域

居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、病院・福祉系施設が 20 施設あり、特に老人福祉施設が多く立地しています。また、特別支援学校も浸水想定区域内に位置しています。



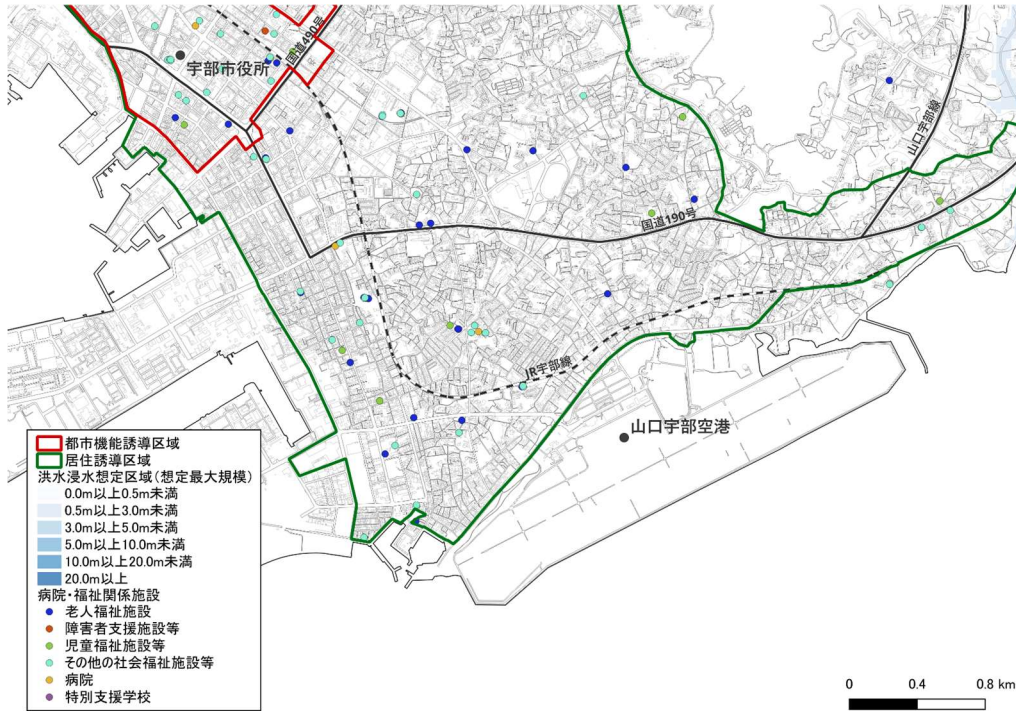
中央部地域①

居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、病院・福祉系施設が 15 施設あり、鵜の島地区に多く福祉施設が多く立地しています。また、都市機能誘導区域内の浸水想定区域には、病院・福祉系施設が位置しています。



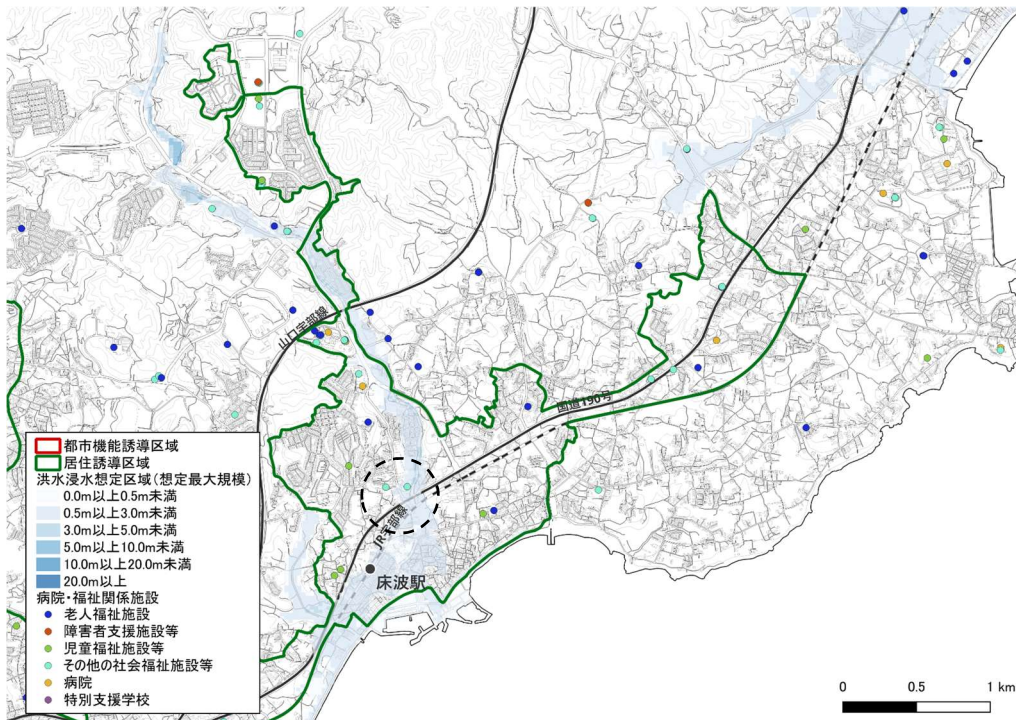
中央部地域②

居住誘導区域内には想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に、福祉施設が1施設、立地しています。

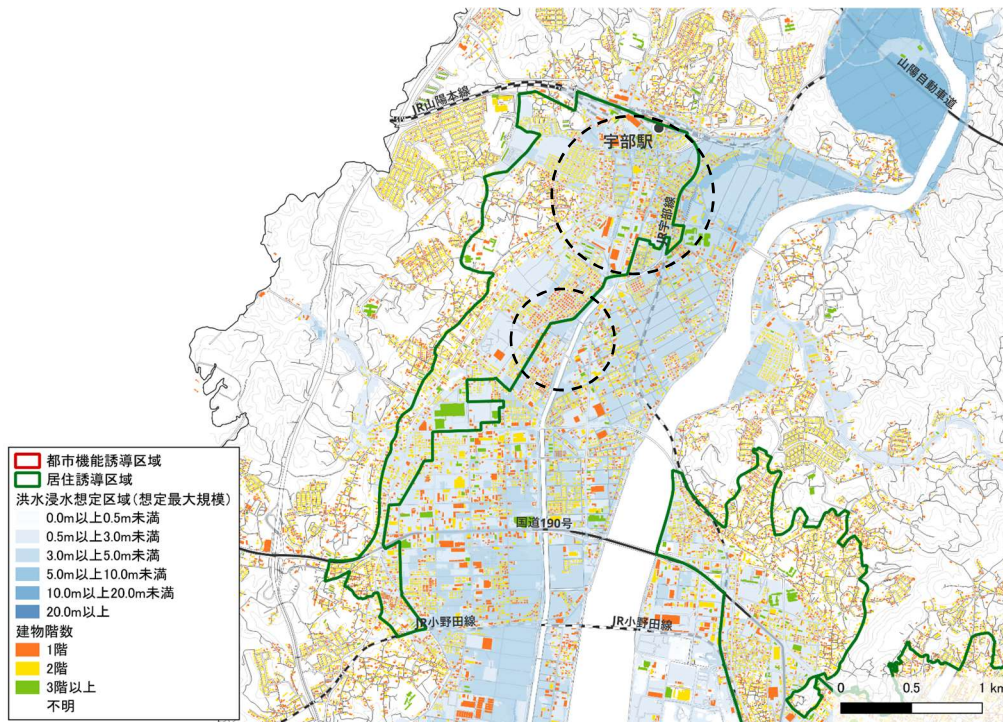


居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に多くの病院・福祉系施設が立地しており、浸水深が3.0m以上となる範囲にも位置しているため、洪水が想定される場合は、垂直避難の可能性の判断や早期避難が必要となります。

④ 洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））と建物階数の重ね合わせ

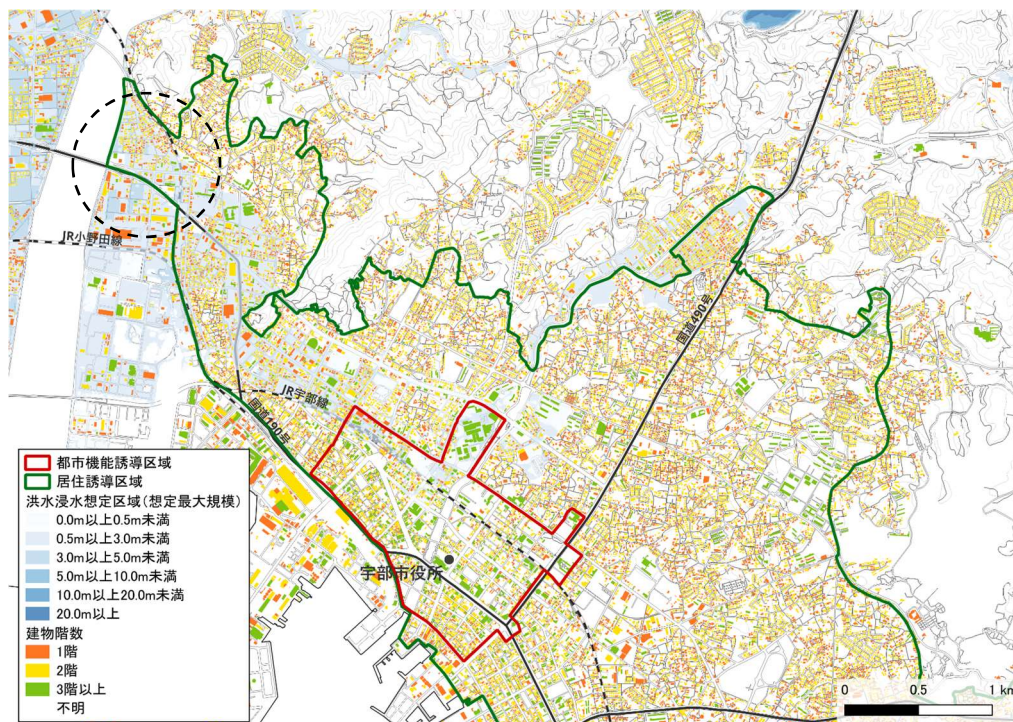
西部地域

居住誘導区域内の広範囲が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に重複し、浸水深 0.5m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地すると同時に、浸水深 3.0m以上となる区域も含まれます。



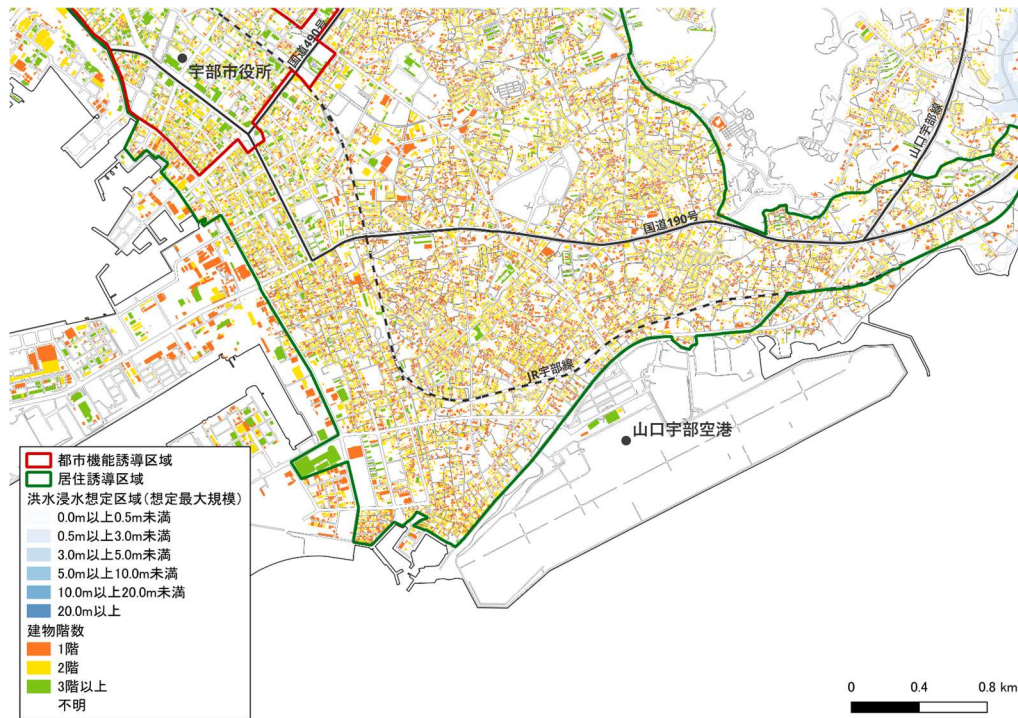
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、1 階建て、2 階建ての建物が多く立地しています。



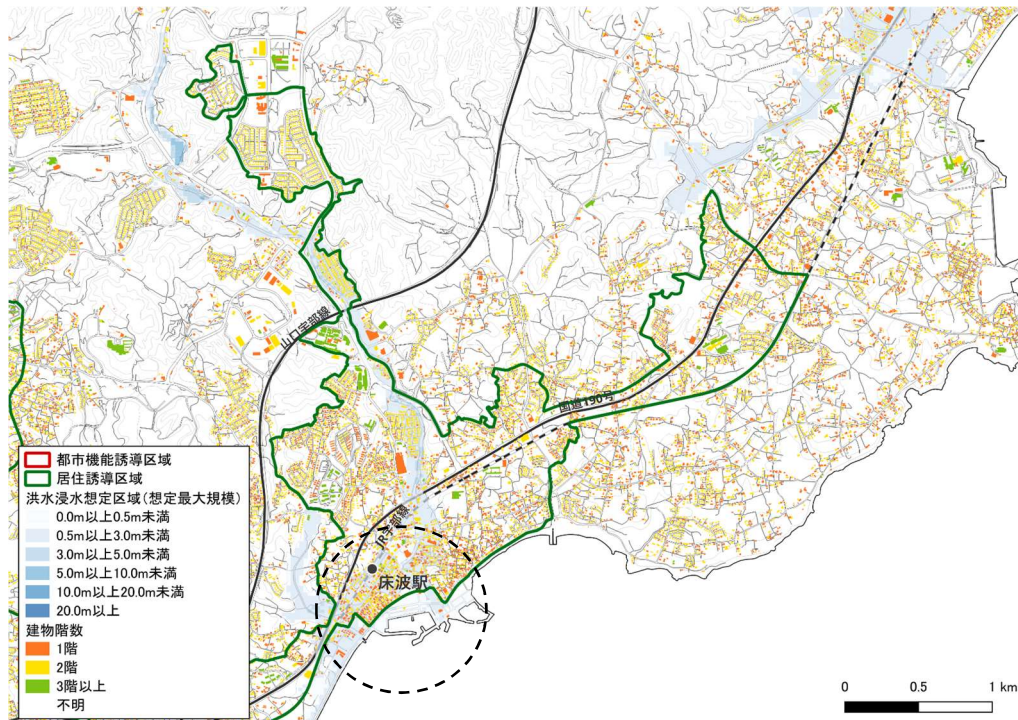
中央部地域②

居住誘導区域内には想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、1階建て、2階建ての建物が多く立地しています。

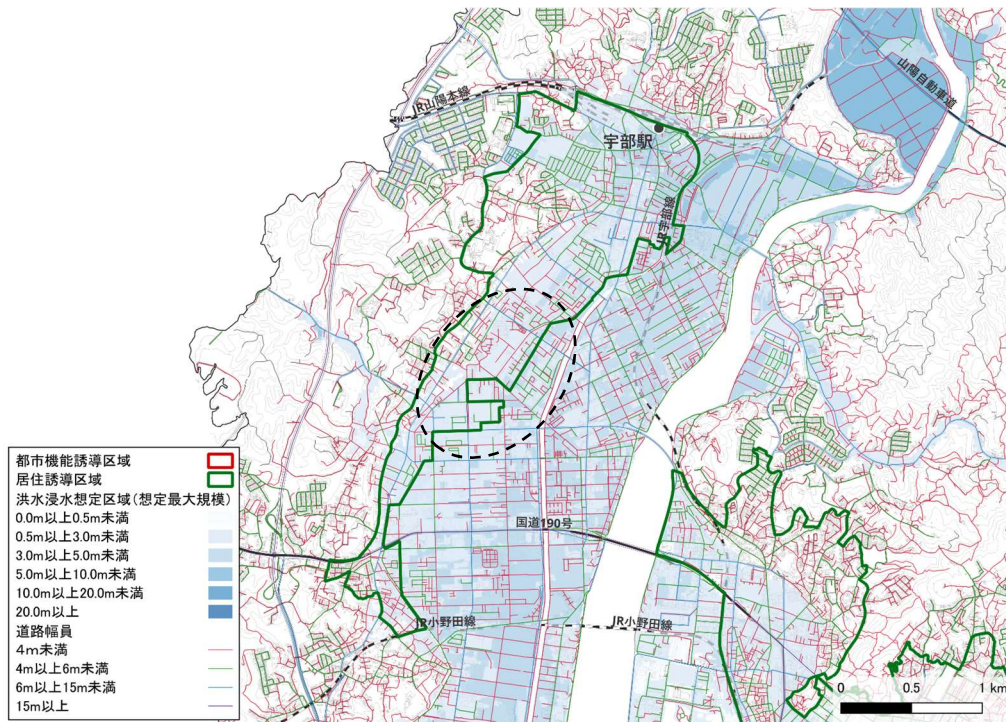


居住誘導区域内の広範囲が想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域に重複し、床上浸水する恐れのある浸水深0.5m以上となる範囲に1階建て、2階建ての建物が多く立地しています。同時に、一般的な家屋の2階床下部分に相当する浸水深3.0m以上となる区域も想定され、建物の倒壊リスクが懸念されます。

⑤ 洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））と道路幅員の重ね合わせ

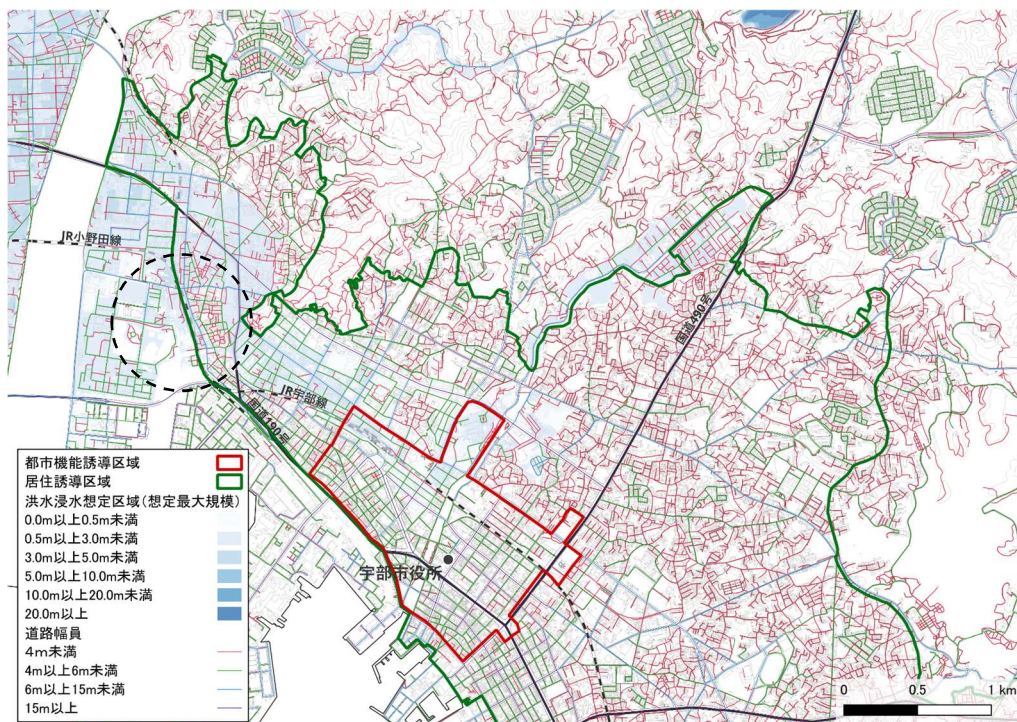
西部地域

黒石地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



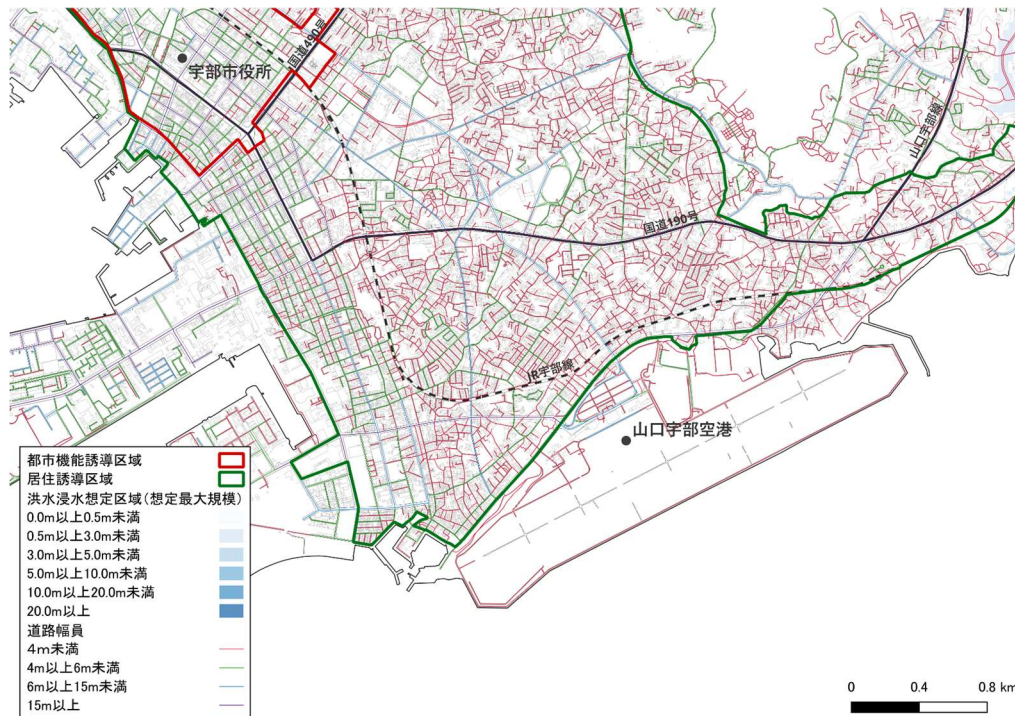
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



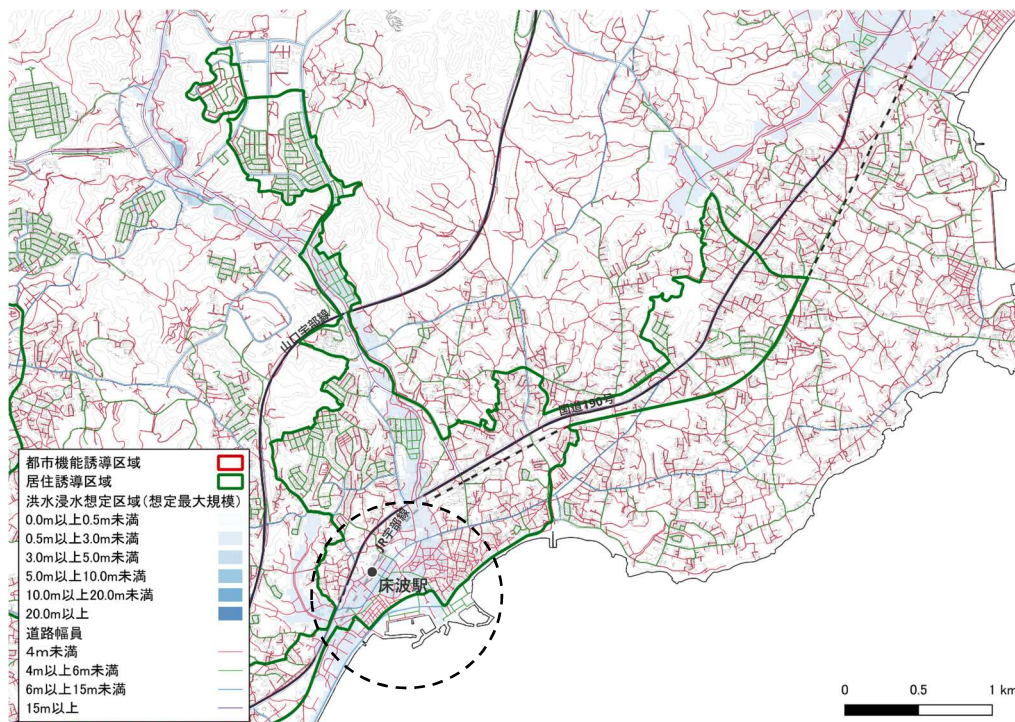
中央部地域②

居住誘導区域内には想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が存在しています。



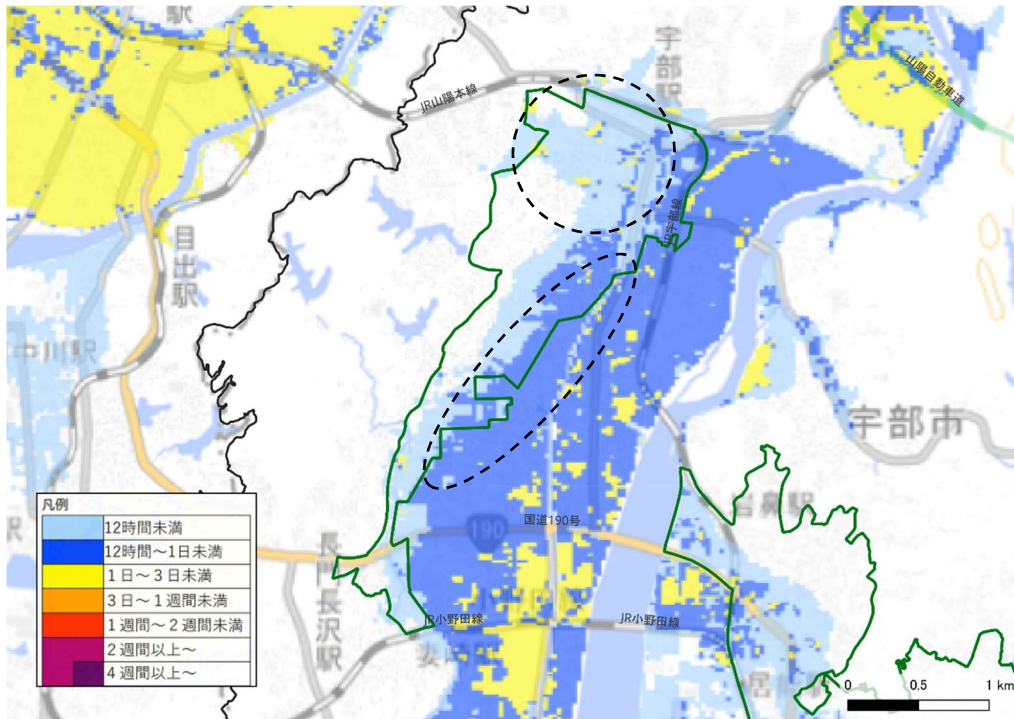
居住誘導区域内の想定最大規模（L2）洪水浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在し、災害時の避難経路の確保が必要となります。

⑥ 浸水継続時間と居住誘導区域の重ね合わせ

3日以上浸水が継続すると、健康障害の発生や最悪の場合は生命の危機が生じる恐れがあるとされています。

西部地域

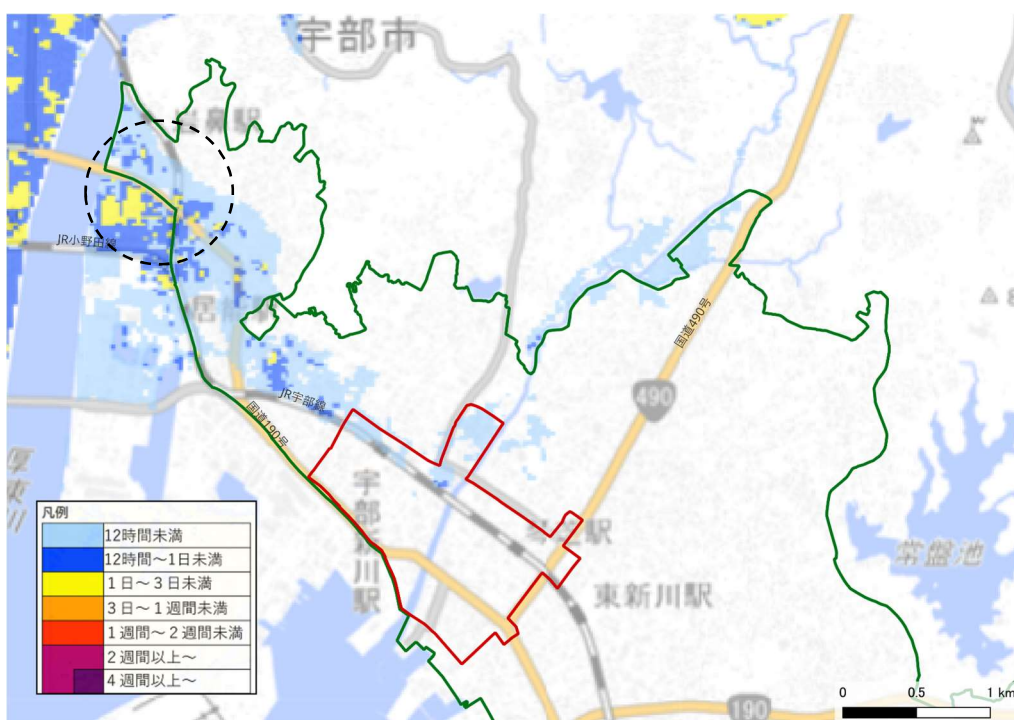
黒石地区、西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の一部で1日～3日未満で浸水が継続することが想定されています。



中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の一部で1日～3日未満で浸水が継続することが想定されています。

また、都市機能誘導区域内の一部でも、12時間～1日未満で、浸水が継続することが想定されています。



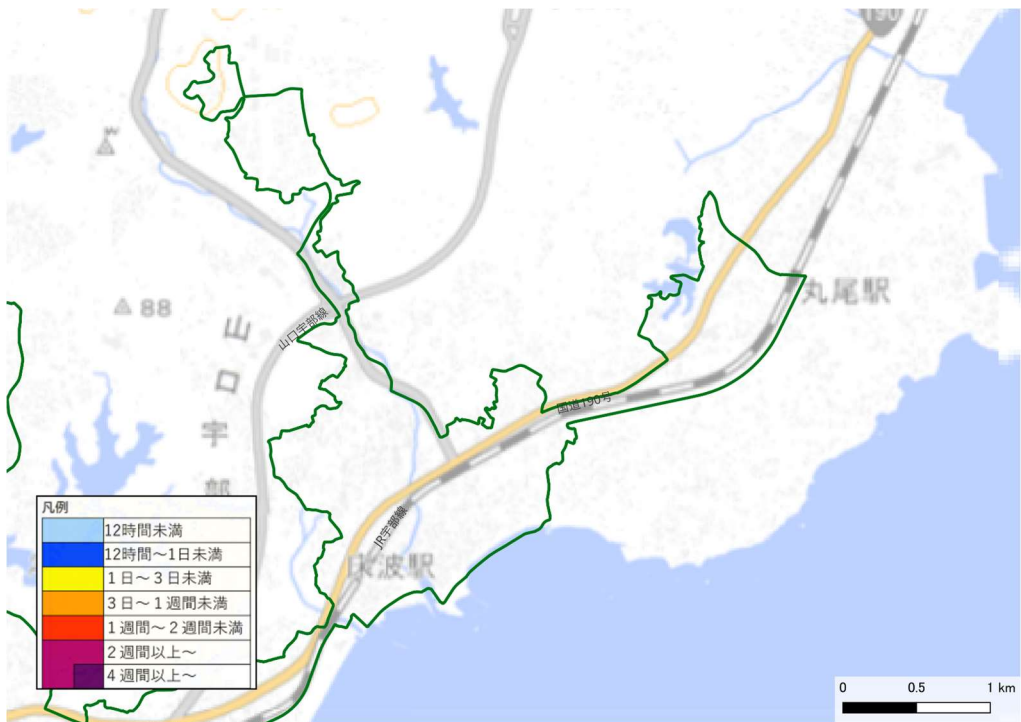
中央部地域②

居住誘導区域内では浸水が継続する区域は想定されていません。



東部地域

居住誘導区域内では浸水が継続する区域は想定されていません。



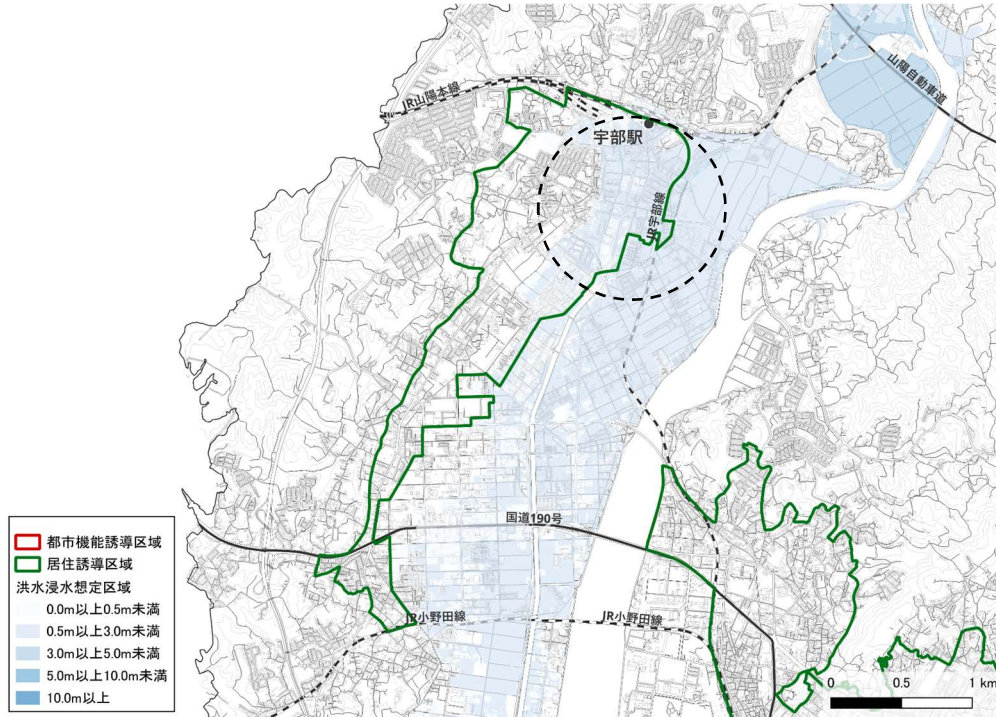
居住誘導区域内の一部では、1日～3日未満で浸水が継続する恐れがあるため、各家庭における飲料水や食料等の備蓄が必要となります。

(4) 洪水のリスク（計画規模（L1））

① 洪水浸水想定区域（計画規模（L1））と居住誘導区域の重ね合わせ

西部地域

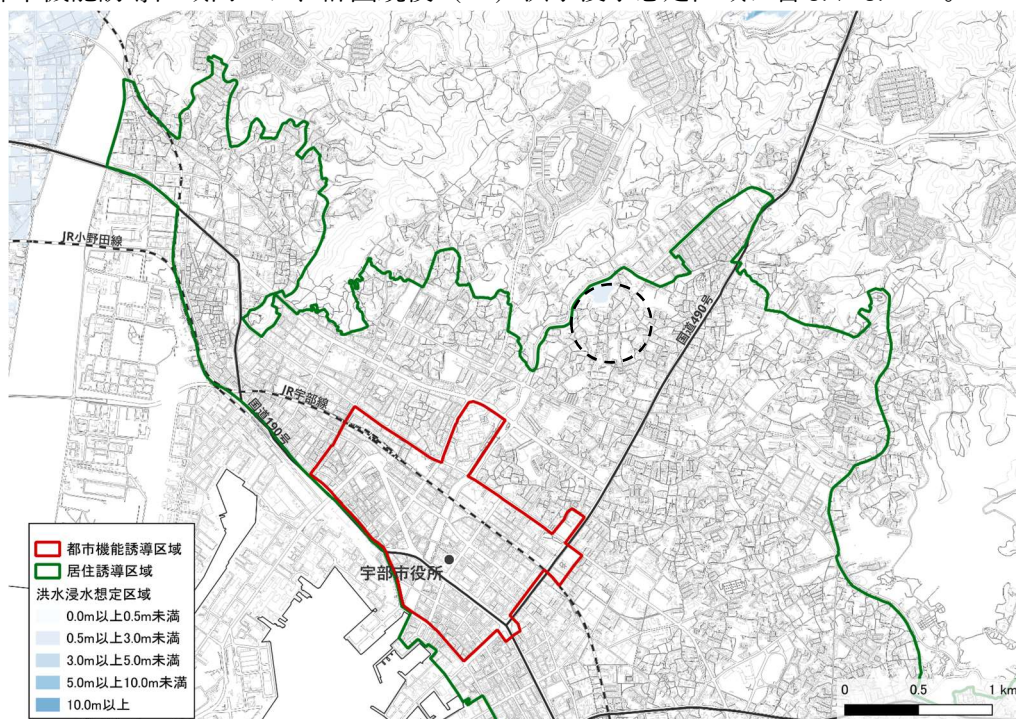
西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の一部が計画規模（L1）洪水浸水想定区域に重複し、浸水深3.0m未満の浸水が想定されています。



中央部地域①

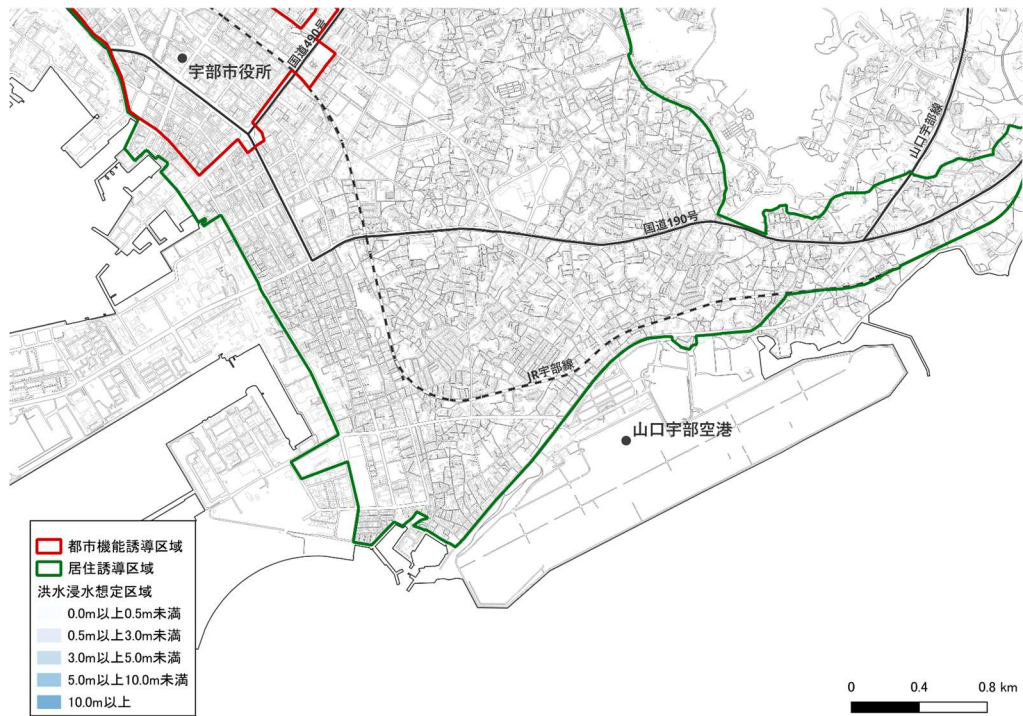
上宇部地区の居住誘導区域内の一部に計画規模（L1）洪水浸水想定区域が重複します。

また、都市機能誘導区域内には、計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



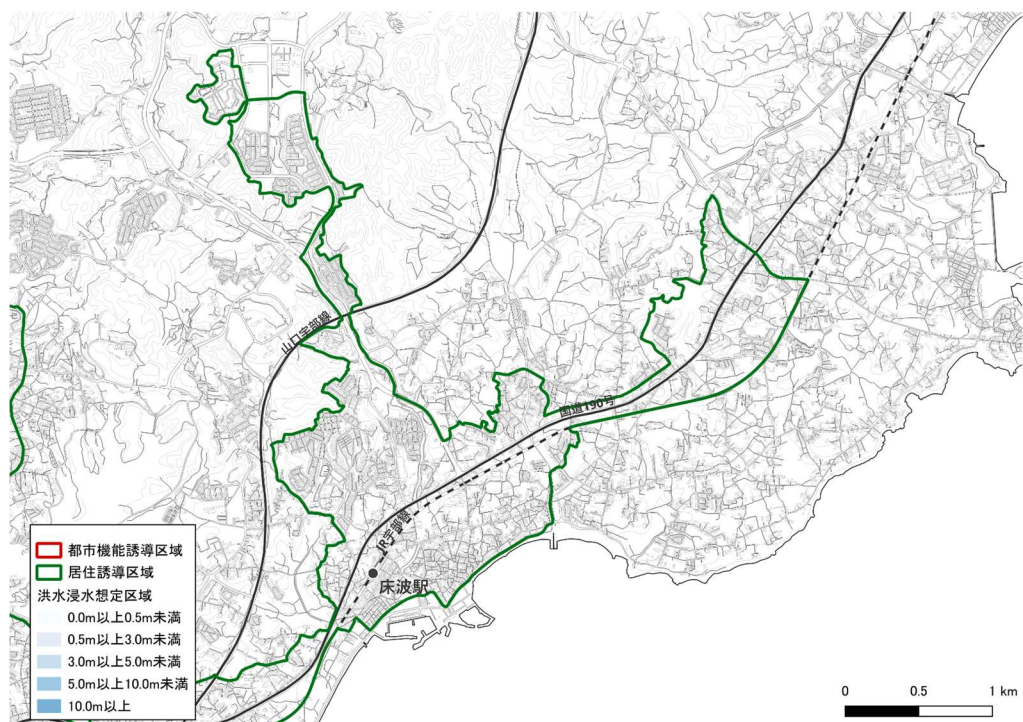
中央部地域②

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。

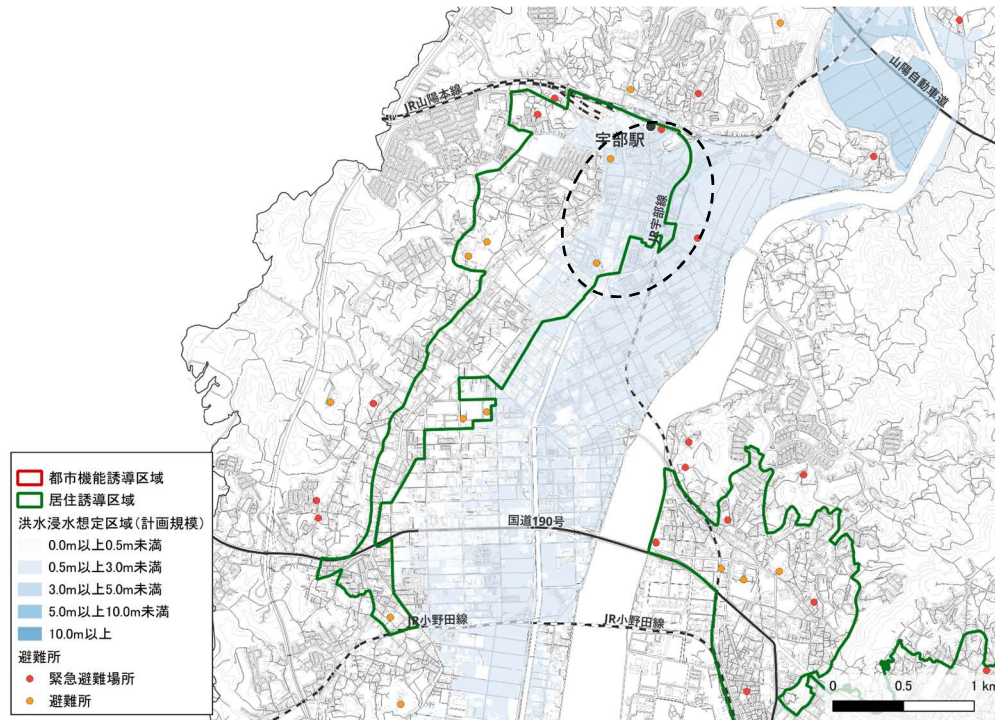


西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の一部が計画規模（L1）洪水浸水想定区域に重複するため、洪水による被害が懸念されます。

② 洪水浸水想定区域（計画規模（L1））と避難所の重ね合わせ

西部地域

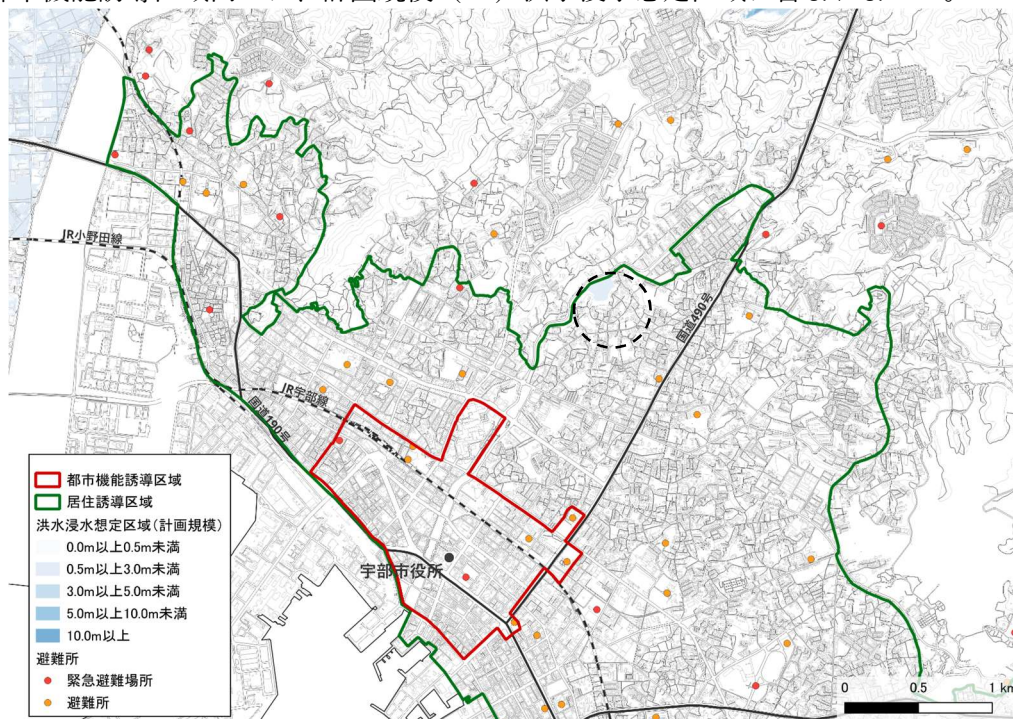
西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所3施設、立地しています。



中央部地域①

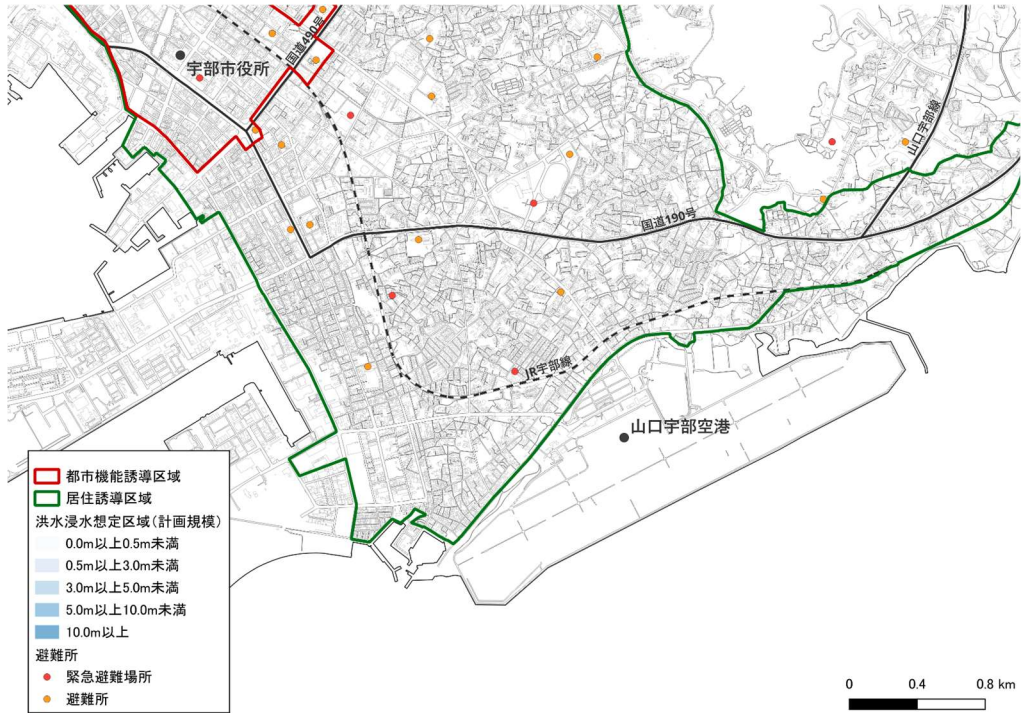
上宇部地区の居住誘導区域内に計画規模（L1）洪水浸水想定区域が重複していますが、緊急避難場所・避難所は立地していません。

また、都市機能誘導区域内には、計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



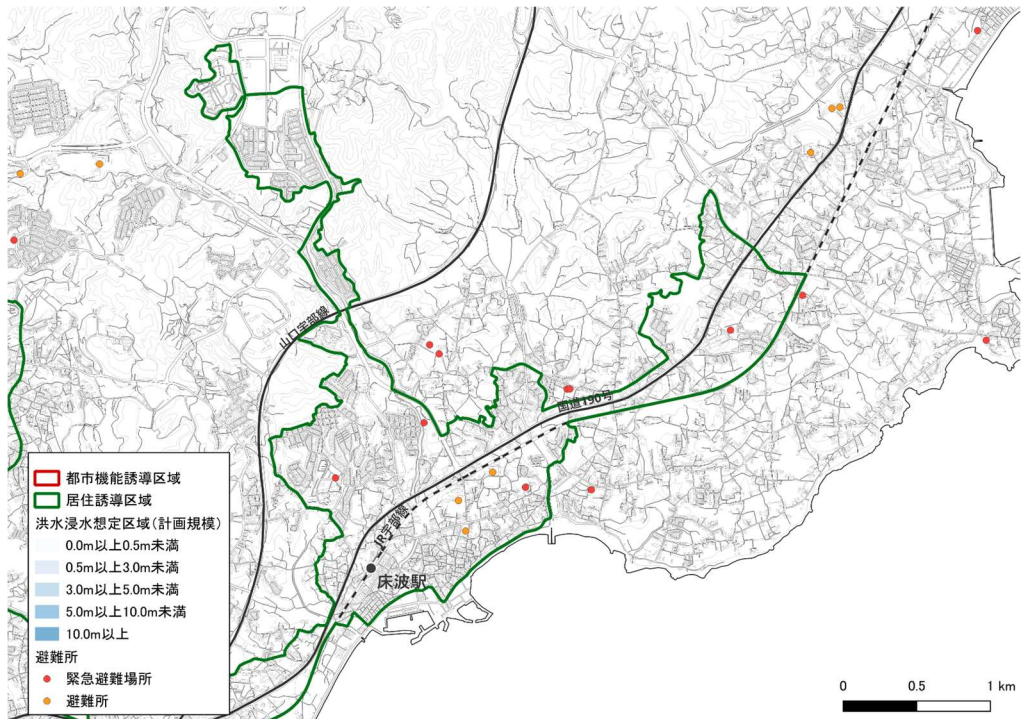
中央部地域②

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。

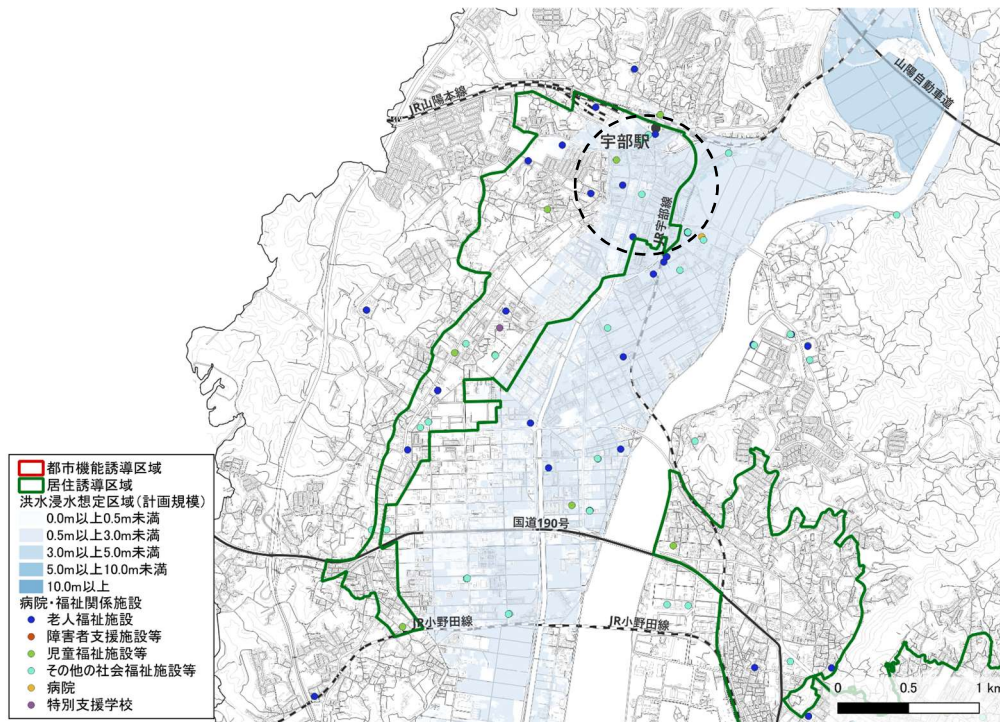


西宇部地区、厚南地区など居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には緊急避難所・避難所が立地しており、洪水が想定される場合は、早期避難が必要となります。

③ 洪水浸水想定区域（計画規模（L1））と病院・福祉系施設の重ね合わせ

西部地域

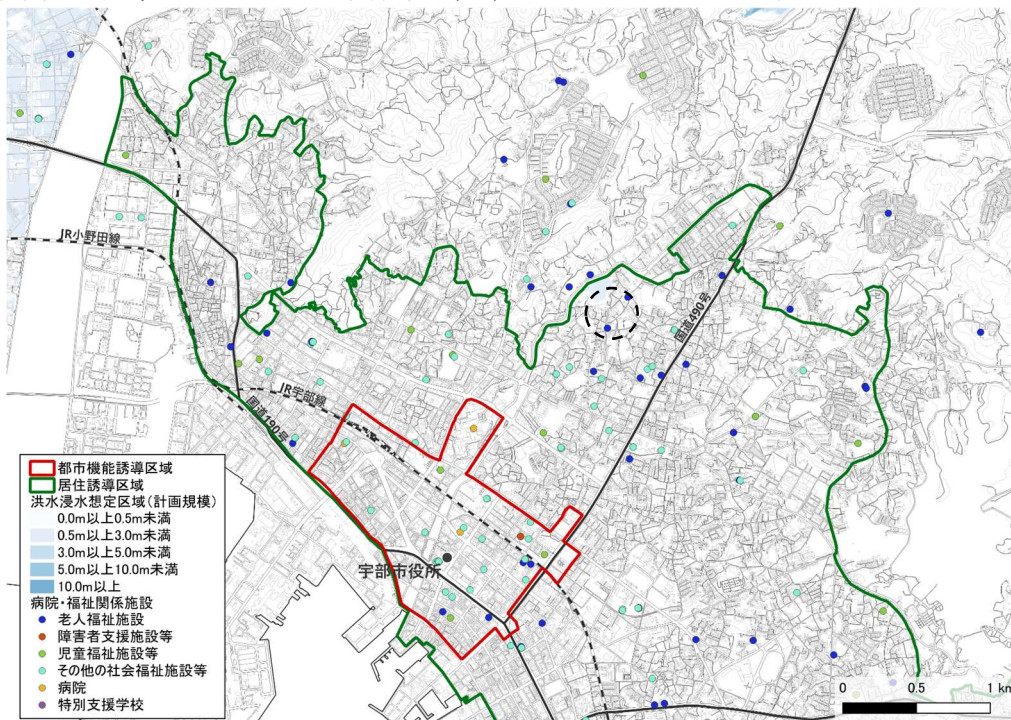
西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、病院・福祉系施設が8施設、立地しています。



中央部地域①

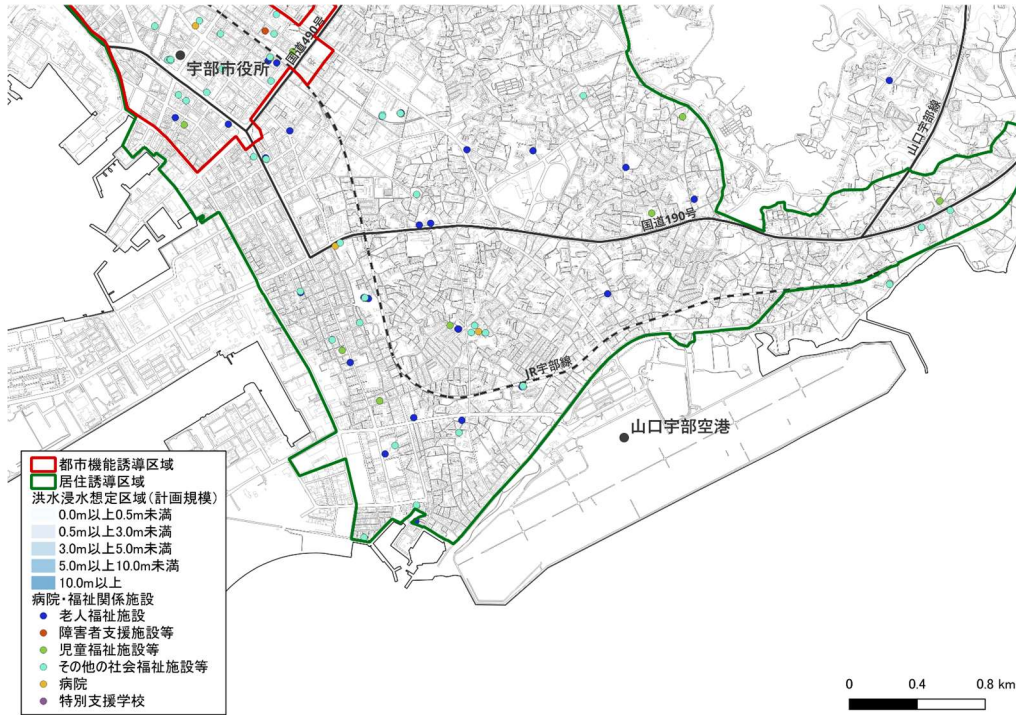
上宇部地区の居住誘導区域内の一部には計画規模（L1）洪水浸水想定区域が重複していますが、浸水想定区域内に病院・福祉系施設は立地していません。

また、都市機能誘導区域内には、計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



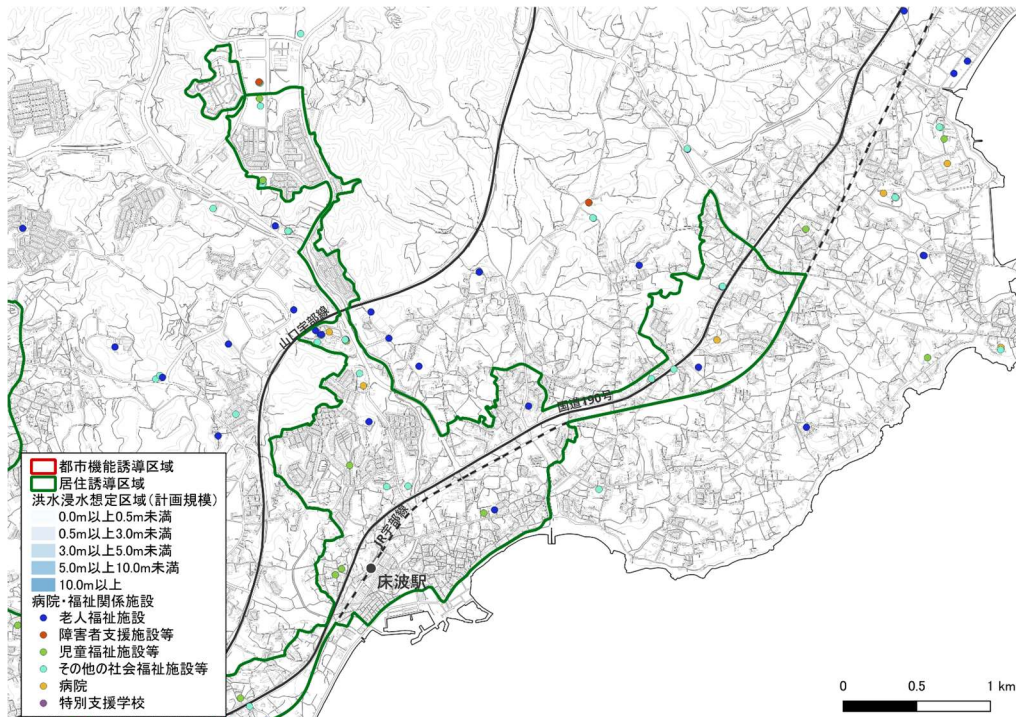
中央部地域②

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。

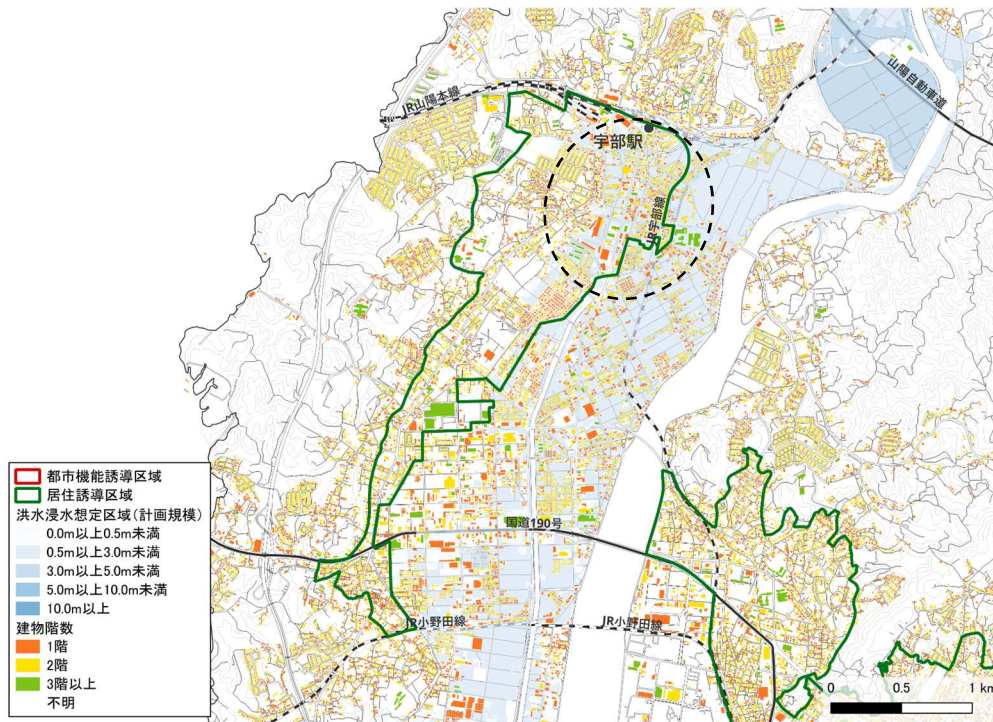


西宇部地区、厚南地区など居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、病院・福祉施設が立地しており、洪水が想定される場合は、早期避難が必要となります。

④ 洪水浸水想定区域（計画規模（L1））と建物階数の重ね合わせ

西部地域

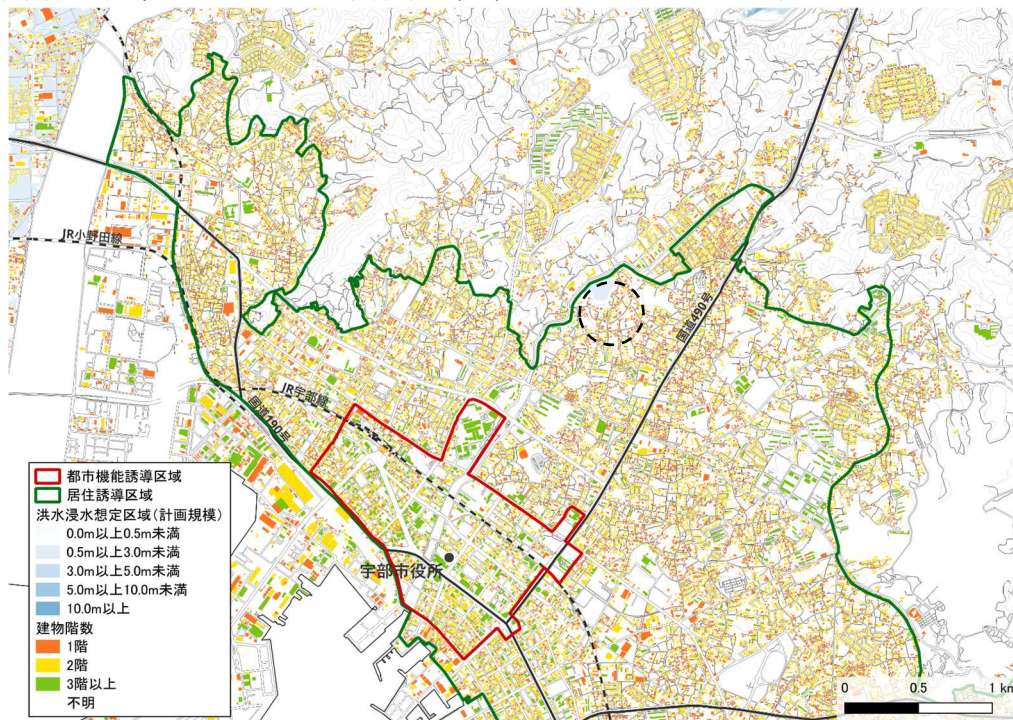
西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、浸水深 0.5m以上となる範囲に1階建て、2階建ての建物が多く立地しています。



中央部地域①

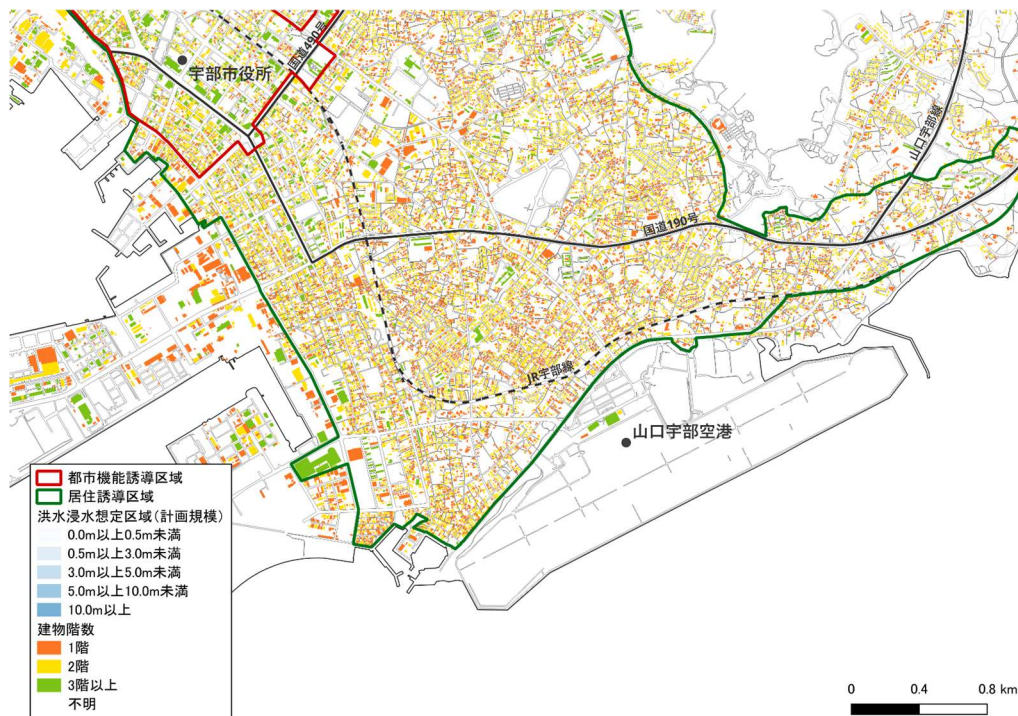
上宇部地区の居住誘導区域内の一部には計画規模（L1）洪水浸水想定区域が重複しますが、浸水想定区域内に建物は立地していません。

また、都市機能誘導区域内には、計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



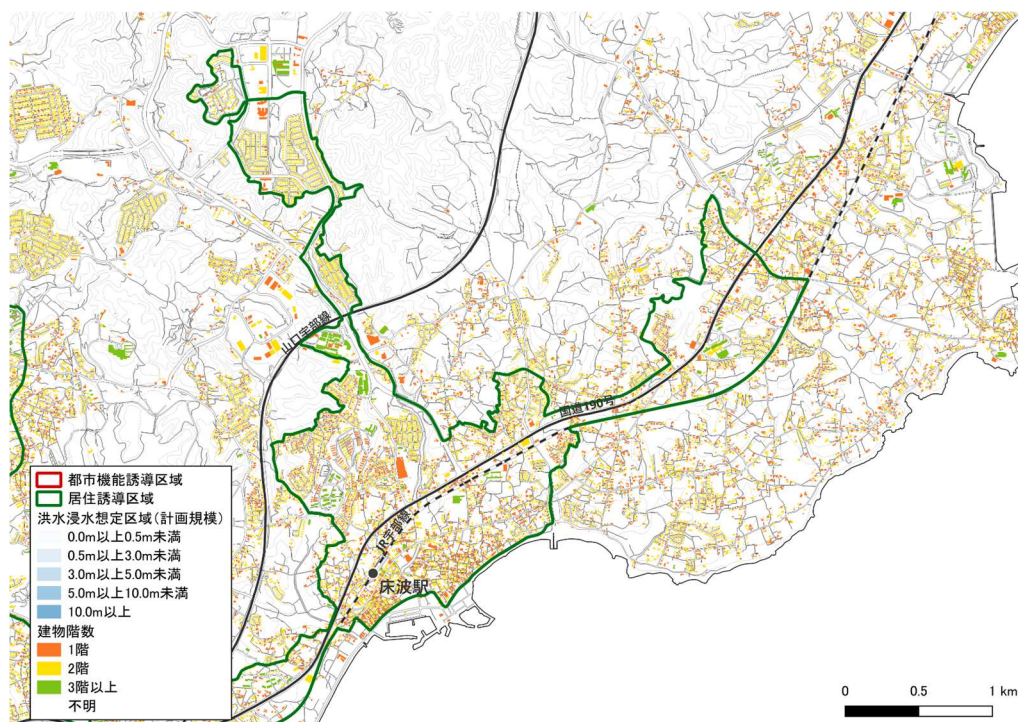
中央部地域②

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。

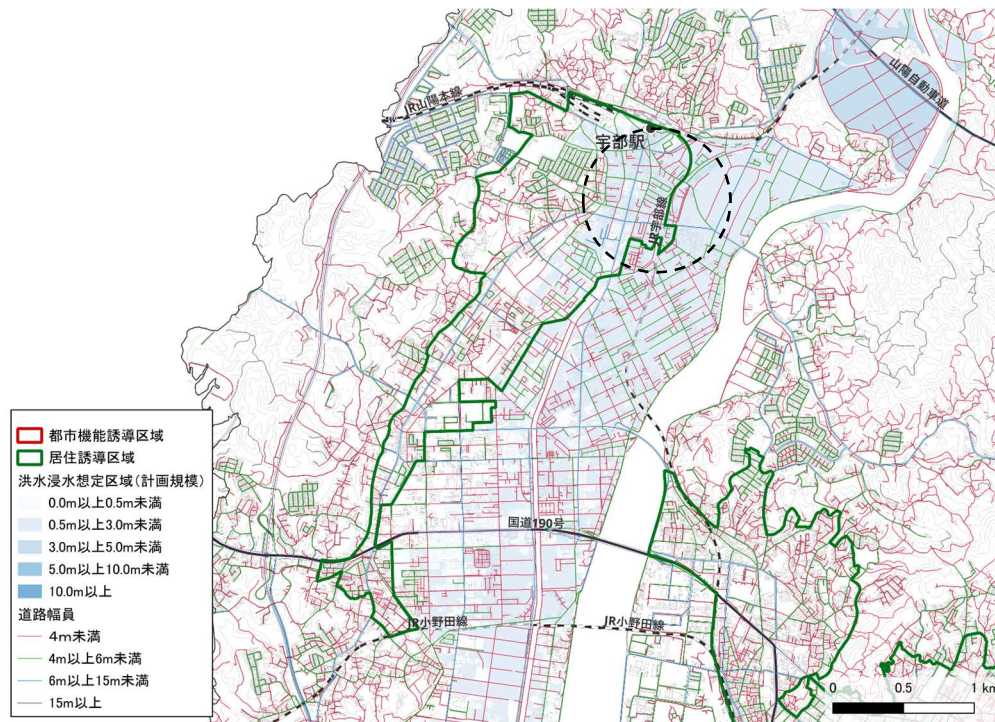


厚南地区など居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、床上浸水する恐れのある浸水深 0.5m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地しているおり、洪水が想定される場合は早期の避難が必要となります。

⑤ 洪水浸水想定区域（計画規模（L1））と道路幅員の重ね合わせ

西部地域

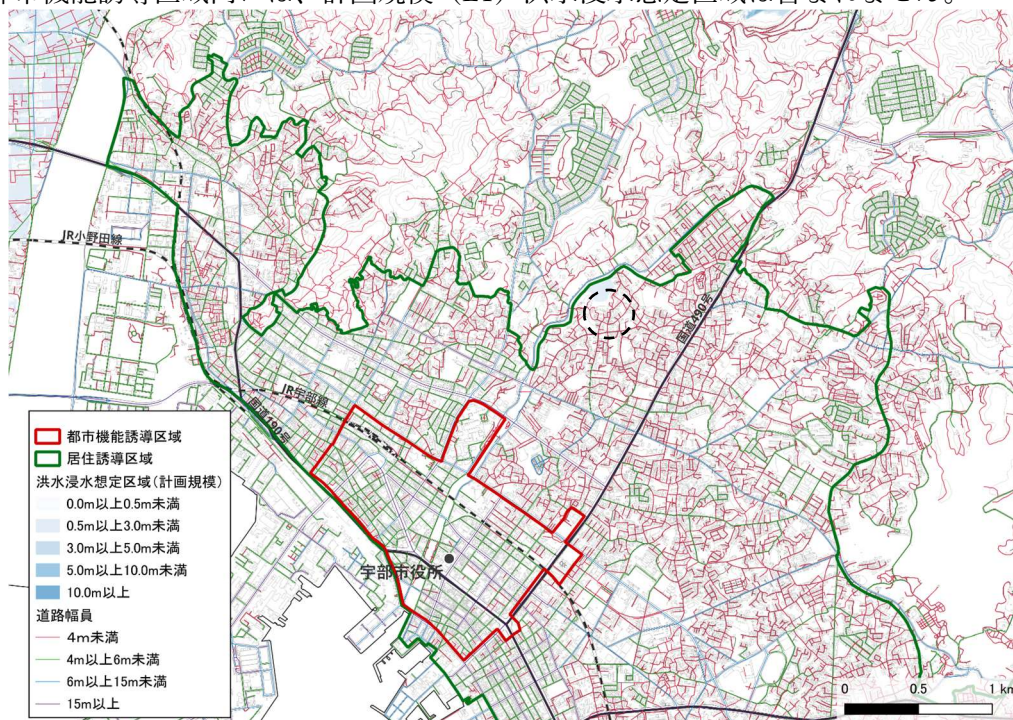
西宇部地区、厚南地区の居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、幅員4m未満の狭い道路が存在しています。



中央部地域①

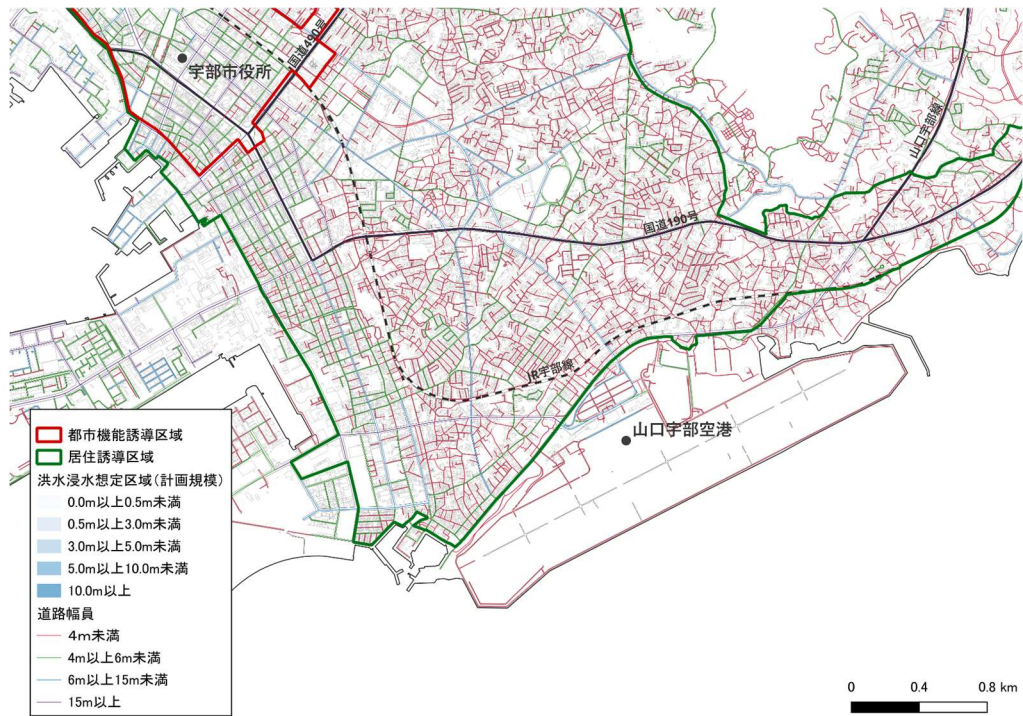
上宇部地区の居住誘導区域内の一部には計画規模（L1）洪水浸水想定区域が重複しますが、浸水想定区域内に狭い道路は存在していません。

また、都市機能誘導区域内には、計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



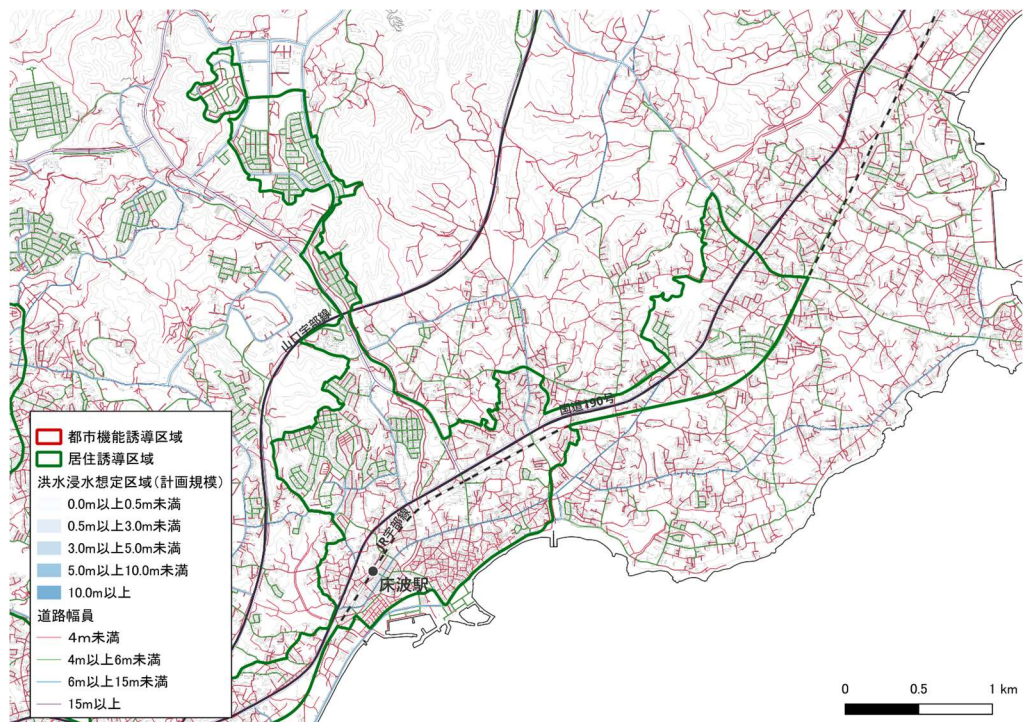
中央部地域②

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には計画規模（L1）洪水浸水想定区域は含まれません。



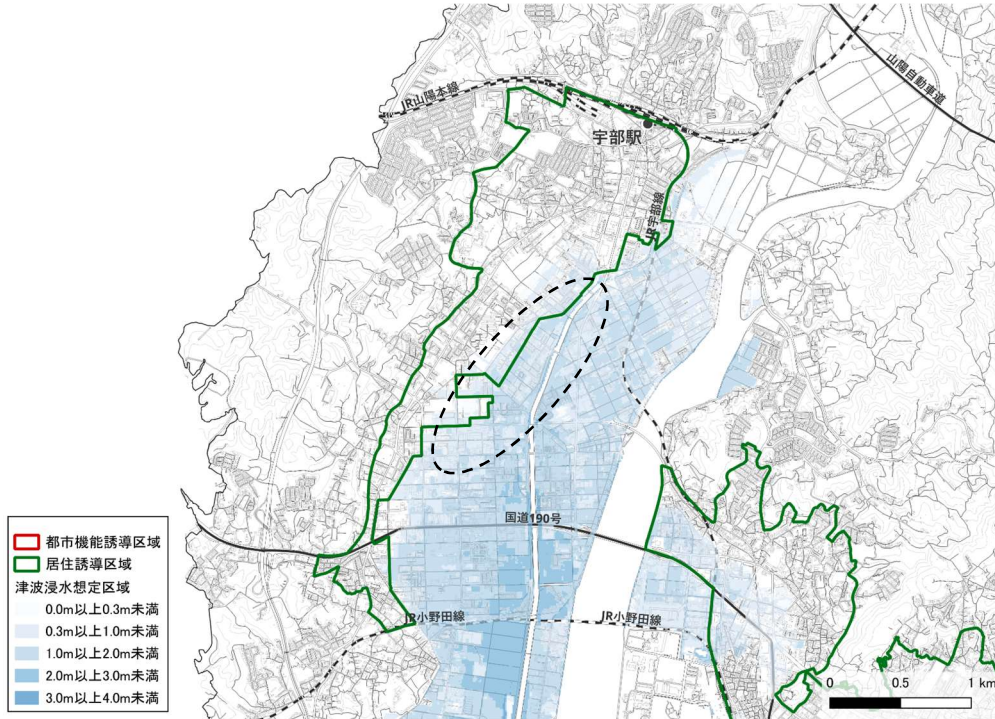
西宇部地区、厚南地区など居住誘導区域内の計画規模（L1）洪水浸水想定区域には、幅員4m未満の狭い道路が存在し、災害時の避難経路の確保が必要となります。

(5) 津波のリスク

① 津波浸水想定区域と居住誘導区域の重ね合わせ

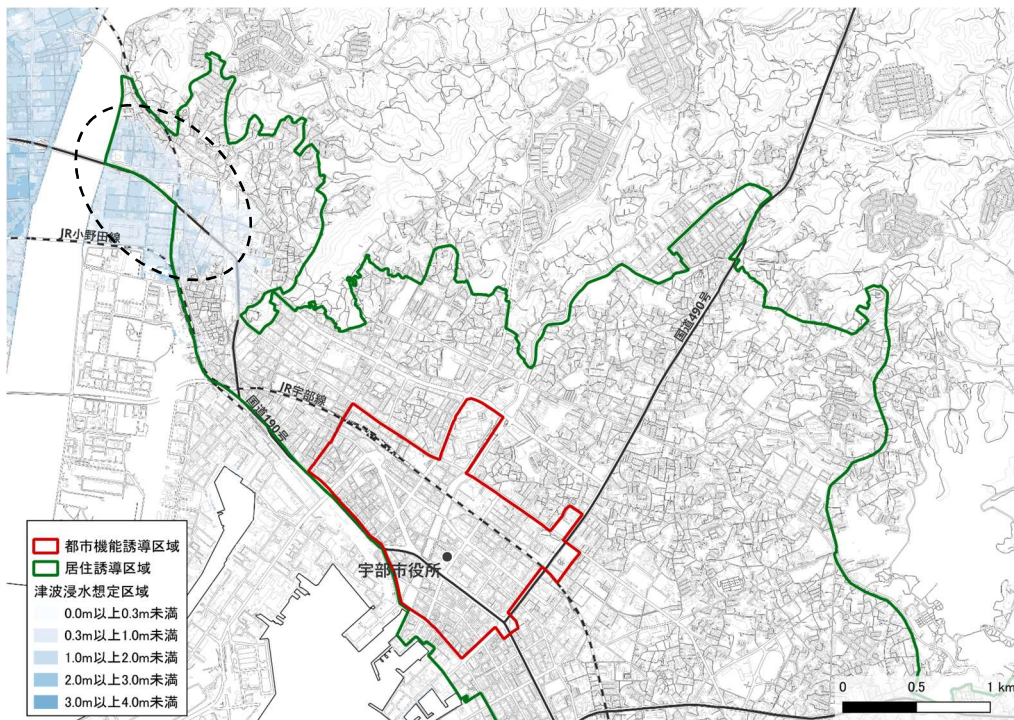
西部地域

黒石地区や厚南地区の居住誘導区域内の一部が津波浸水想定区域に重複します。



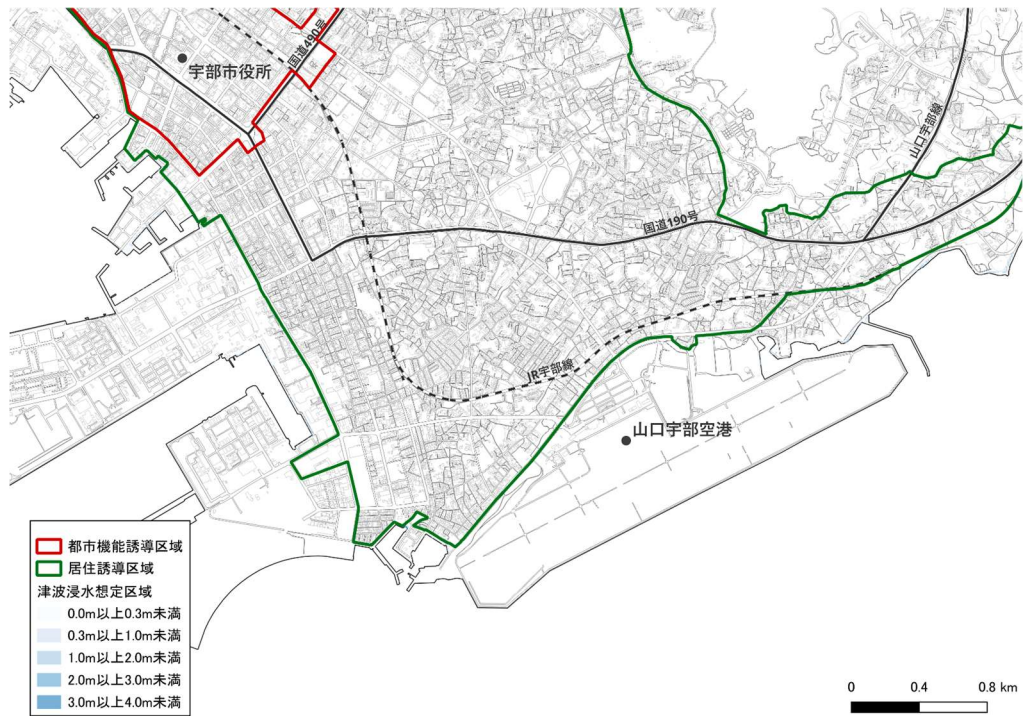
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の一部が津波浸水想定区域に重複します。
また、都市機能誘導区域内には、津波浸水想定区域は含まれません。



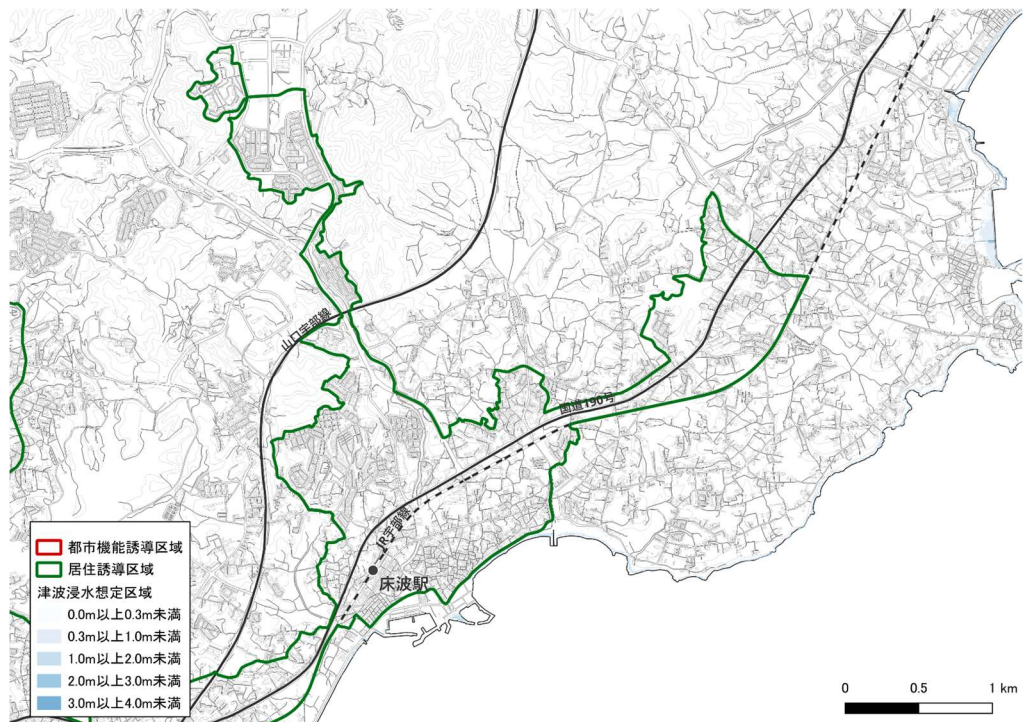
中央部地域②

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。

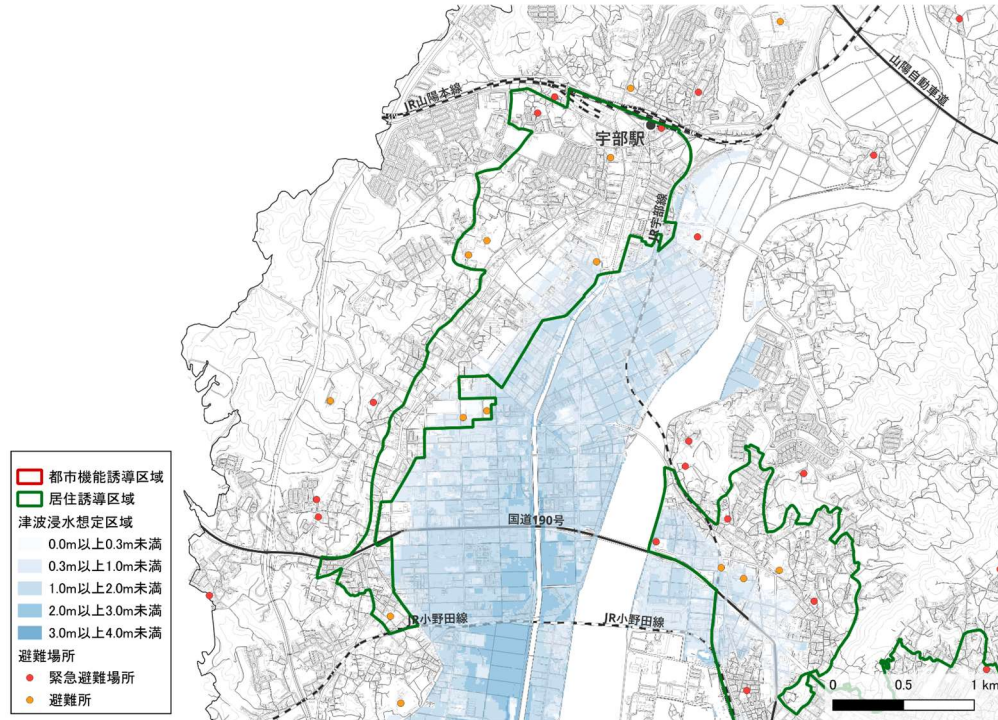


居住誘導区域内の一部に、津波浸水想定区域が重複するため、津波による被害が懸念されます。

② 津波浸水想定区域と避難所の重ね合わせ

西部地域

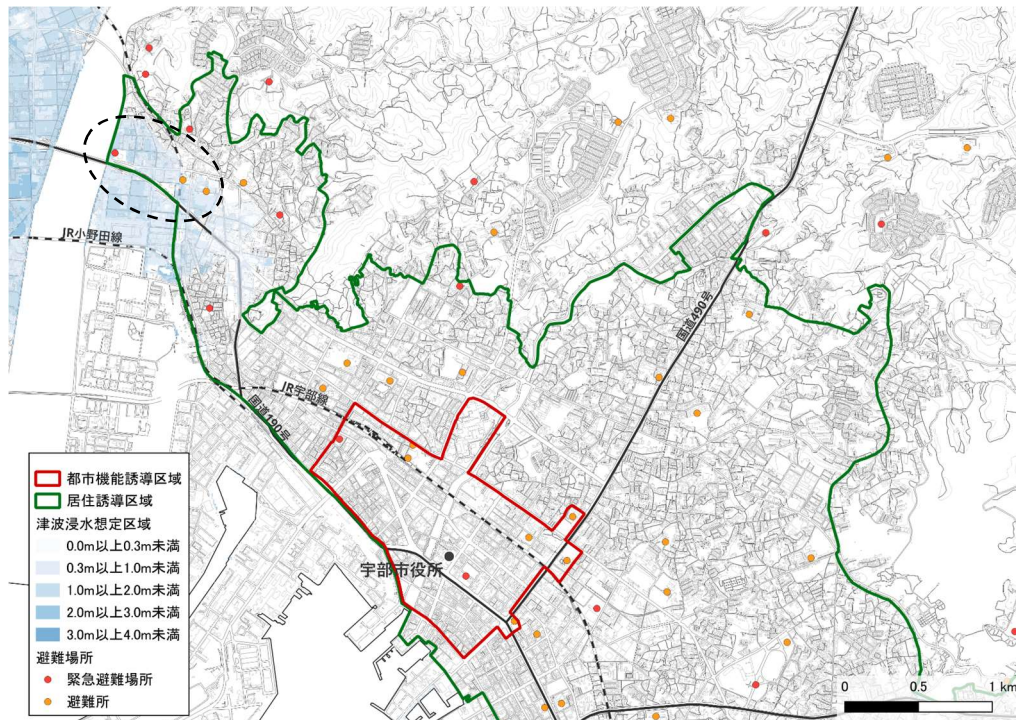
黒石地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所は立地していません。



中央部地域①

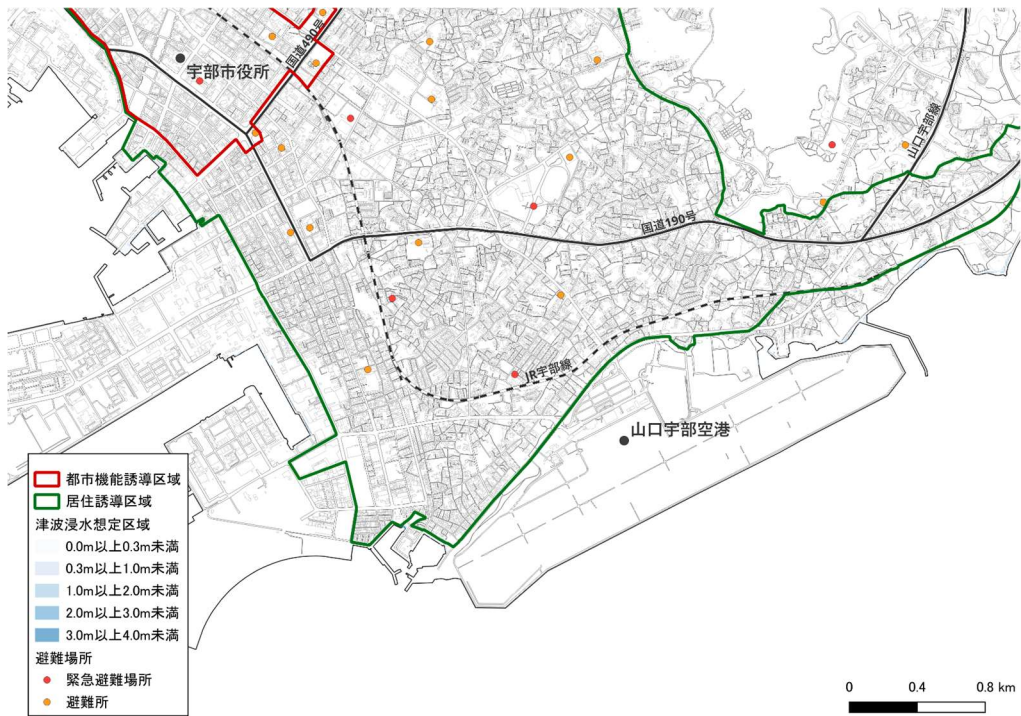
藤山地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所が3施設、立地しています。

また、都市機能誘導区域内には、津波浸水想定区域は含まれません。



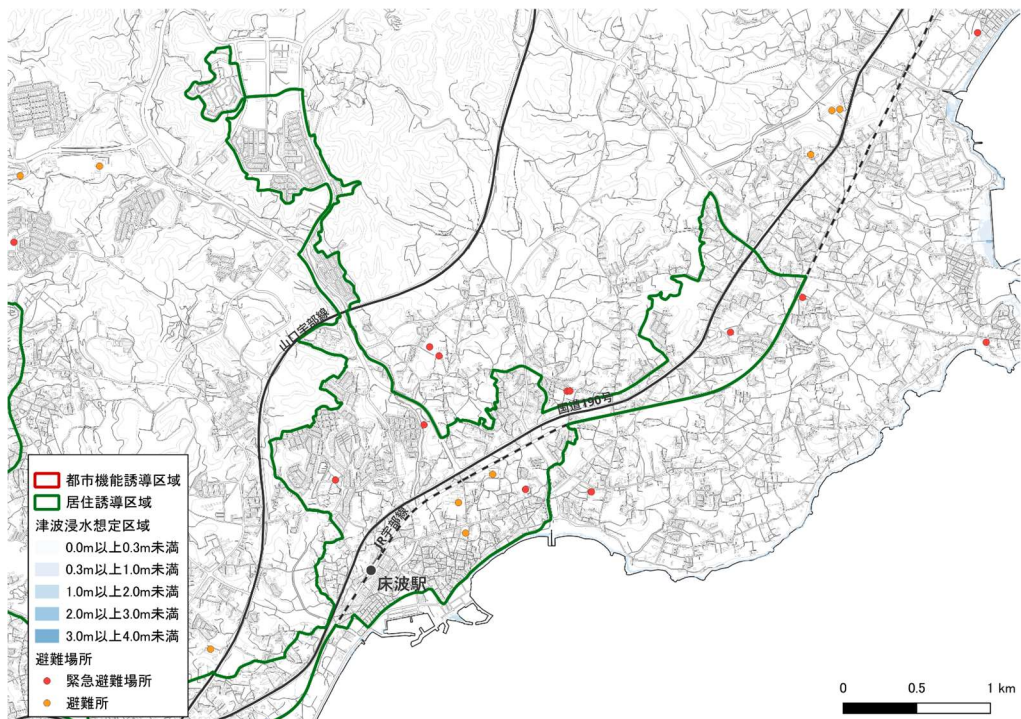
中央部地域②

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。

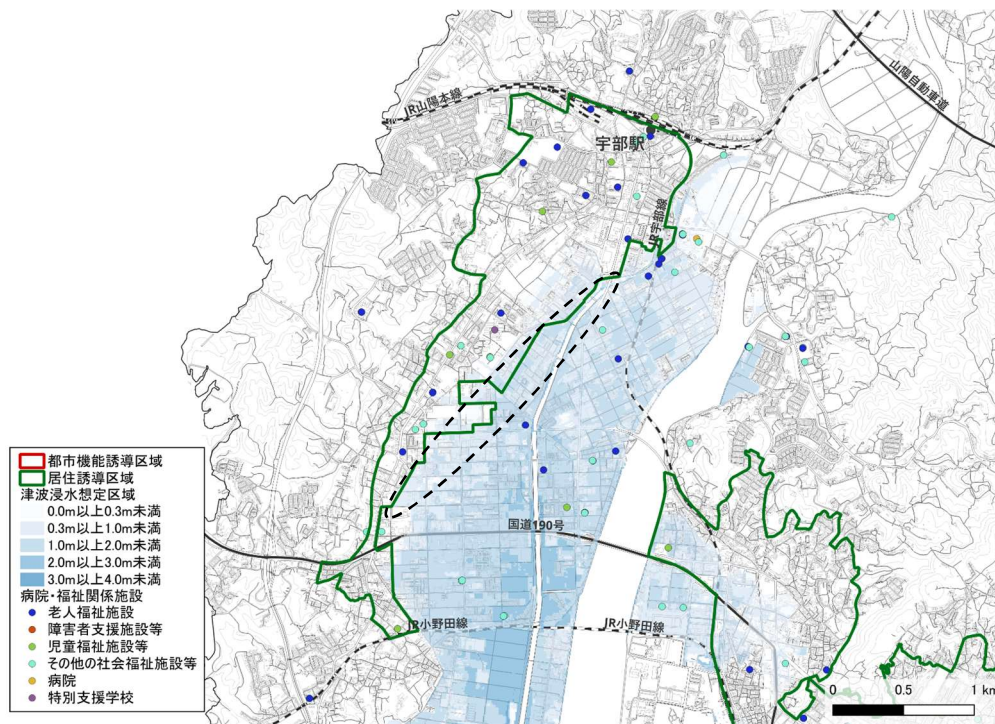


居住誘導区域内の高潮浸水想定区域の一部には緊急避難所・避難所が立地しており、津波が想定される場合は、早期避難が必要となります。

③ 津波浸水想定区域と病院・福祉系施設の重ね合わせ

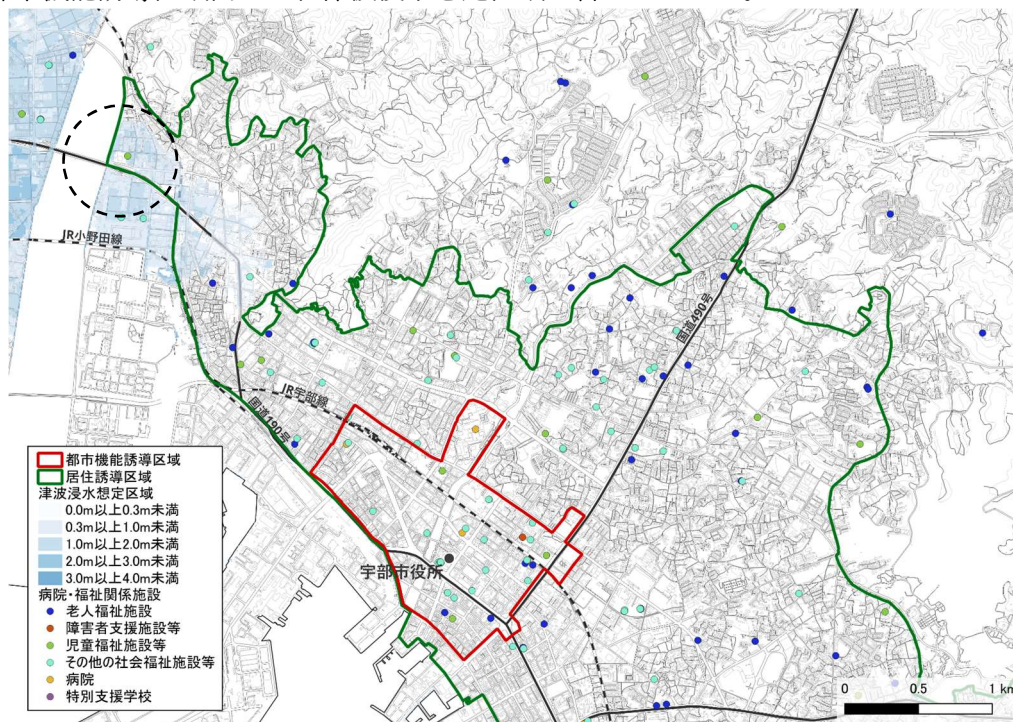
西部地域

黒石地区の居住誘導区域内に津波浸水想定区域が重複しますが、浸水想定区域内に病院・福祉系施設は立地していません。



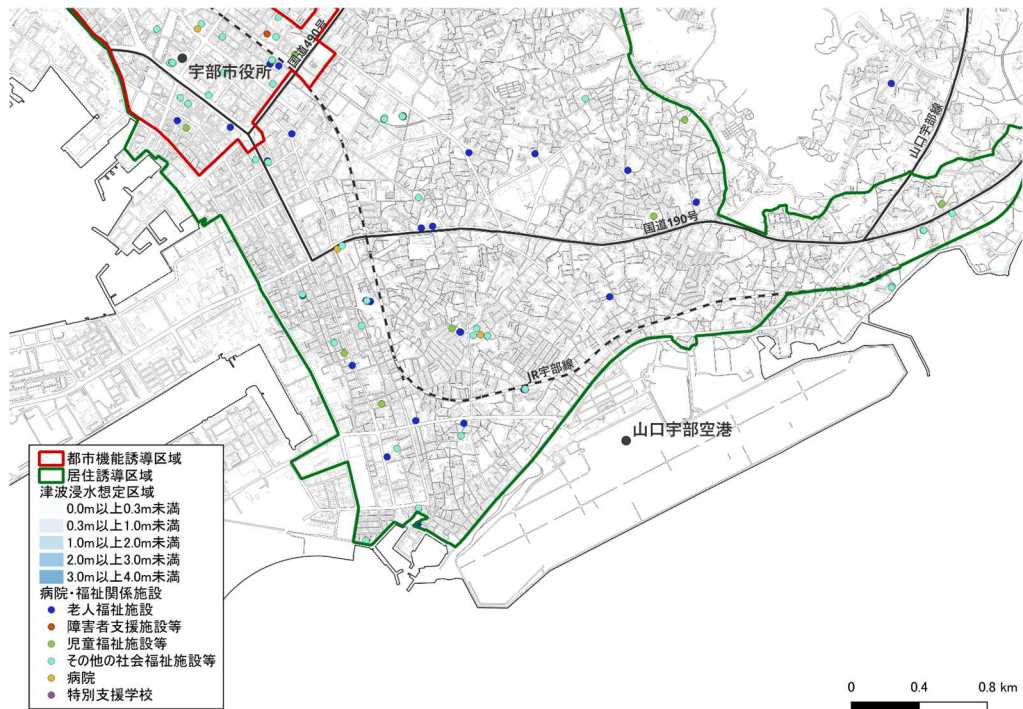
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、福祉系施設が1施設、立地しています。また、都市機能誘導区域内には、津波浸水想定区域は含まれません。



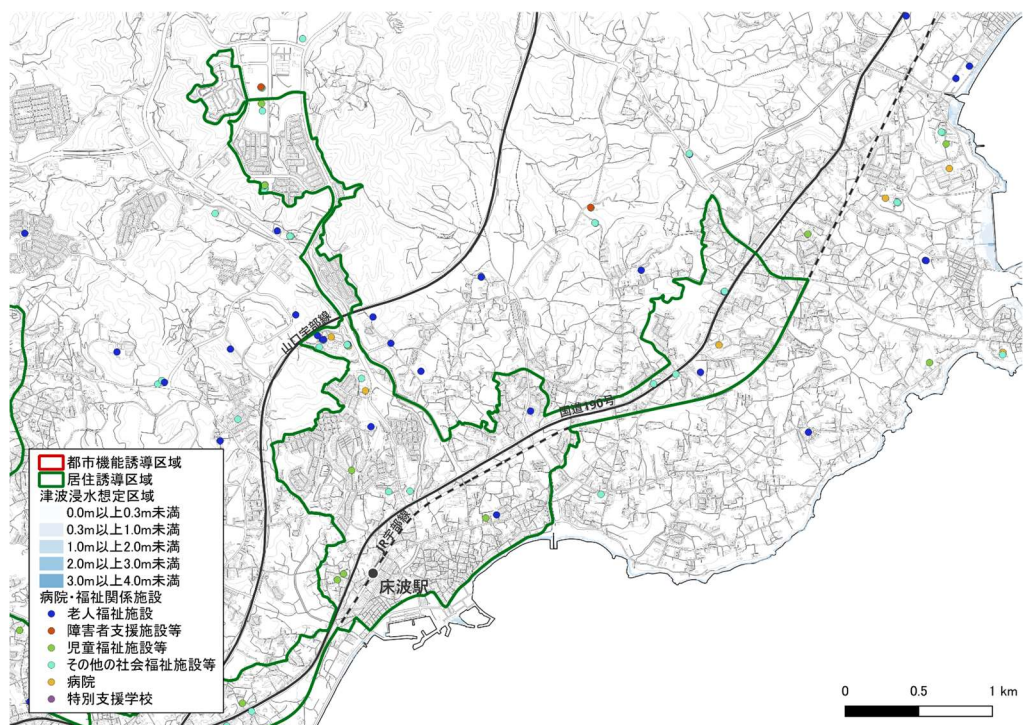
中央部地域②

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。

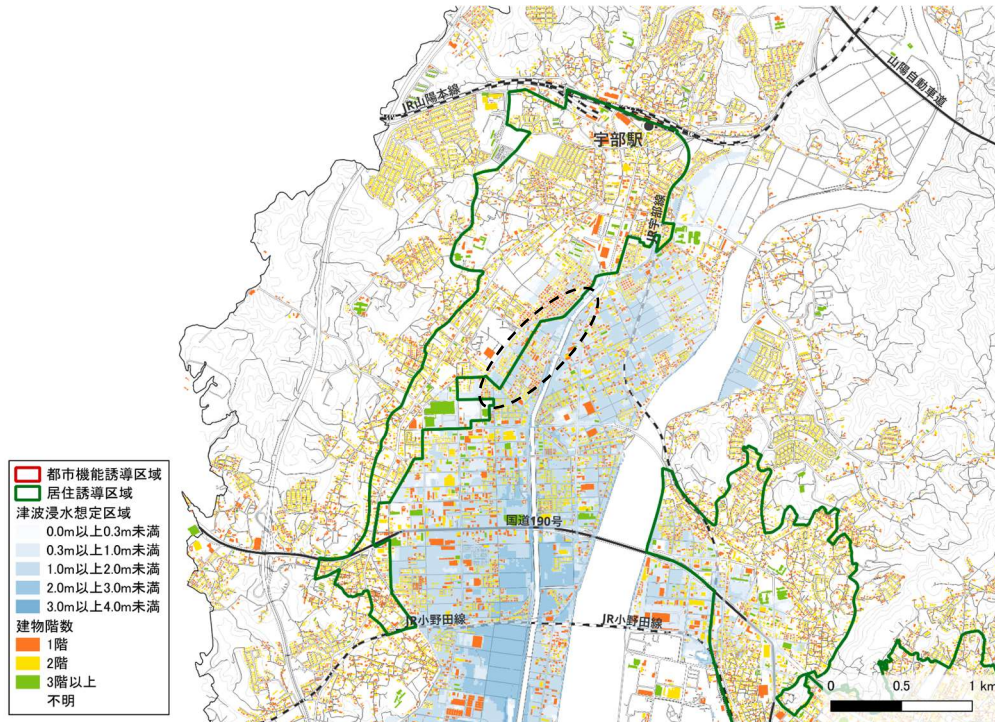


藤山地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、福祉系施設が立地しており、津波が発生した場合は、早期避難が必要となります。

④ 津波浸水想定区域と建物階数の重ね合わせ

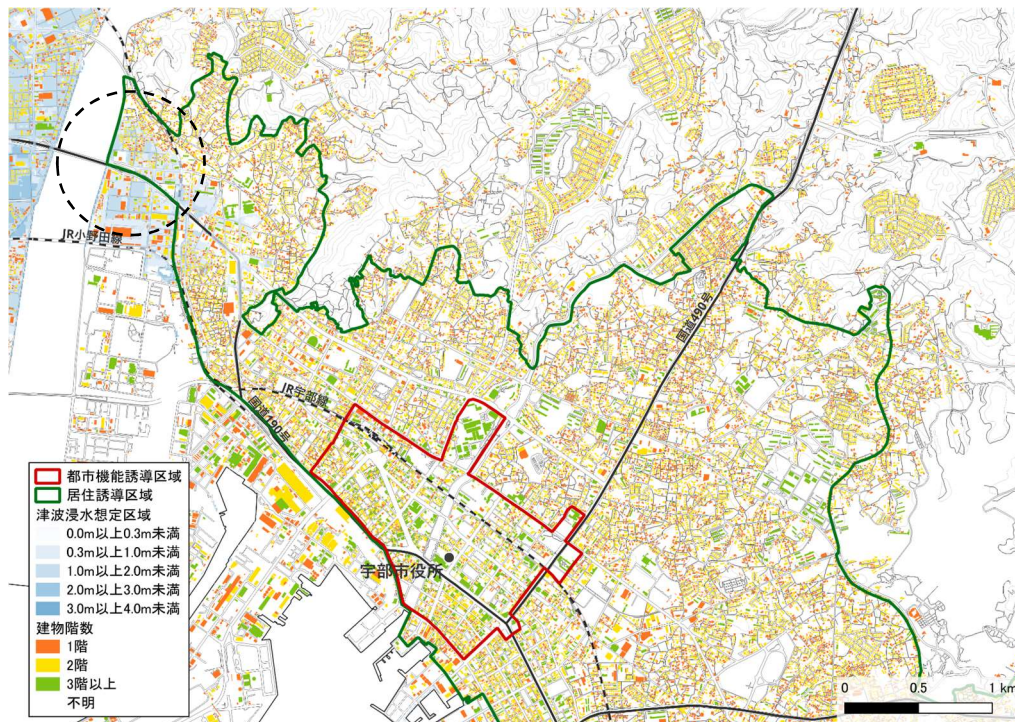
西部地域

黒石地区や厚南地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域内には、浸水深 0.3m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地しています。



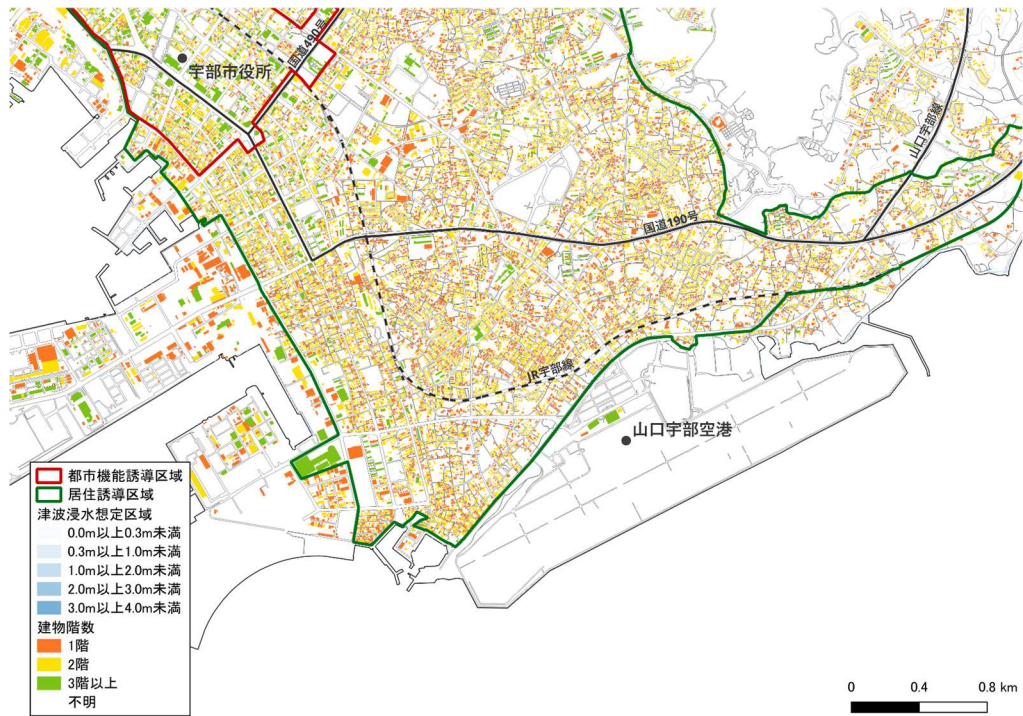
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域内には、浸水深 0.3m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地しています。



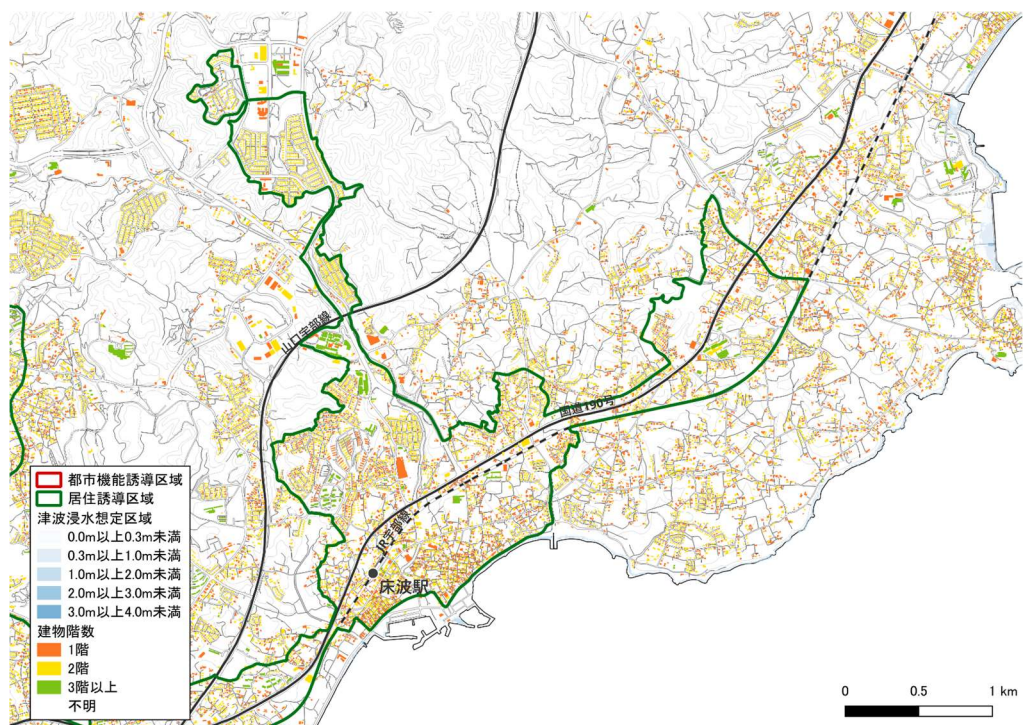
中央部地域②

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。

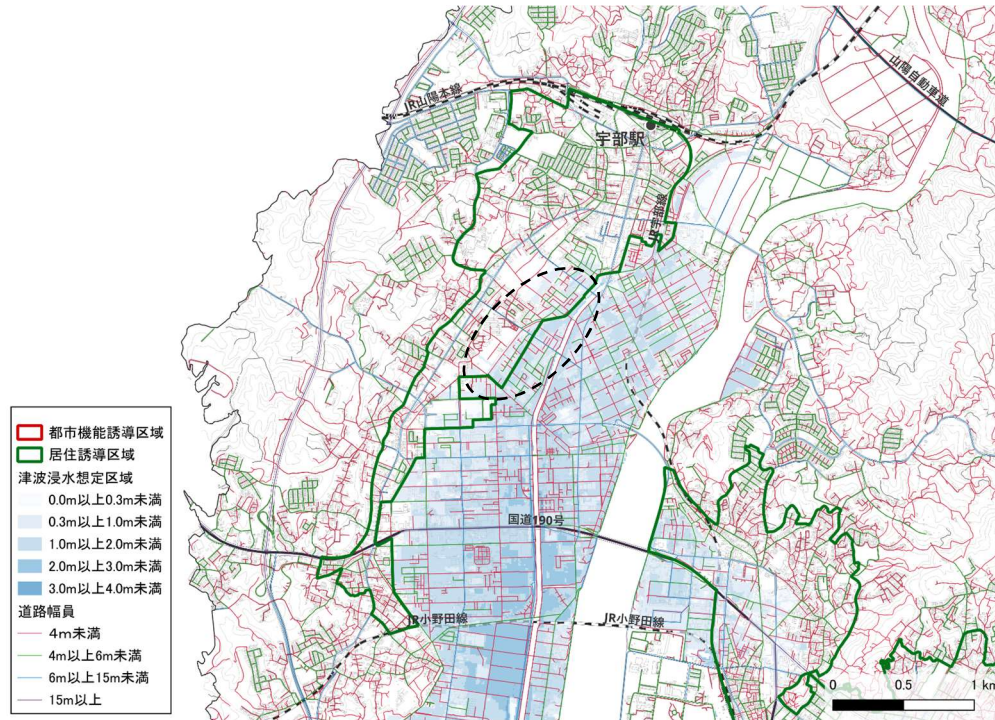


居住誘導区域内の一部には津波浸水想定区域が重複し、避難行動が困難となる浸水深 0.3m以上となる範囲に1階建て、2階建ての建物が多く立地しているため、早期避難が必要となります。

⑤ 津波浸水想定区域と道路幅員の重ね合わせ

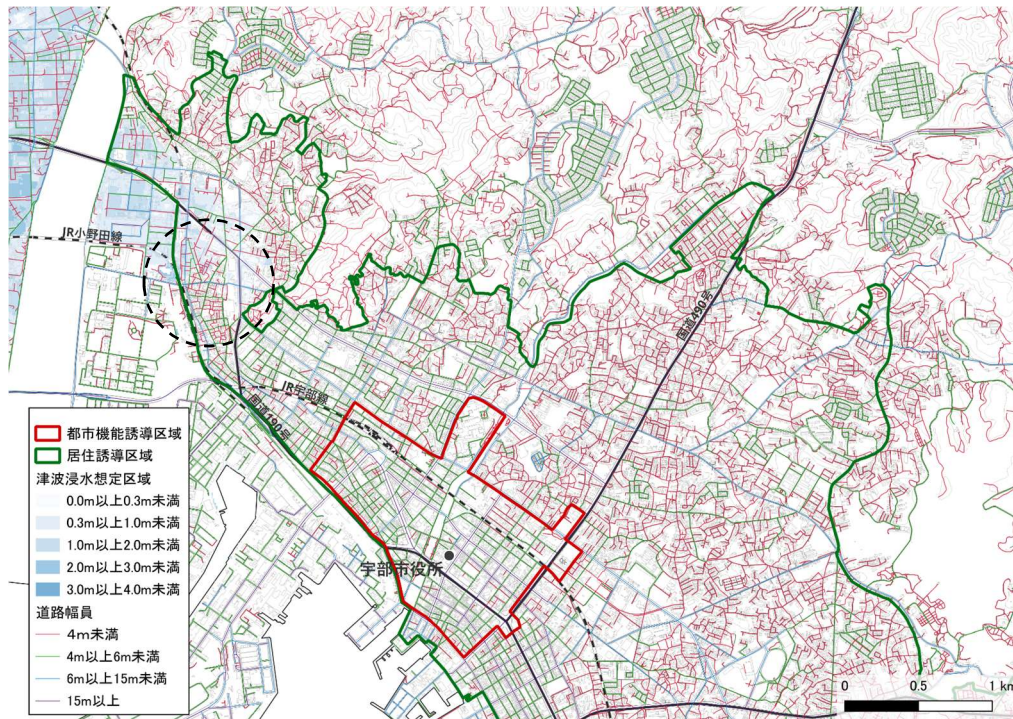
西部地域

黒石地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が存在しています。



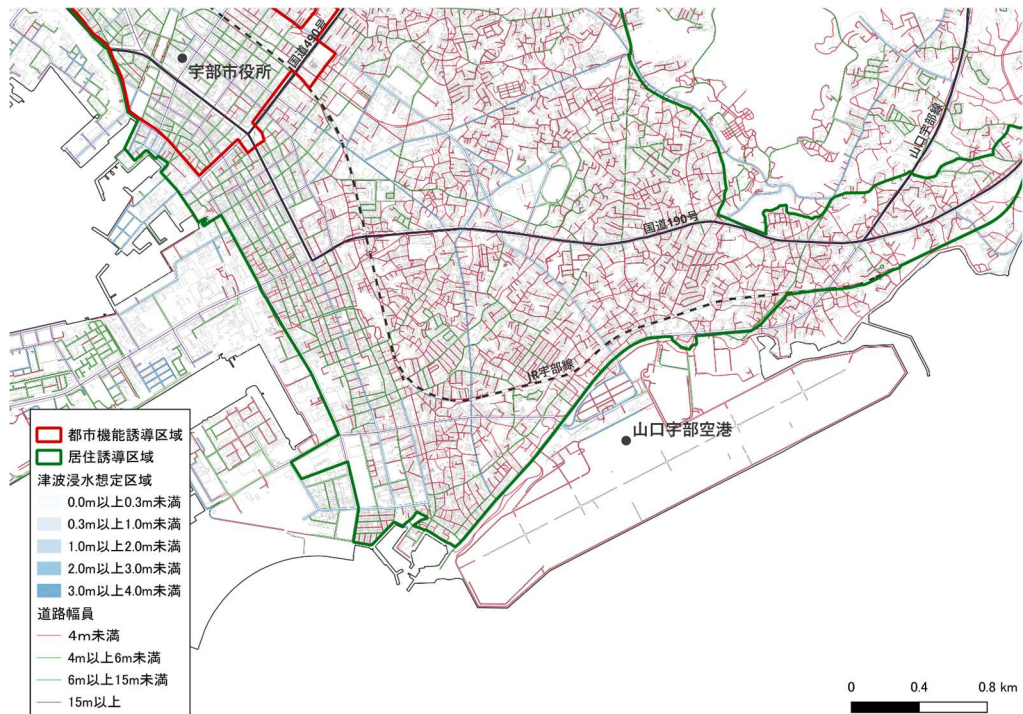
中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が存在しています。



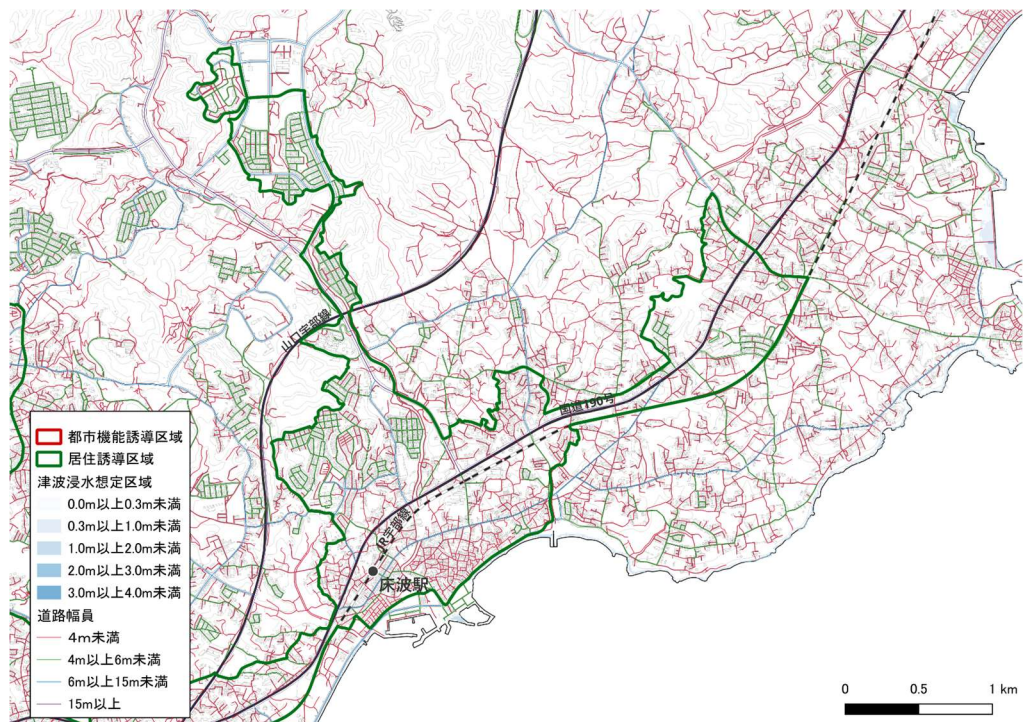
中央部地域②

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



東部地域

居住誘導区域内には津波浸水想定区域は含まれません。



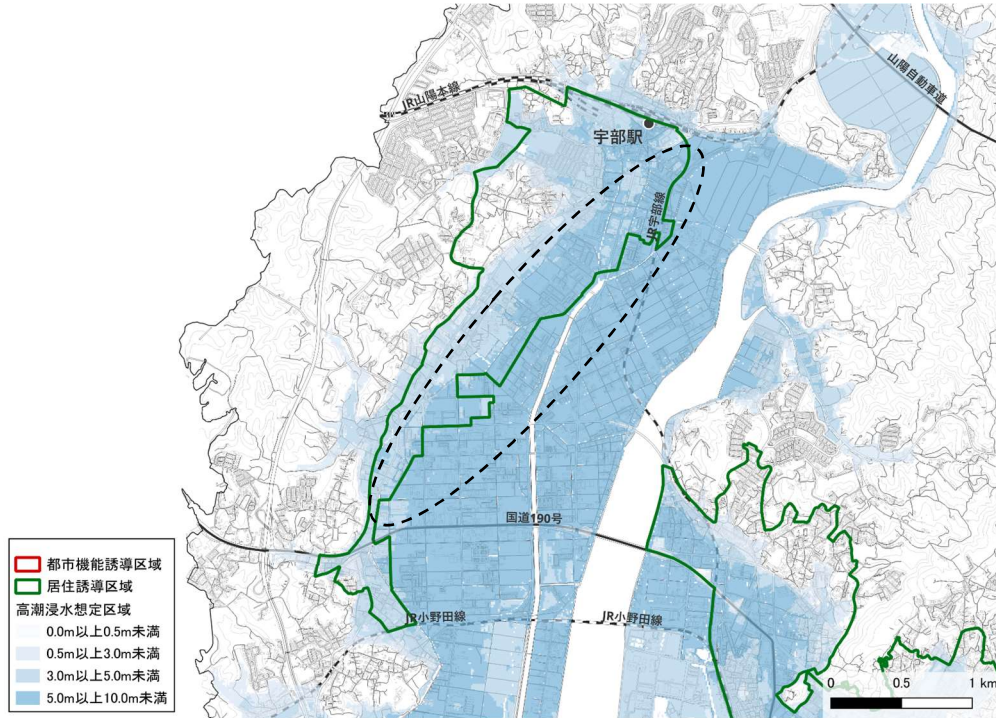
黒石地区、藤山地区など居住誘導区域内の津波浸水想定区域には、幅員4m未満の狭あい道路が存在し、災害時の避難経路の確保が必要となります。

(6) 高潮のリスク

① 高潮浸水想定区域と居住誘導区域の重ね合わせ

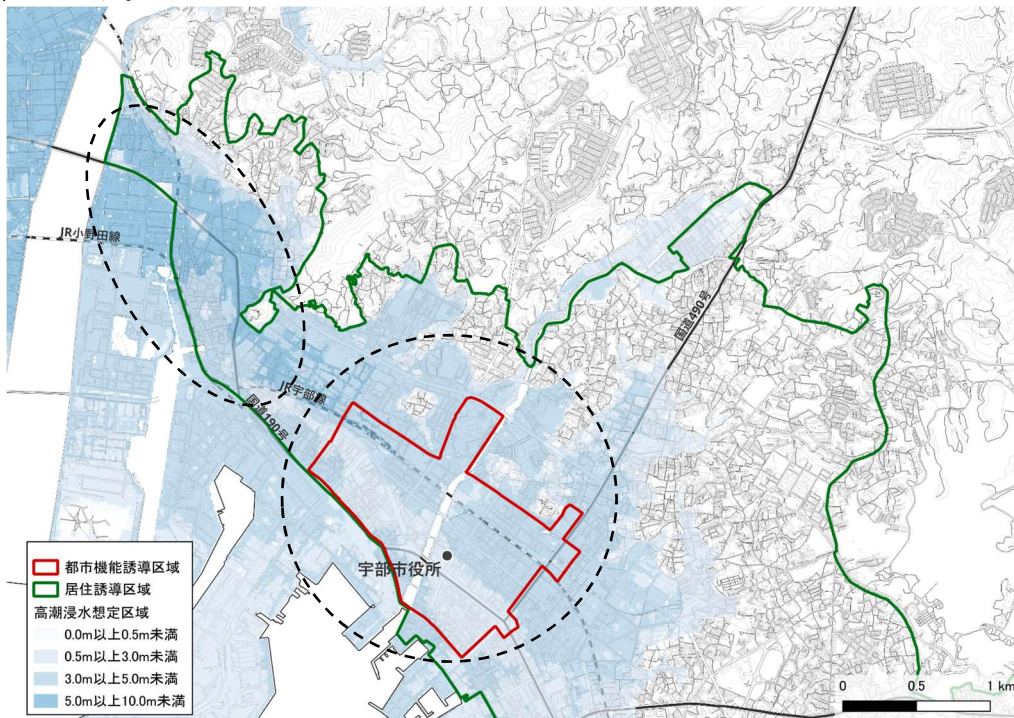
西部地域

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域に重複し、浸水深3.0m以上となる範囲も含まれます。



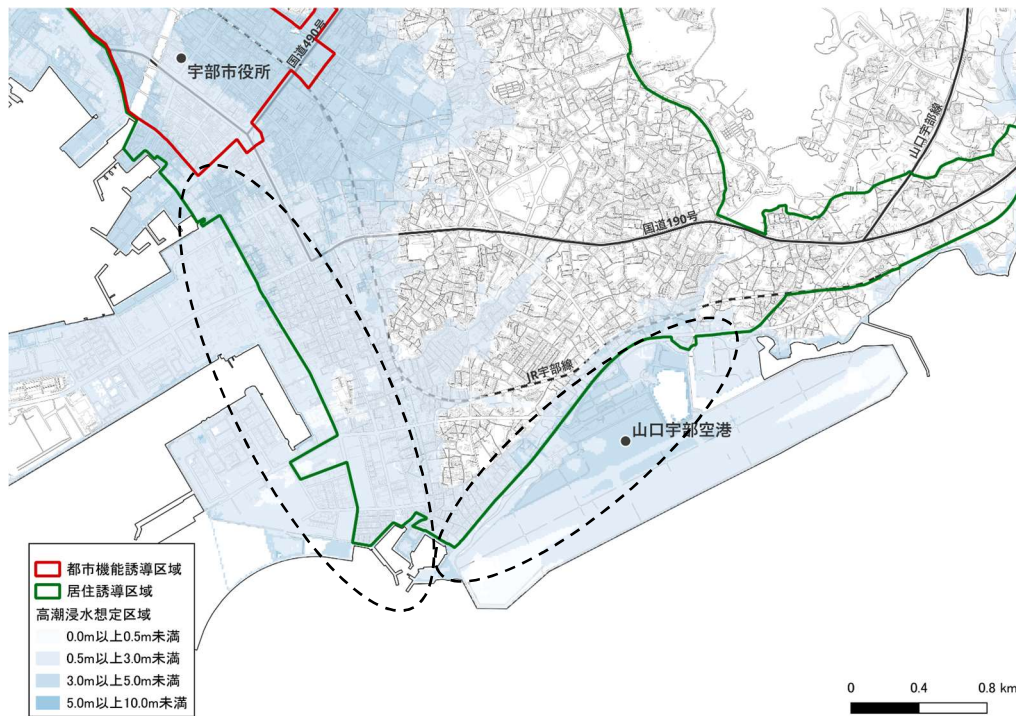
中央部地域①

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域に重複します。また、都市機能誘導区域の全域が浸水想定区域に含まれます。



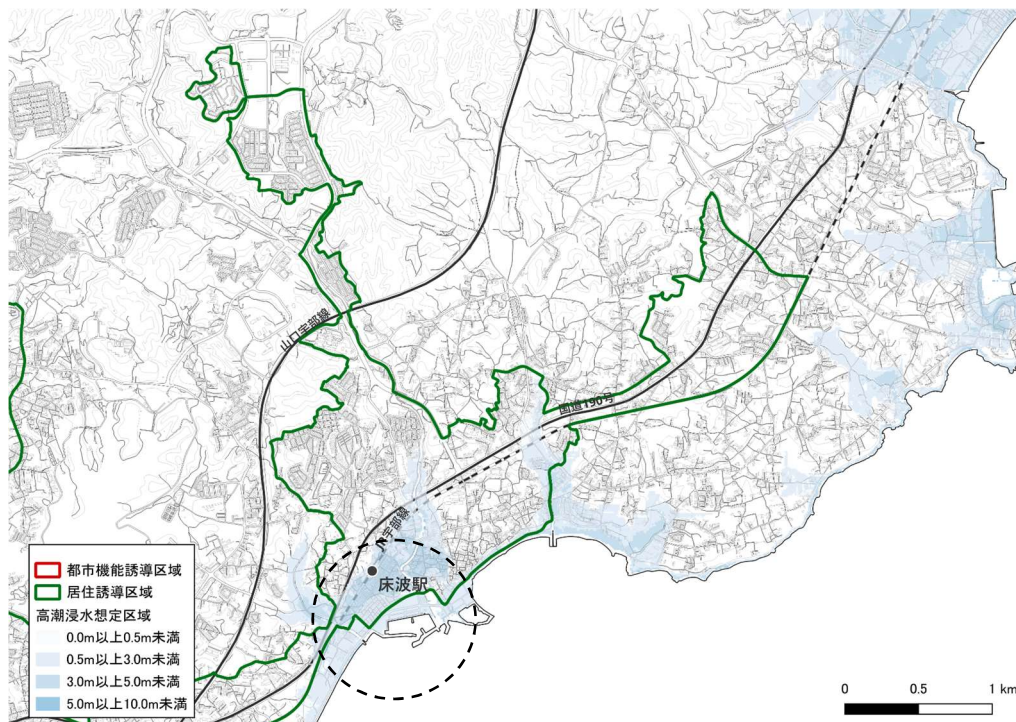
中央部地域②

見初地区、岬地区、恩田地区の居住誘導区域内の沿岸部が高潮浸水想定区域に含まれます。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の沿岸部が高潮浸水想定区域に重複し、浸水深が 3.0m 以上となる範囲も含まれています。

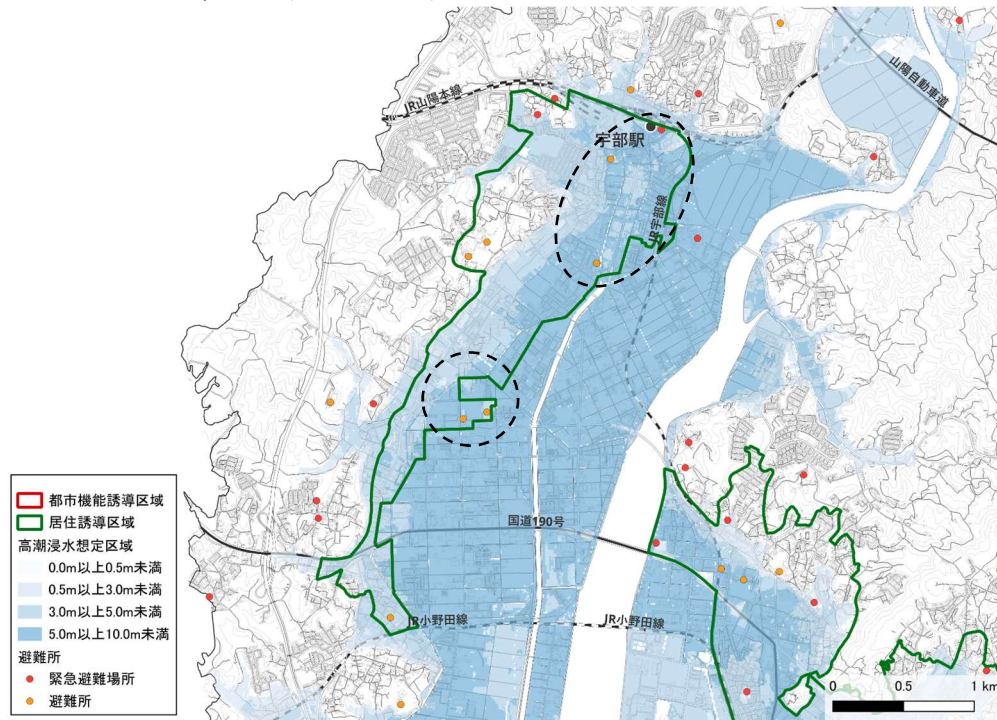


居住誘導区域内の沿岸部の広範囲が高潮浸水想定区域に重複します。また、一部の地区では浸水深 3.0m 以上の浸水が想定され、高潮による被害が懸念されます。

② 高潮浸水想定区域と避難所の重ね合わせ

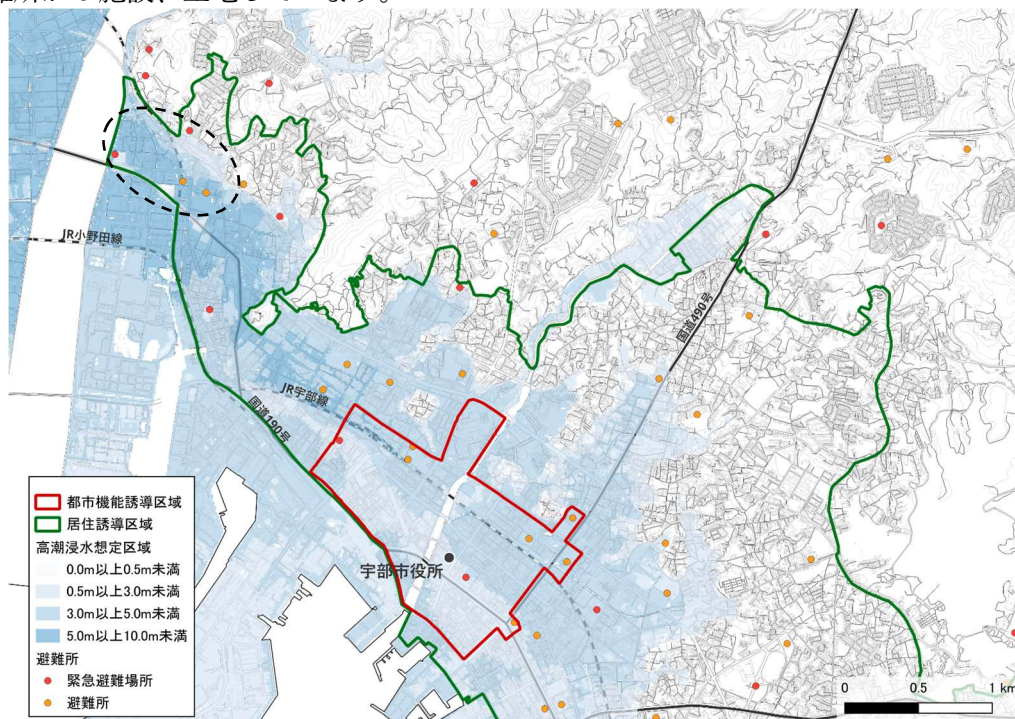
西部地域

居住誘導区域内の高潮浸水想定区域内には、緊急避難場所・避難所が6施設あり、浸水深3.0m以上の浸水想定区域に立地する緊急避難場所・避難所もあります。



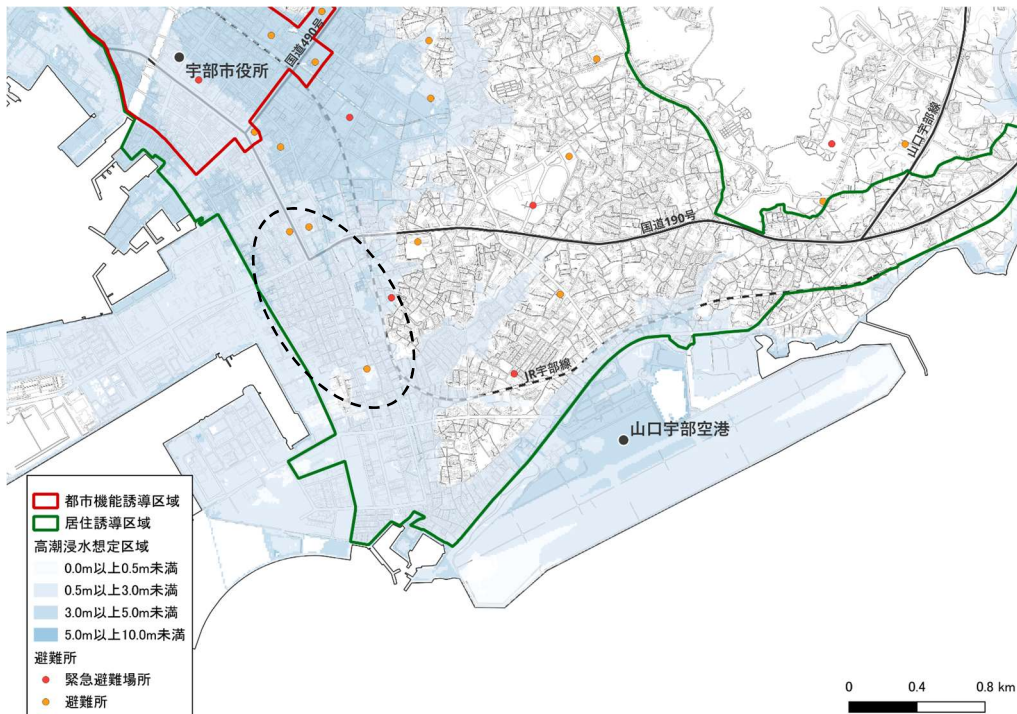
中央部地域①

居住誘導区域内の高潮浸水想定区域に多くの緊急避難場所・避難所があり、浸水深5.0m以上の浸水想定区域に3施設、立地しています。また、都市機能誘導区域のうち、浸水深3.0m以上の浸水想定区域内に避難所が5施設、立地しています。



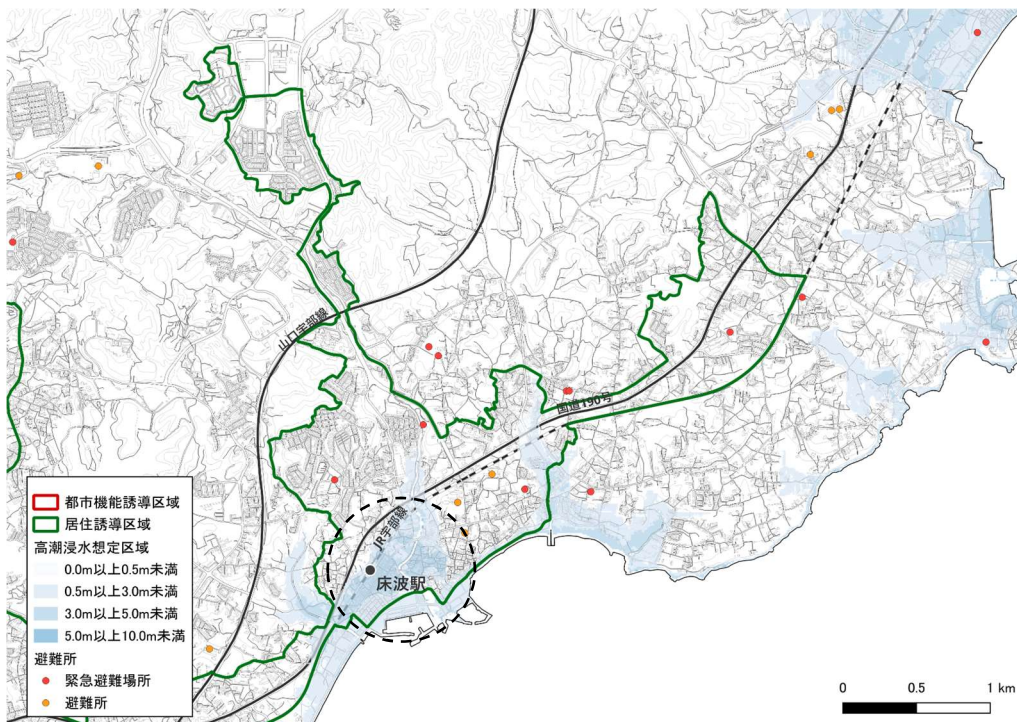
中央部地域②

恩田地区、見初地区、岬地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、緊急避難場所・避難所が4施設、立地しています。



東部地域

居住誘導区域内の一部に高潮浸水想定区域が重複しますが、浸水想定区域内に緊急避難場所・避難所は立地していません。

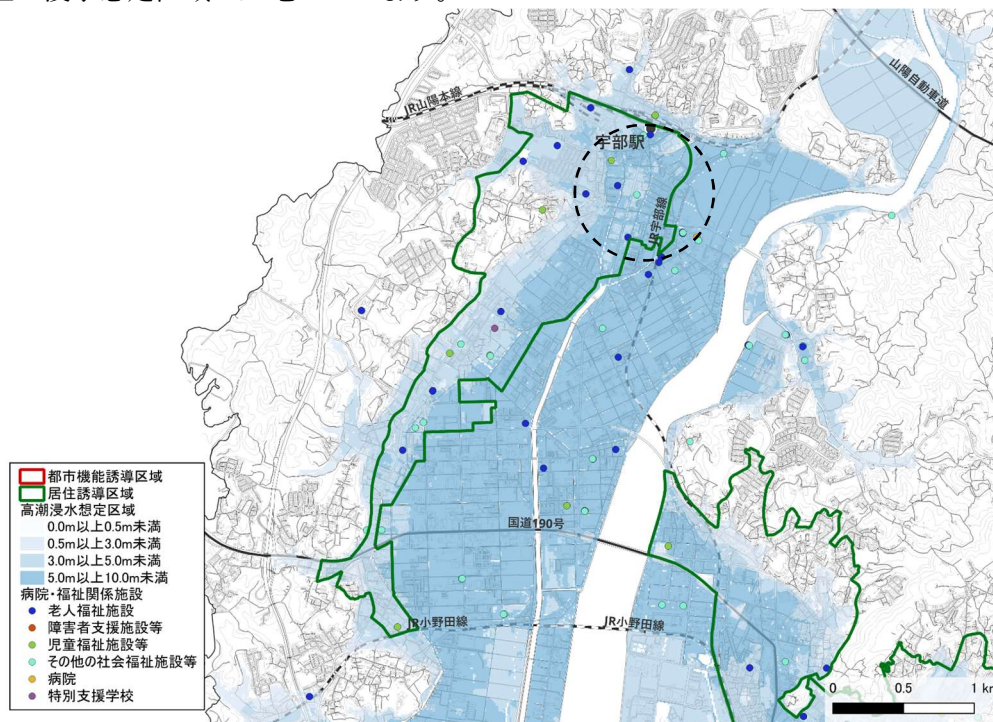


居住誘導区域内の高潮浸水想定区域に多くの緊急避難所・避難所が立地しており、浸水深が3.0m以上となる地区も含まれるため、高潮が発生した場合は、垂直避難の可能性の判断や早期避難が必要となります。

③ 高潮浸水想定区域と病院・福祉系施設の重ね合わせ

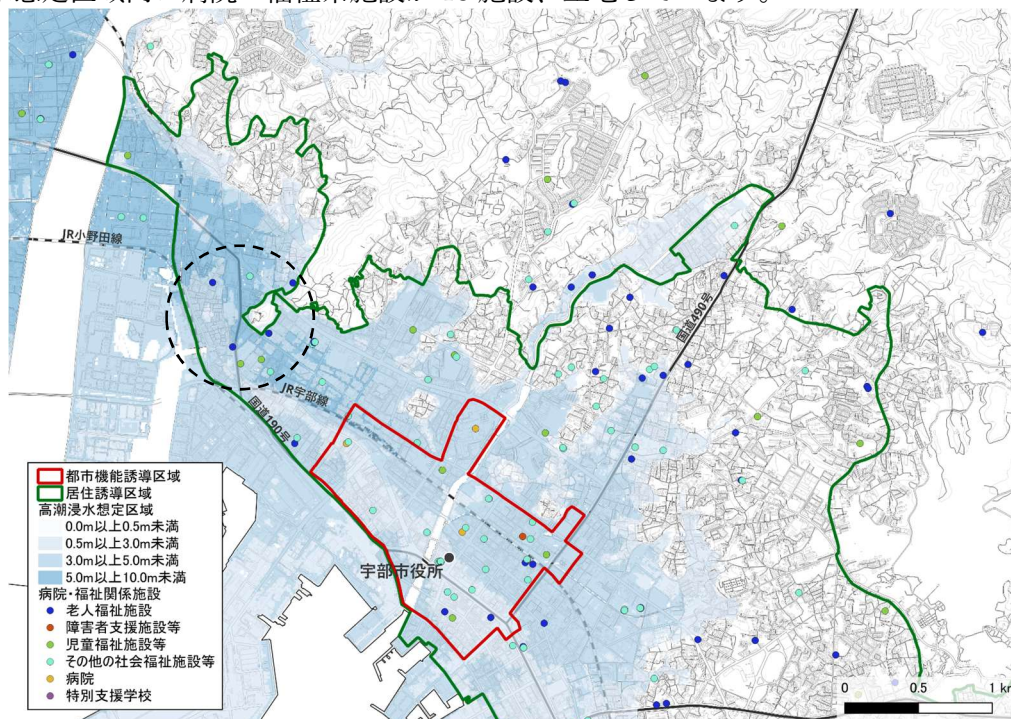
西部地域

居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、病院・福祉系施設が22施設あり、そのうち20施設が浸水深3.0m以上の浸水想定区域に立地しています。



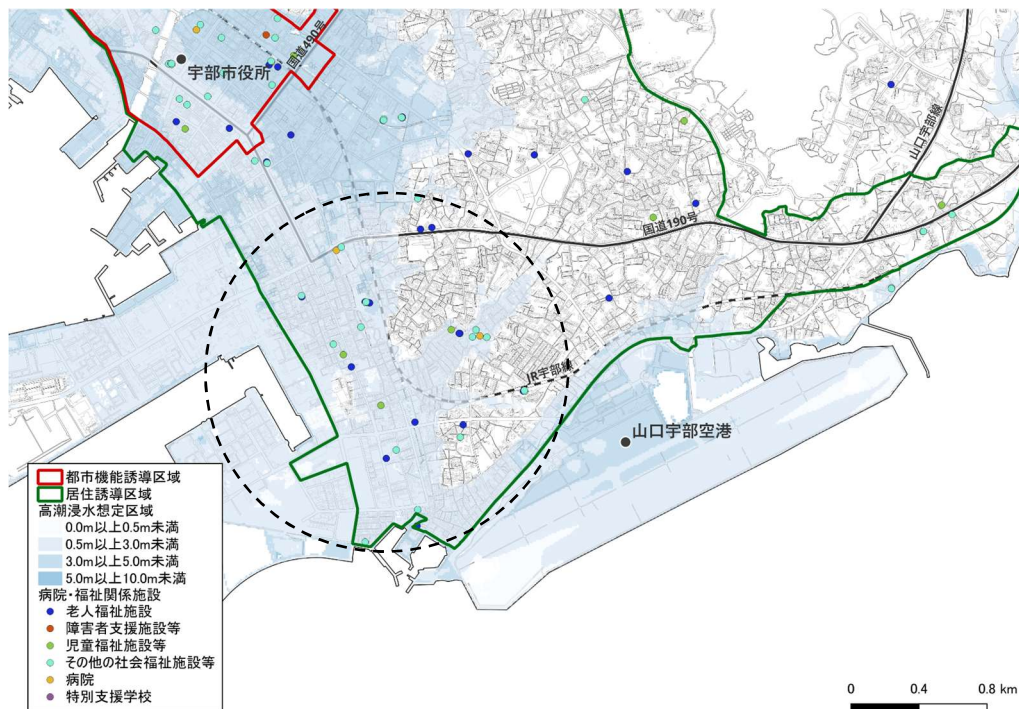
中央部地域①

居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、多くの病院・福祉系施設があり、浸水深5.0m以上の浸水想定区域に病院・福祉系施設が3施設、立地しています。また、都市機能誘導区域のうち、浸水深3.0m以上の浸水想定区域内に病院・福祉系施設が18施設、立地しています。



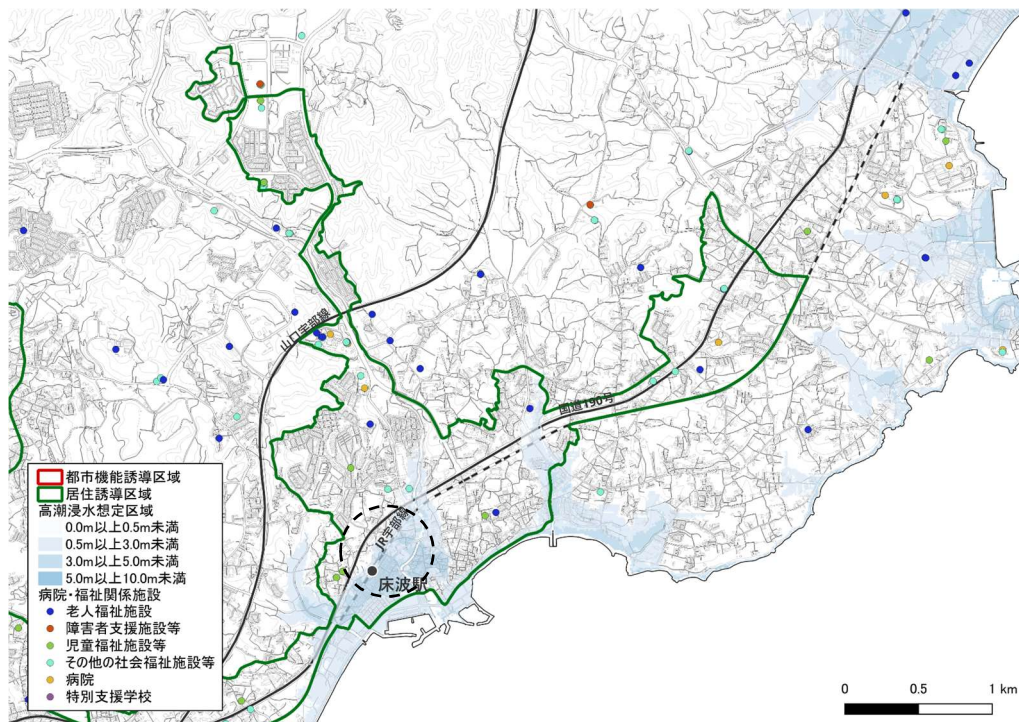
中央部地域②

恩田地区、見初地区、岬地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、病院・福祉系施設が 25 施設、立地しています。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、福祉系施設 1 施設が立地しています。

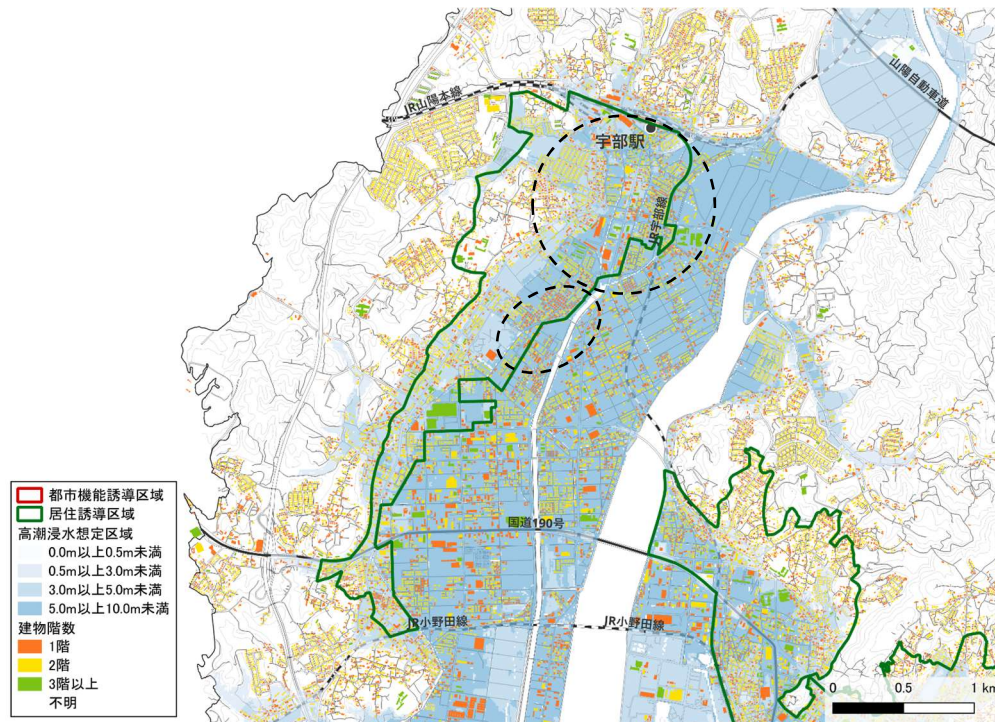


居住誘導区域内の高潮浸水想定区域に多くの病院・福祉系施設が立地しており、浸水深が 3.0m 以上となる区域にも含まれるため、高潮が想定される場合は、垂直避難の可能性の判断や早期避難が必要となります。

④ 高潮浸水想定区域と建物階数の重ね合わせ

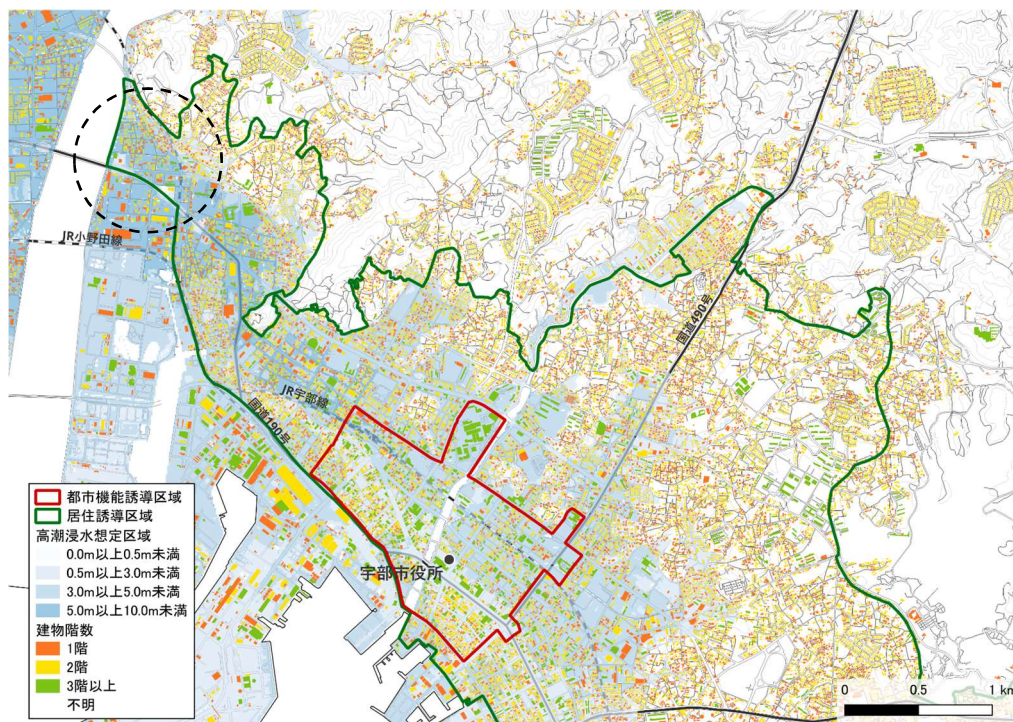
西部地域

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域内に重複し、浸水深 0.5m 以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地すると同時に、浸水深 3.0m 以上となる区域も含まれます。



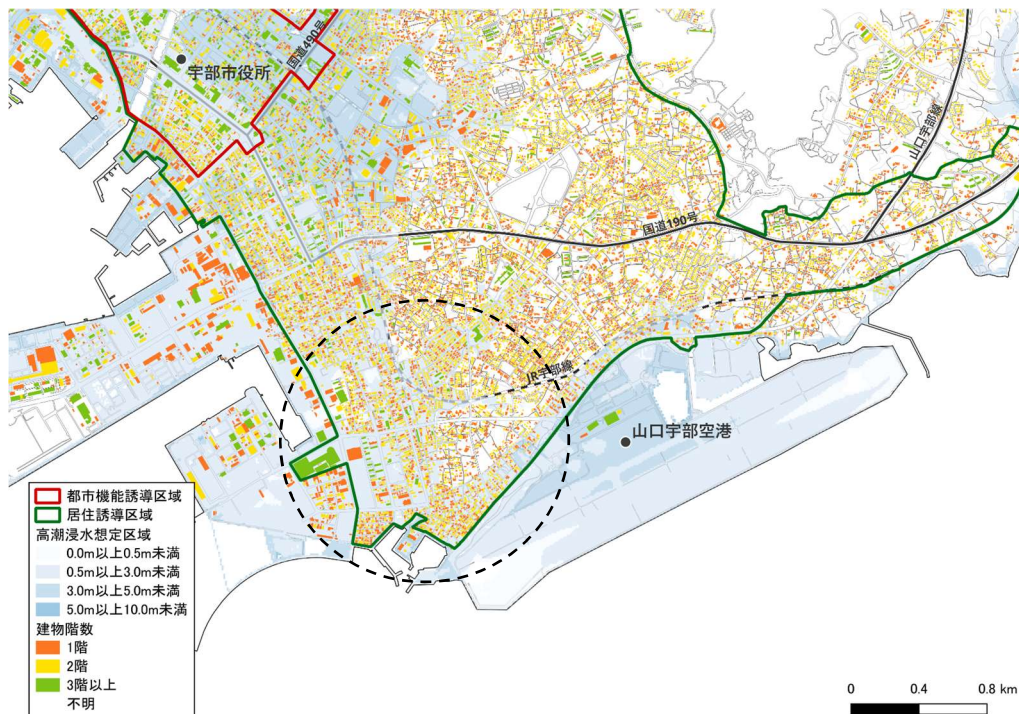
中央部地域①

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域内に重複し、浸水深 0.5m 以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地すると同時に、浸水深 3.0m 以上となる区域も含まれます。



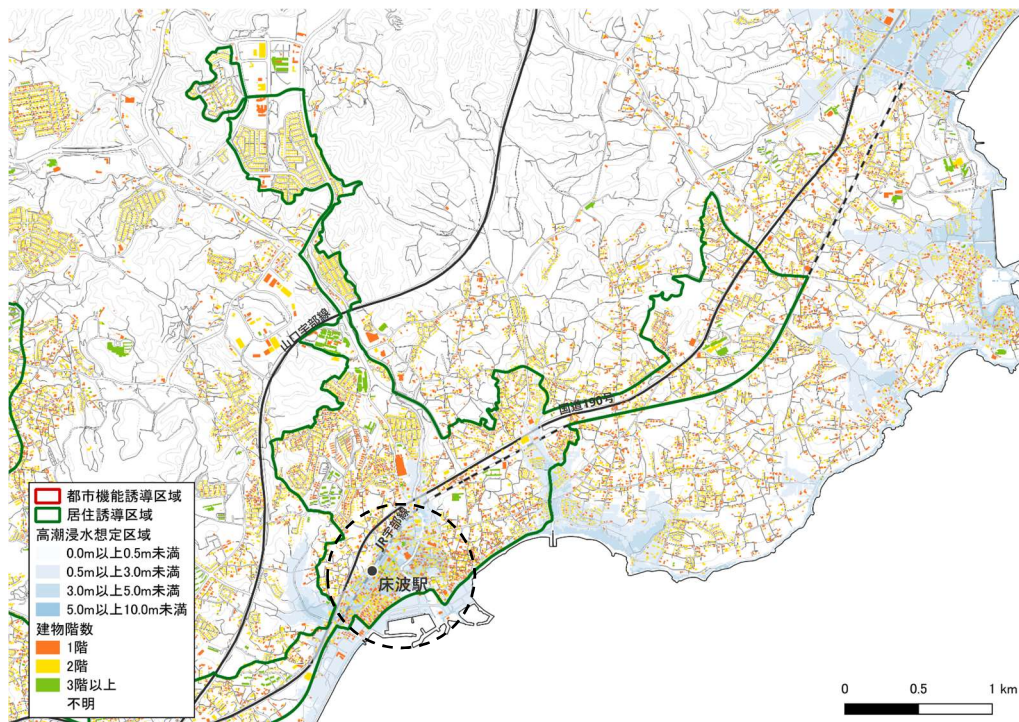
中央部地域②

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域内に重複し、浸水深 0.5m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地すると同時に、浸水深 3.0m以上となる区域も含まれます。



東部地域

居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域内に重複し、浸水深 0.5m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地すると同時に、浸水深 3.0m以上となる区域も含まれます。

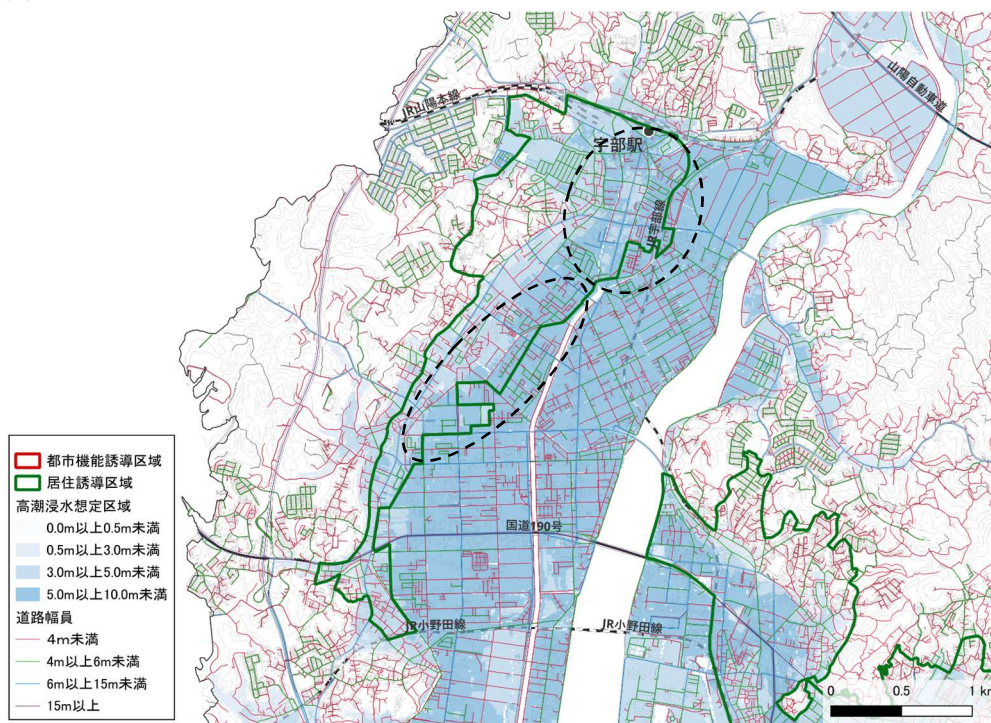


居住誘導区域内の広範囲が高潮浸水想定区域内に重複し、床上浸水する恐れのある浸水深 0.5m以上となる範囲に 1 階建て、2 階建ての建物が多く立地しています。同時に、一般的な家屋の 2 階床下部分に相当する浸水深 3.0m以上となる区域も含まれ、建物の倒壊リスクが懸念されます。

⑤ 高潮浸水想定区域と道路幅員の重ね合わせ

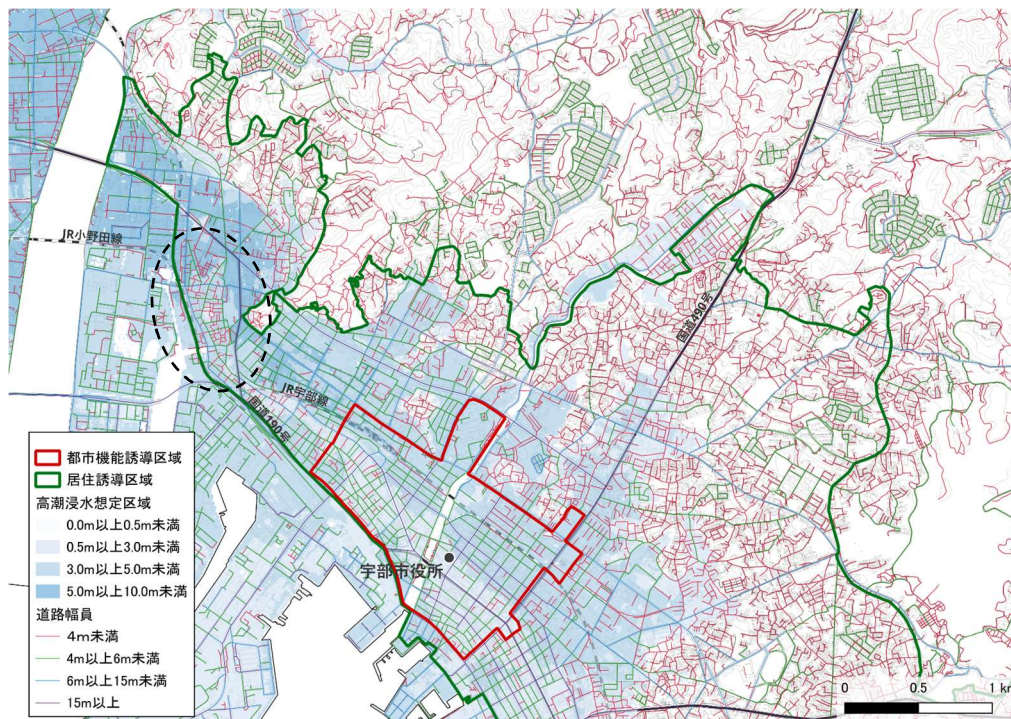
西部地域

黒石地区、厚南地区、西宇部地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



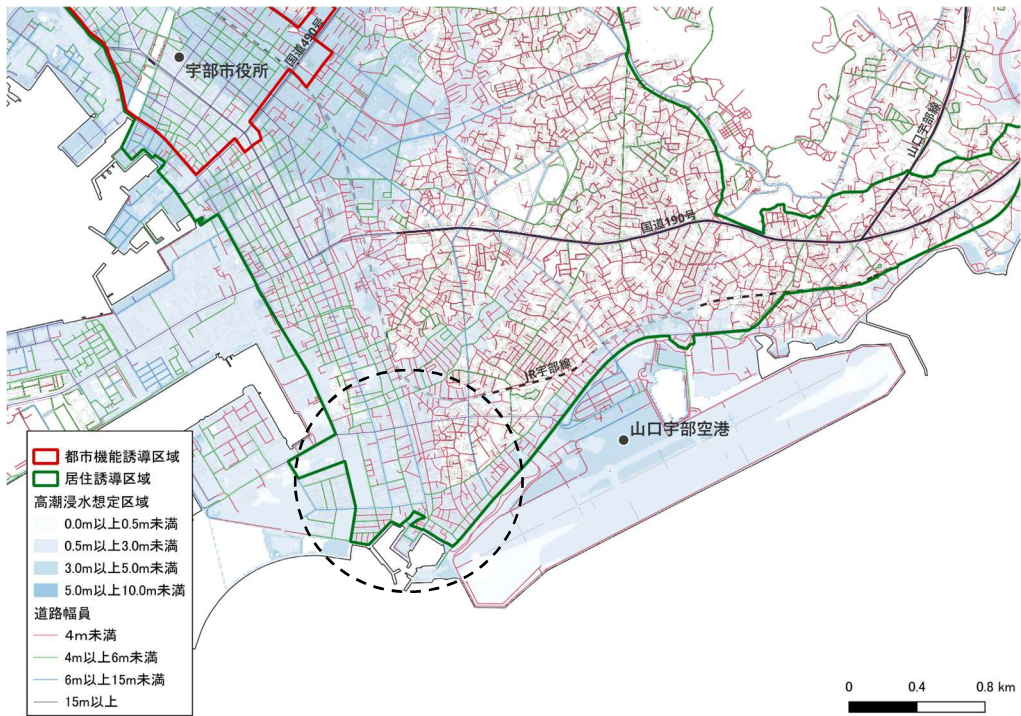
中央部地域①

藤山地区や鶴の島地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域内には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



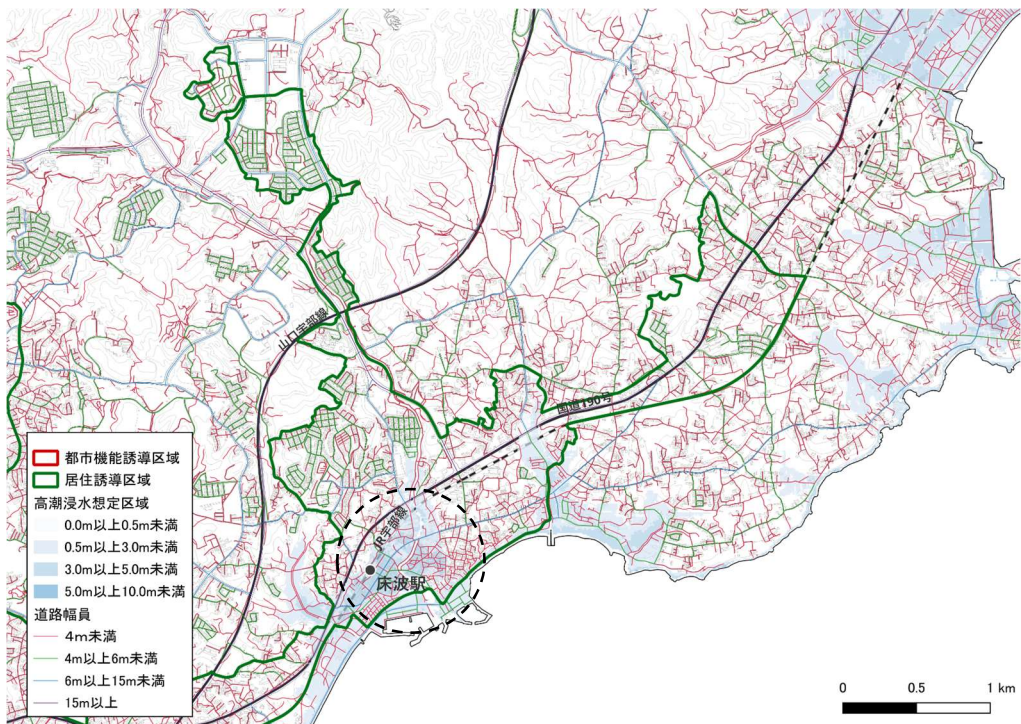
中央部地域②

岬地区や恩田地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域内には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の高潮浸水想定区域内には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在しています。



居住誘導区域内の高潮浸水想定区域内には、幅員 4m 未満の狭あい道路が多く存在し、災害時の避難経路の確保が必要となります。

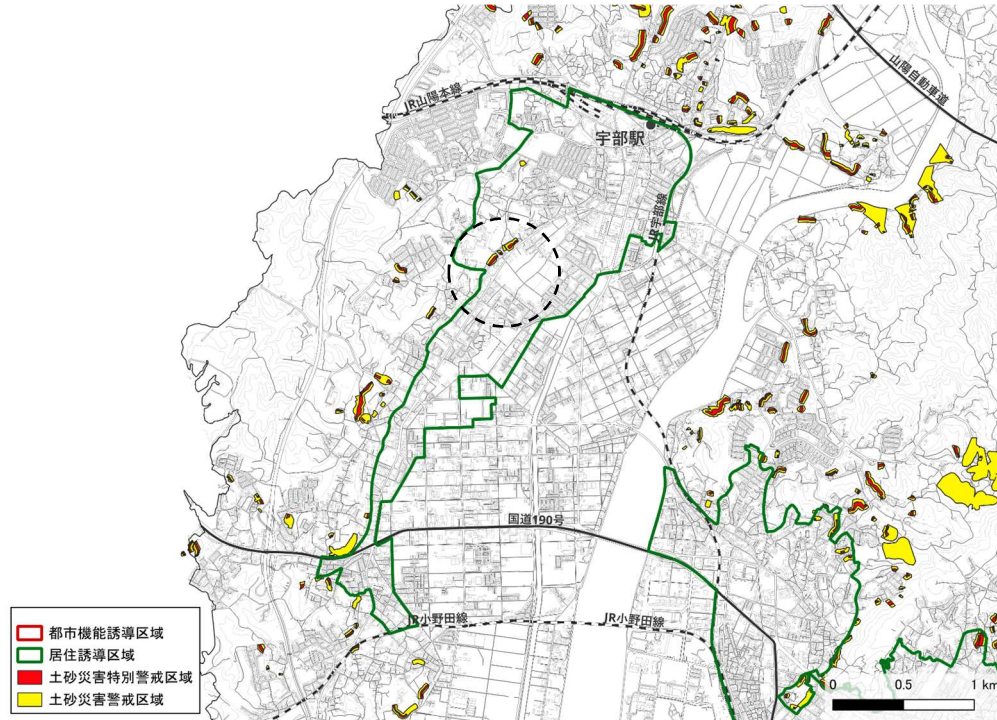
(7) 土砂災害のリスク

① 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域と居住誘導区域の重ね合わせ

土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外する区域としています。しかしながら、居住誘導区域の縁辺部の一部に存在するため分析の対象としています。

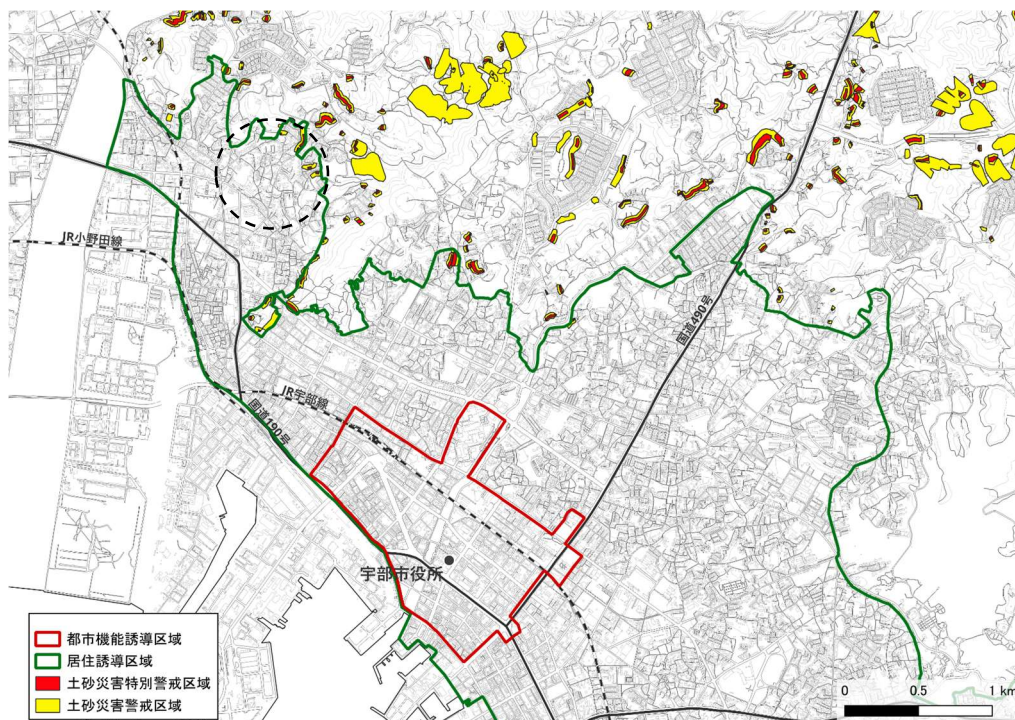
西部地域

厚南地区の居住誘導区域の縁辺部の一部が、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に指定されています。



中央部地域①

藤山地区の居住誘導区域の縁辺部の一部が、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に指定されています。



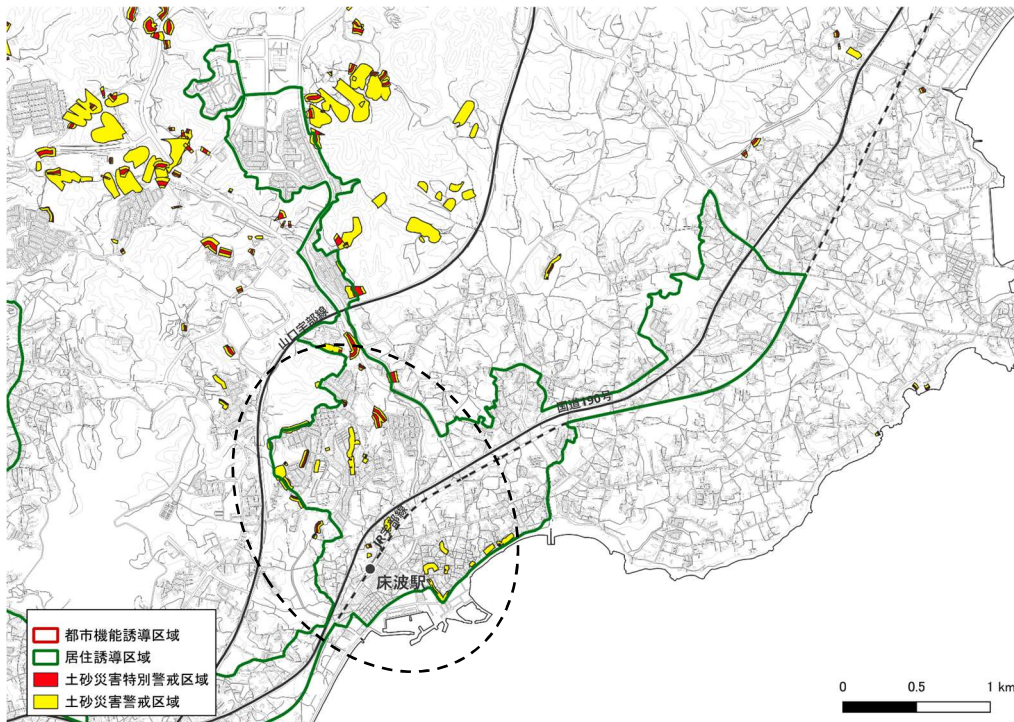
中央部地域②

居住誘導区域内に土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域は存在していません。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域の縁辺部の一部が、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に指定されています。



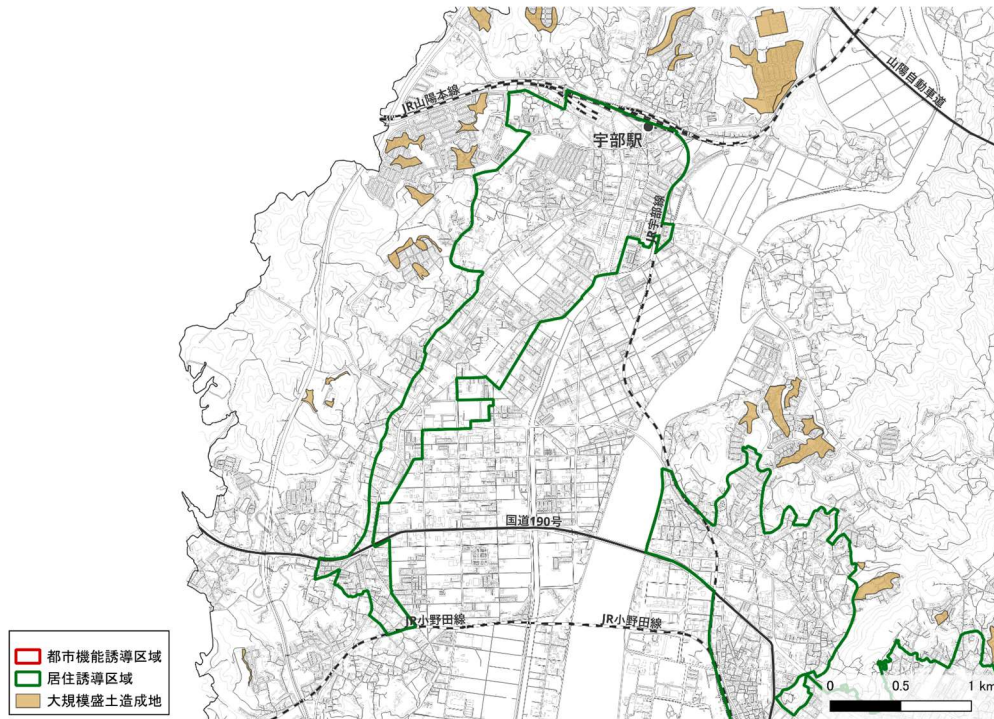
厚南地区、藤山地区、西岐波地区の居住誘導区域の縁辺部の一部が、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に指定されており、土砂災害による被害が懸念されます。

(8) 大規模盛土造成地のリスク

① 大規模盛土造成地と居住誘導区域の重ね合わせ

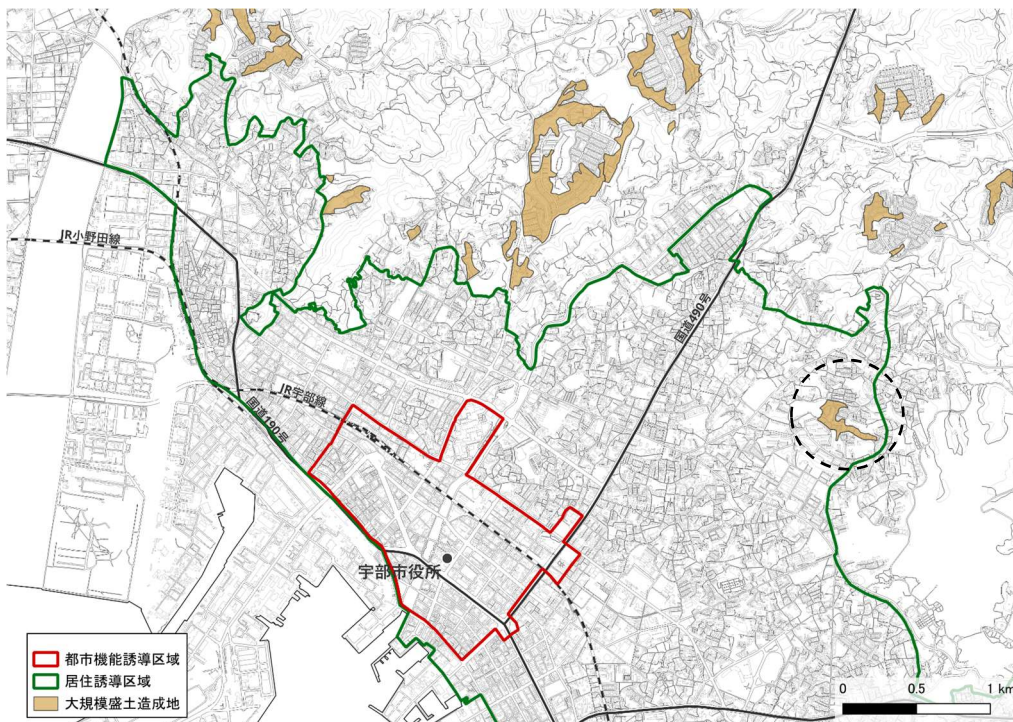
西部地域

居住誘導区域内に大規模盛土造成地は存在していません。



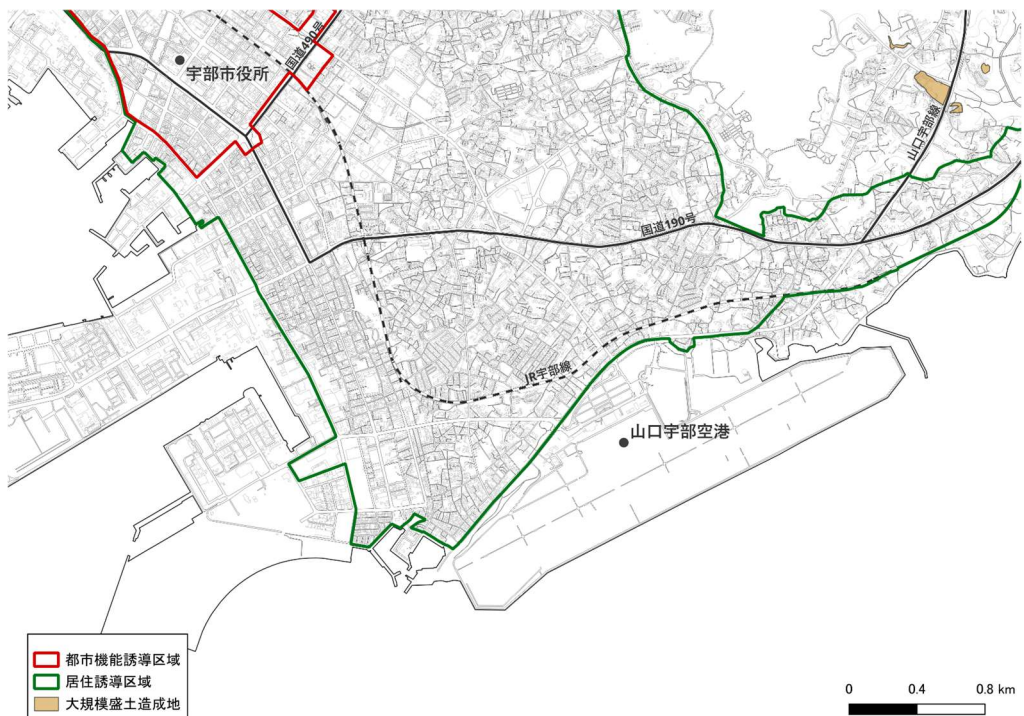
中央部地域①

上宇部地区の居住誘導区域内の一部に大規模盛土造成地が存在しています。



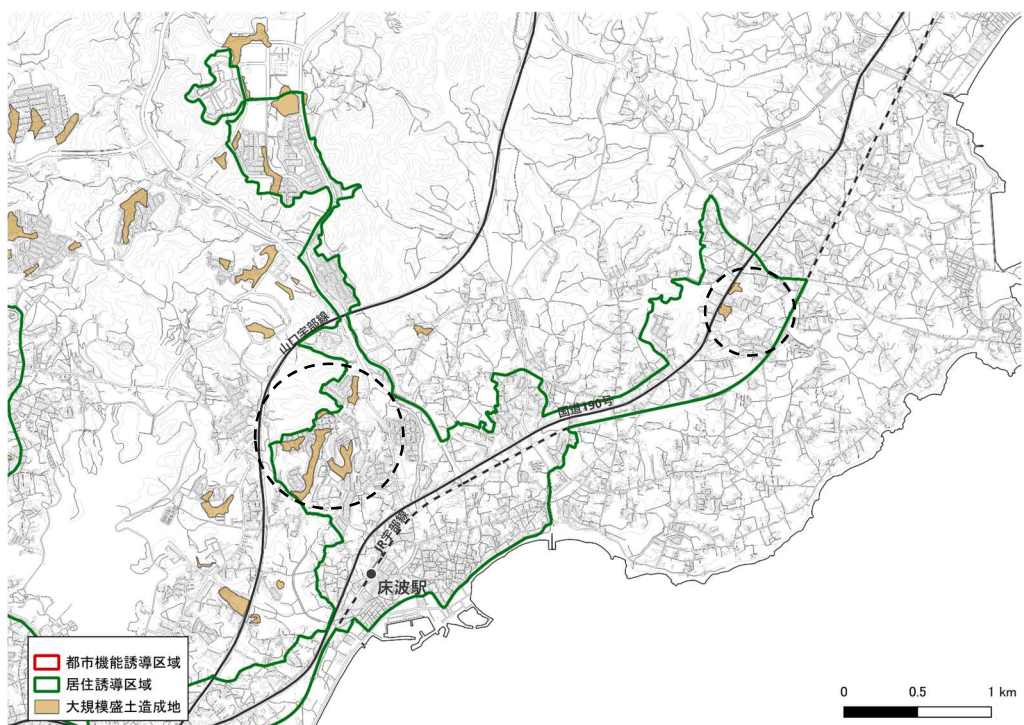
中央部地域②

居住誘導区域内に大規模盛土造成地は存在していません。



東部地域

西岐波地区の居住誘導区域内の一部に大規模盛土造成地が存在しています。



上宇部地区、西岐波地区の居住誘導区域内の一部に大規模盛土造成地が存在しています。

なお、大規模盛土造成地のうち、造成宅地防災区域に指定された箇所、又は宅地造成等工事規制区域における勧告の対象となった箇所については、地震時に滑动崩落による家屋の倒壊等の被害が懸念されますが、現在、本市で該当する箇所はありません。